

PHILIPS

Collaboration Display

4000 Series

65BDL4252E/11
75BDL4252E/11



ユーザーマニュアル (日本語)

www.philips.co.jp/p-m-pr/signage-solutions

目次

1. 安全上の注意.....	1	6.14. Google.....	39
2. 開梱と設置.....	5	6.15. 詳細設定.....	39
2.1. 開梱.....	5	6.16. 管理者.....	40
2.2. 梱包箱に含まれているもの.....	7	6.17. システム.....	40
2.3. 設置に関する注意.....	7	6.18. 製品について.....	40
2.4. 壁に取り付ける.....	8	7. プロフェッショナル設定.....	41
3. 各部の機能.....	10	7.1. メニューのナビゲート.....	41
3.1. コントロールパネル.....	10	7.2. OSD メニューの概要.....	41
3.2. 入力 / 出力端子.....	11	7.3. 管理者設定.....	44
3.3. リモコンに乾電池を挿入する.....	12	8. 対応するメディア形式.....	51
3.4. リモコンの取り扱い.....	12	9. 入力モード.....	52
3.5. リモコンの動作範囲.....	12	10. 画素欠陥ポリシー.....	53
3.6. リモコン.....	13	10.1. 画素とサブ画素.....	53
4. 外部機器を接続する.....	14	10.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義.....	53
4.1. 外部機器の接続(マルチメディアプレーヤー).....	14	10.3. 明るいドット欠陥.....	53
4.2. PC の接続.....	14	10.4. 暗いドット欠陥.....	54
4.3. オーディオ機器の接続.....	14	10.5. 画素欠陥の近接.....	54
4.4. タッチ操作.....	15	10.6. 画素欠陥の許容範囲.....	54
5. 取り扱い.....	17	10.7. MURA.....	54
5.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する.....	17	11. 清掃とトラブルシューティング.....	55
5.2. Google の機能を活用する.....	17	11.1. 清掃.....	55
5.3. 起動画面.....	19	11.2. トラブルシューティング.....	56
5.4. ホワイトボード.....	21	12. 技術仕様.....	57
5.5. ファイル管理.....	26	Philips プロフェッショナルディスプレイソリューションの保証	
5.6. メディアプレーヤー.....	26	ポリシー.....	59
5.7. ブラウザー.....	29		
5.8. PDF リーダー.....	33		
5.9. Philips ScreenShare.....	35		
6. Android 設定.....	36		
6.1. ネットワークとインターネット.....	36		
6.2. 接続デバイス.....	36		
6.3. アプリケーション.....	36		
6.4. 通知.....	37		
6.5. 保管時.....	37		
6.6. 音声.....	37		
6.7. ディスプレイ.....	37		
6.8. 壁紙.....	38		
6.9. アクセシビリティ.....	38		
6.10. セキュリティとプライバシー.....	38		
6.11. ロケーション.....	38		
6.12. パスワードとアカウント.....	39		
6.13. Digital Wellbeing とペアレンタル			
コントロール.....	39		

1. 安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告：本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時：

- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ディスプレイを油に近づけないでください。プラスチックカバーが損傷する可能性があります。
- ディスプレイは十分に換気されている場所に設置してください。
- 温度が高い、湿度が高い、表示頻度が高い、動作時間が長いなど、極端な条件下でディスプレイを使用する場合は、Philips のアプリケーションエンジニアにご相談ください。ご相談いただかなかった場合、ディスプレイの信頼性と機能への保証が損なわれる可能性があります。極端な条件は、空港、乗換駅、銀行、証券取引所、制御システムになどでよく見受けられます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。
- 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落としたりしないでください。

メンテナンス：

- ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かしているとき、フレームをつかんで持ち上げます。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。

環境的絶対定格

項目	最小	最大	単位
保管温度	-20	60	°C
動作温度	0	40	°C
ガラス面温度（動作時）	0	65	°C
保管湿度	10	90	% RH
動作湿度	10	90	% RH

動作周辺温度：0 ～ 40° C。

保管・運搬周辺温度：-10 ～ 50° C。

高度 2000m 以下（気圧 80 キロパスカル以上）。

警告：

- 適切でない種類のバッテリーと交換した場合、安全が保証されません。
- バッテリーを火や加熱炉の中に投入、あるいは機械的に破碎または切断すると、爆発が起こる可能性があります。
- バッテリーを周辺温度が極端に高い場所（直射日光、火、高温の表面の上など）に放置すると、爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れ出したりする可能性があります。

- 気圧が極端に低い場所では、バッテリーが爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れ出したりする可能性があります。

注意

適切でない種類のバッテリーと交換すると、発火や爆発の可能性があります。

- 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常に摂氏 25 度に保つ必要があります。
- 適切な動作条件でディスプレイが使用された場合にのみ、本仕様に記載されているディスプレイの寿命が保証されます。

重要: ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「残像」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告: 「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本製品が正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

安定性上の危険性。

ディスプレイが落下すると、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。怪我を防止するため、設置説明書に従って、床 / 壁にディスプレイをしっかり固定してください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- **重要:** ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「残像」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると残像は時間と共に徐々に消えます。残像症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。
- 電源コードに 3 ピン取り付けプラグが付属している場合は、接地 (アース) された 3 ピンコンセントにコードを接続してください。2 ピンアダプターを取り付けるなどして、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

廃電気電子機器 -WEEE

欧州連合の個人の住宅のユーザーへの注意



製品やそのパッケージについているこのマーキングは、使用される電気・電子機器を管理する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品が通常のごみと一緒に廃棄できないことを示しています。ユーザーには、指定された廃電気・電子機器の回収を通して、本機器を廃棄する責任があります。かかる廃電気・電子機器を出す場所については、地方自治体、家庭を回る廃棄物処理組織、製品を購入した店にお問い合わせください。

米国のユーザーへの注意

すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。廃棄またはリサイクル情報については、www.mygreenelectronics.com または www.eiae.org にお問い合わせください。

使用済み指令 - リサイクル



新しい公共情報ディスプレイには、新しいユーザーのためにリサイクルできるいくつかの材料が含まれています。

すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。

バッテリー



欧州用:「X」の付けられた車輪付きゴミ箱の記号は、使用済みのバッテリーを家庭用ごみと一緒にしてはならないことを示します。法令に基づいて適切に処理してリサイクルするため、使用済みバッテリーには別途の回収システムが設けられています。

回収とリサイクルの仕組みについては、現地の当局へお問い合わせください。

スイス: 使用済みバッテリーは販売店へ返却する必要があります。

その他の EU 諸国: 使用済みバッテリーの適切な廃棄方法については、現地の当局へお問い合わせください。

EU 指令 2006/66/EC に基づき、バッテリーは適切な方法で廃棄されなければなりません。バッテリーは地方自治体により分別回収されます。

日本 RoHS

機器名称:液晶モニター		形式名:65BDL4252E/75BDL4252E					
ユニット		化学物質記号					
		Pb	Hg	Cd	Cr(VI)	PBB	PBDE
フロントベゼル		○	○	○	○	○	○
リヤカバー		○	○	○	○	○	○
LCD パネル	LED	除外項目	除外項目	○	○	○	○
パワー PCBA		除外項目	○	除外項目	○	○	○
メイン PCBA		除外項目	○	除外項目	○	○	○
キーパッド PCBA		除外項目	○	○	○	○	○
ブラケット		○	○	○	○	○	○
電源コード		○	○	○	○	○	○
I / O ケーブル		除外項目	○	○	○	○	○
リモコン		除外項目	○	○	○	○	○
*:PCBA は、裸のプリント回路基板、はんだ付け、および抵抗、コンデンサ、アレイ、コネクタ、チップなどの表面実装要素で構成されていました。 注記 1 “○”は、算出対象物質の含有率が含有率基準値以下であることを示している。 注記 2 “除外項目” は、算出対象物質が含有マークの除外項目に該当していることを示している。							
JIS C 0950:2021							

2. 開梱と設置

2.1. 開梱

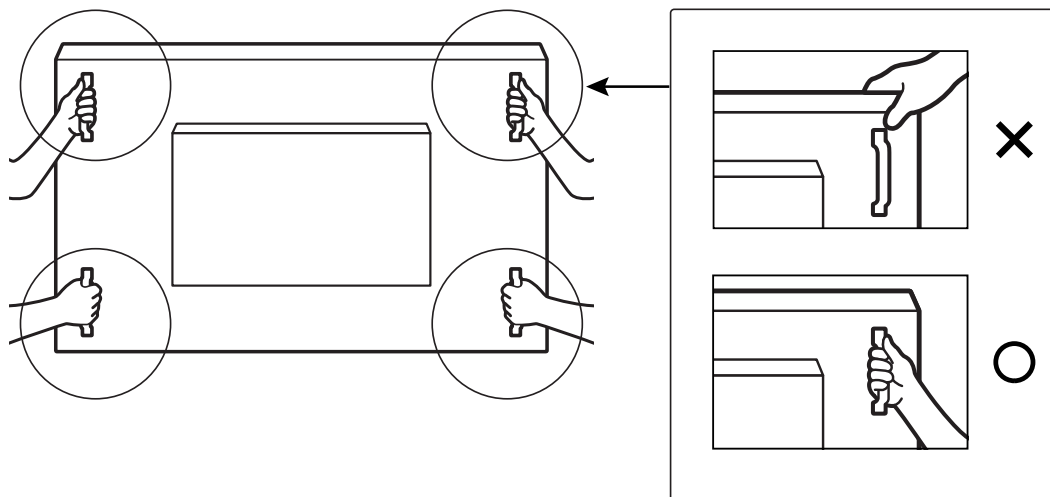
- 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に専用の箱に梱包されています。
- オプションのアクセサリは、別途ご購入が必要です。
- 本ディスプレイは背が高く重いため、移動させる際には 2 人の技術者が行うようにしてください。
- 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認ください

■ 開梱する前に

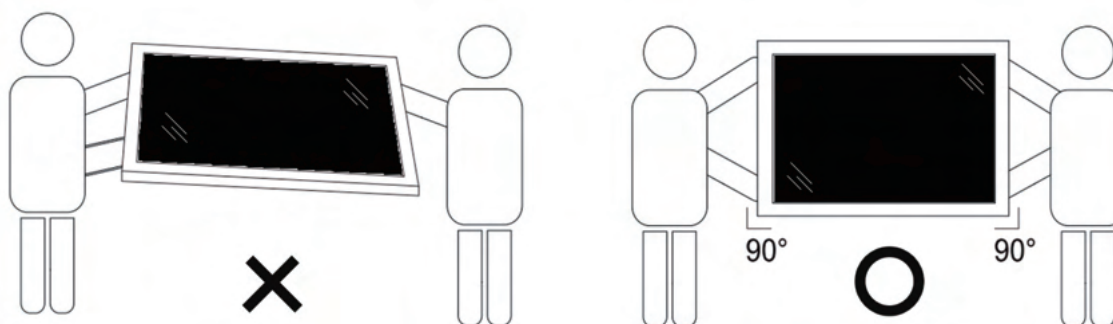
- 設置する前に、開梱通知を読んで十分に理解してください。
- 包を確認し、きしみ、へこみ等の異常がないことを確認してください。
- ディスプレイを段ボールから取り出す前に、必要な検査を行ってください。
- 損傷を防ぐために、常に経験豊富な技術者がディスプレイを取り付けるようにしてください。

■ 通知

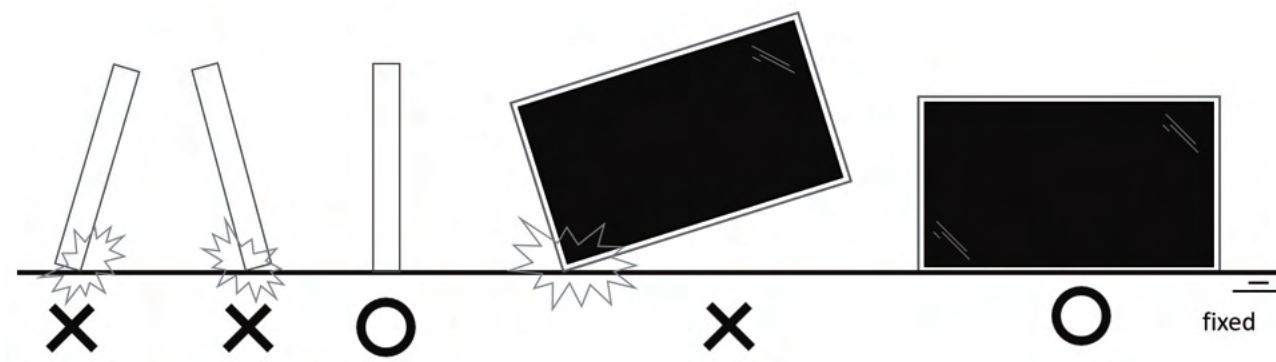
- 大人 2 人または 4 人が両手を使って段ボールからディスプレイを取り出してください。
- ディスプレイを移動するときは、ハンドルを持ってください。



- ディスプレイを移動するときは、ディスプレイを垂直に維持してください。



- ディスプレイを垂直にすることで、ディスプレイの重量が表面に均等に分散します。



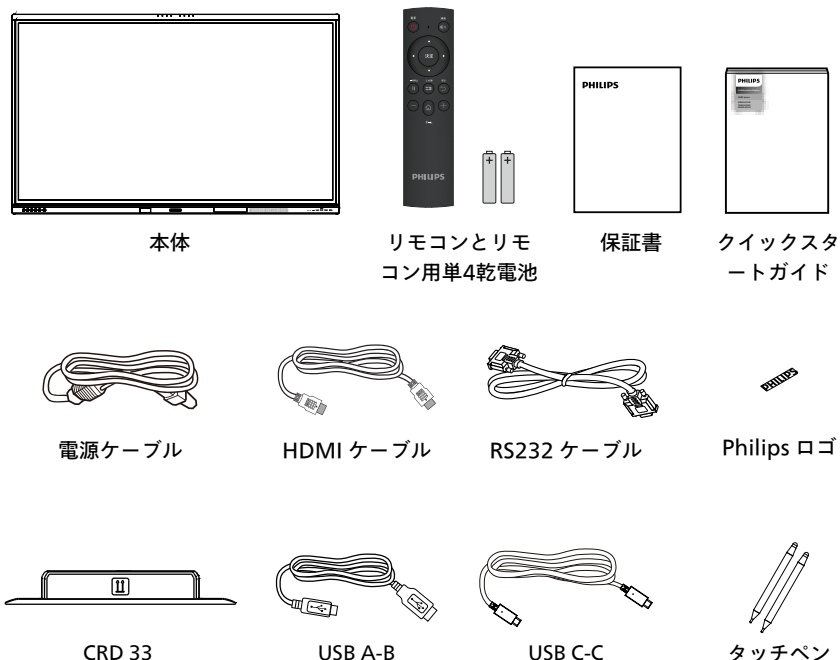
- 移動する間は、ディスプレイを垂直に維持し、曲げたり、ねじったりしないでください。



2.2. 梱包箱に含まれているもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください：

- 本体
- リモコンとリモコン用単 4 乾電池
- 保証書
- クイックスタートガイド
- 電源ケーブル
- HDMI ケーブル
- RS232 ケーブル
- Philips ロゴ
- CRD 33
- USB A-B
- USB C-C
- タッチペン



* 項目は地域によって異なる場合があります

* ディスプレイデザインとアクセサリーは、表示されている画像と異なる場合があります。

メモ：

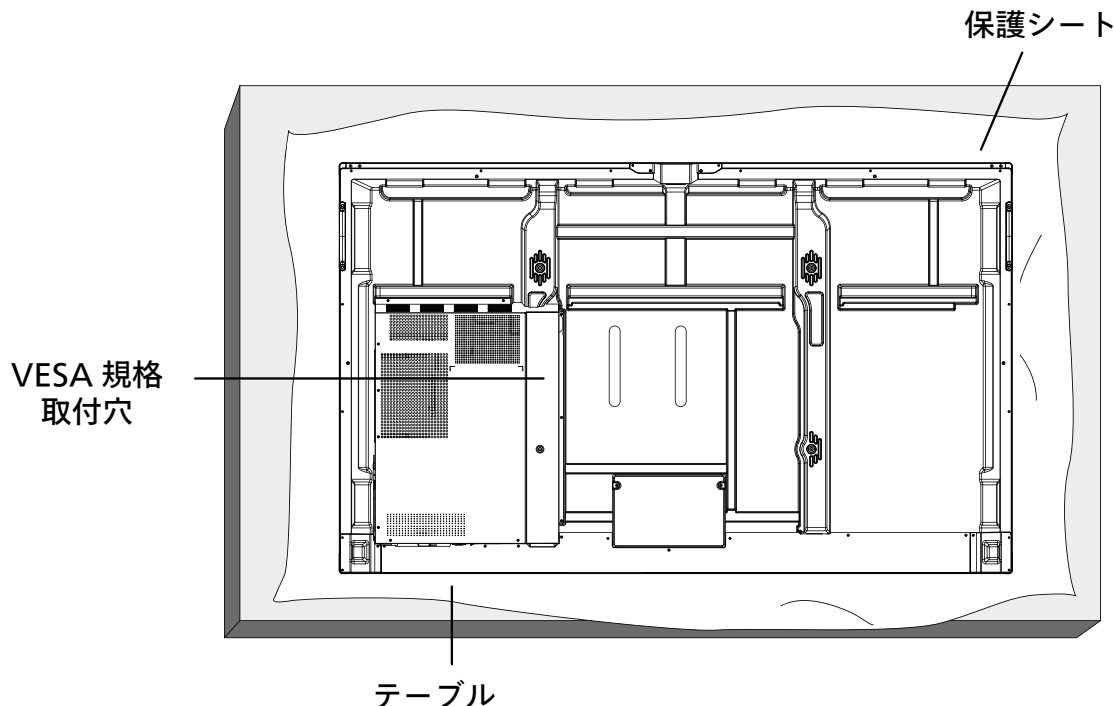
- 他の地域の場合は、その地域のコンセントの AC 電圧と一致し、その国の安全規定で承認されている適合する電源コードを使用してください。(H05W-F タイプ、2G または 3G、0.75 または 1mm² を使用します)。
- 製品を開梱した後は、梱包材を適切に保管してください。

2.3. 設置に関する注意

- 本ディスプレイに付属する電源ケーブルのみを使用してください。延長コードが必要な場合は、代理店にお問い合わせください。
- 本ディスプレイは、倒れる可能性を考慮して、平らな面に設置してください。ディスプレイの背面と壁の間には、適切な換気が保てるようにスペースを確保してください。台所、浴室など、湿気のある場所に本ディスプレイを設置しないでください。こういった場所では、内部部品の寿命が短くなる可能性があります。
- 高度が 3,000 m 以上の場所に本ディスプレイを設置しないでください。こういった場所では、誤動作する可能性があります。

2.4. 壁に取り付ける

壁に本ディスプレイを取り付ける場合は、標準の壁取り付けキット（市販品）が必要です。北米では TUV-GS および / または UL1678 規格に準拠した取り付けインタ - フェイスを使用してください。



1. ディスプレイよりも大きい平らで水平な面を用意し、その上に厚い保護シートを広げて、画面を傷つけずに操作できるようにしてください。
2. すべてのタイプの取り付け（壁掛け、天上取り付け、テーブルスタンドなど）に対応するアクセサリがあることを確認してください。
3. 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意下さい。
4. 壁取り付けキットには、M8 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 15 mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。

2.4.1. VESA 規格取付穴

65BDL4252E/11	600(横) x 400(縦) / M8
75BDL4252E/11	800(横) x 400(縦) / M8

注意:

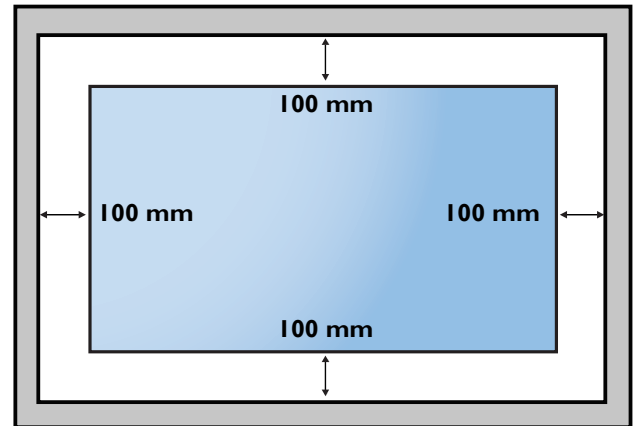
本製品の落下を防止するために:

- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置に関する詳細な手順については、ブラケットに付属の取扱説明書を参照してください。
- 地震または他の自然災害が発生した場合に本ディスプレイが落下することがないように、取り付けの位置については、ブラケットのメーカーにお問い合わせください。
- 本ディスプレイは背が高く重いため、設置は 4 人の技術者が行うようにしてください。

換気用に必要なスペース

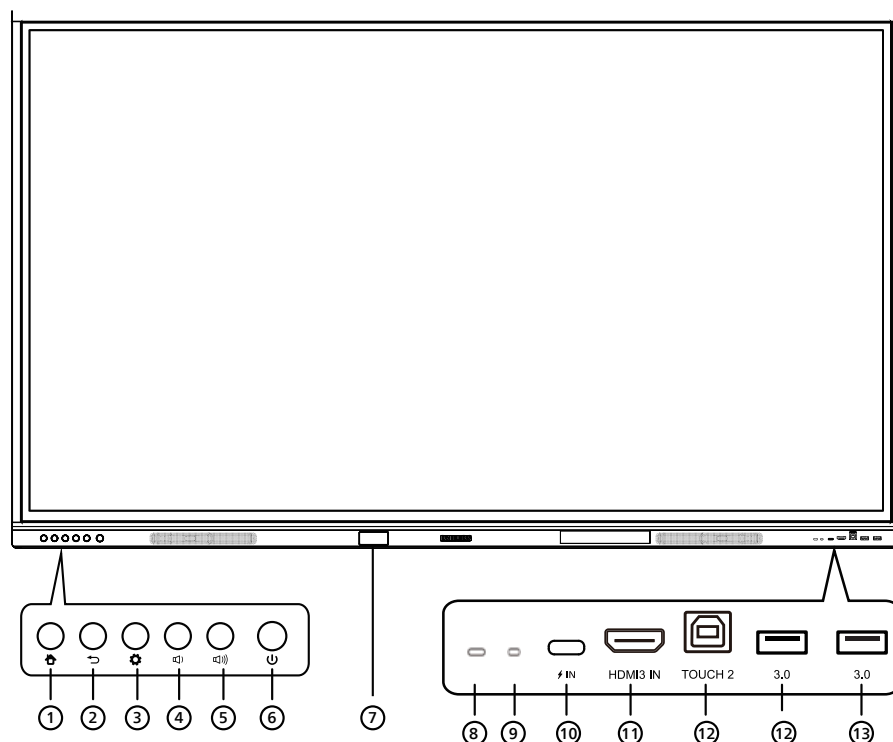
換気のために、上部、背面、左右に 100mm のスペースを空けてください。

注記:ディスプレイを壁に取り付ける場合は、専門技術者にご相談されることを推奨します。取り付けを専門技術者が行っていない場合、ディスプレイに損傷が発生した場合はお客様の責任となります。



3. 各部の機能

3.1. コントロールパネル



① ホームボタン

メインインターフェイスに戻ります。

② 戻るボタン

このボタンを押して、音声をミュートしたり、復元したりします。

③ メニューボタン

「プロフェッショナル設定」メニューを開きます。

④ 音量ダウンボタン

音量を下げます。

⑤ 音量アップボタン

音量を上げます。

⑥ 電源ボタン

タップすると省エネ機能が開始します。2 秒以上長押しするとスタンバイモードになります。

⑦ NFC

NFC 読み取り領域。

⑧ リモコン信号センサー

リモコンの信号を受信します。

⑨ ライトセンサー

ブライトネスが適切になるようバックライトを調整するための周辺光。メニューでオンとオフを切り替えられます。

⑩ 入力

USB タイプ C: 充電、データ伝送、オーディオやビデオの出力インターフェイスの拡張をサポートします。

注記: 本製品の USB タイプ C ポートの最大定格電力は 65W です。このポートで電子機器を充電する場合、電子機器の充電電力はこのポートの定格電力を超えてはなりません。電子機器の充電電力がこのポートの定格充電電力を超える場合は、このポートで直接充電しないようにしてください。

⑪ HDMI 入力

高精細度マルチメディアインターフェイス信号入力。HDMI 出力インターフェイスがあるデバイス (HDMI 出力があるパソコン、セットトップボックス、その他のビデオデバイス) との接続に使用します。

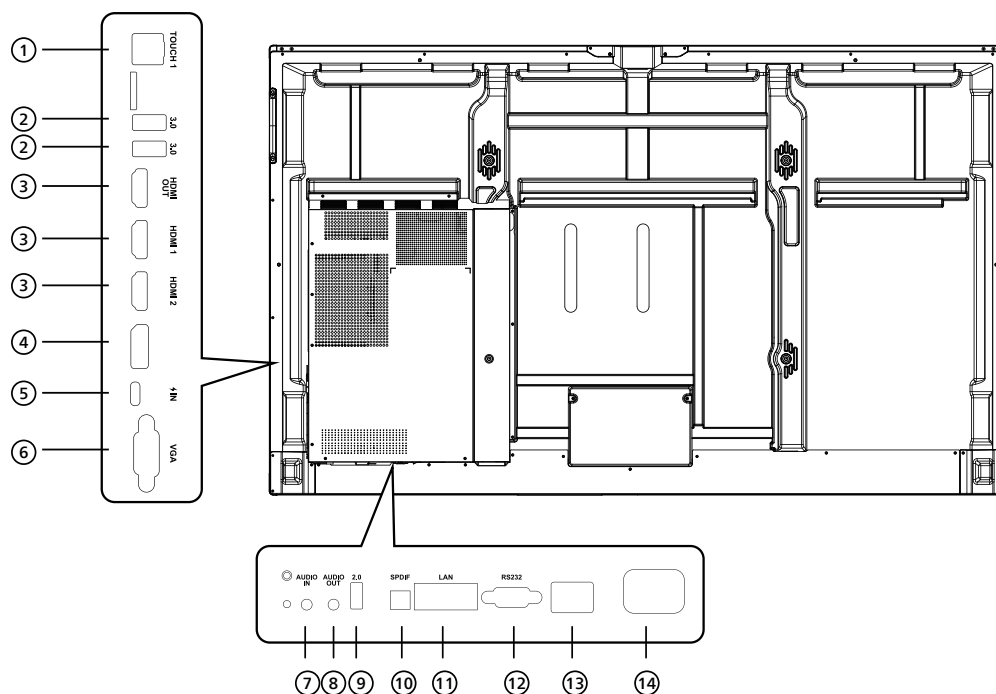
⑫ TOUCH

外部コンピューターへのタッチ信号出力。

⑬ 3.0

モバイルハードディスク、U ディスク、USB キーボード、マウス、USB ドライブなどの USB デバイスを接続します。

3.2. 入力 / 出力端子



① TOUCH

外部コンピューターへのタッチ信号出力。

② 3.0

モバイルハードディスク、U ディスク、USB キーボード、マウス、USB ドライブなどの USB デバイスを接続します。

③ HDMI 入力

高精細度マルチメディアインターフェイス信号入力。HDMI 出力インターフェイスがあるデバイス (HDMI 出力があるパソコン、セットトップボックス、その他のビデオデバイス) との接続に使用します。

④ DP 入力

DisplayPort 出力機能をもつデバイスに接続します。

⑤ タイプ C

充電、データ伝送、オーディオやビデオの出力インターフェイスの拡張をサポートします。

⑥ VGA

コンピューターイメージの外部入力。

⑦ 音声ライン入力

外部オーディオソースの入力 (通常は VGA インターフェイスの音声入力として使用されます)。

⑧ 音声線出力

外部スピーカーへの音声出力。

⑨ 2.0

モバイルハードディスク、U ディスク、USB キーボード、マウス、USB ドライブなどの USB デバイスを接続します。

⑩ SPDIF

光信号によりマルチチャンネル音声を伝送します。

⑪ RJ45

有線ネットワークインターフェイス。イーサネットへの接続に使用します。

⑫ RS232

シリアルインターフェイス。デバイス間でデータを相互伝送する場合に使用します。

⑬ AC スイッチ

AC 電源を投入またはシャットダウンします。「I」は電源オン、「O」は電源オフを表します。

⑭ AC 入力

AC 電源の入力。

3.3. リモコンに乾電池を挿入する

以下に従い、乾電池を入れて下さい。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 正しい極性 (+) と (-) で乾電池を挿入してください。
3. カバーを閉じてください。

注意：

乾電池を誤って使用すると、液漏れまたは爆発を引き起こす可能性があります。以下の指示に必ず従ってください：

- 正しい極性 (+ と -) で単 4 乾電池を挿入してください。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 使用済みの乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。そうしないと、液漏れが発生したり、乾電池の寿命が短くなったりする可能性があります。
- 切れた乾電池は乾電池収納部に液漏れする原因となるため、直ちに取出してください。皮膚が負傷する可能性があるため、乾電池の漏れた酸に触れないでください。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発する可能性があります。バッテリーを非常に高温の周囲環境に放置すると、爆発や可燃性の液体またはガスの漏れが発生する可能性があります。バッテリーを非常に低い空気圧にさらすと、爆発または可燃性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。

注記：長期間にわたって使用しない場合は、乾電池収納部から乾電池を取り外してください。

3.4. リモコンの取り扱い

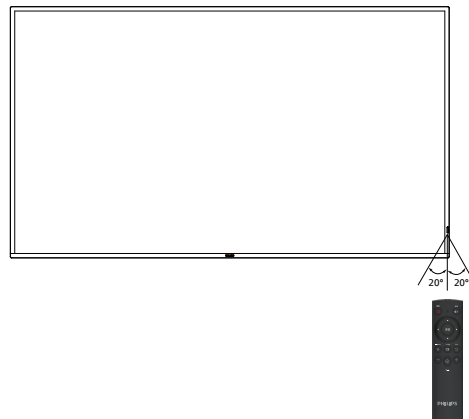
- リモコンを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
- リモコンの内部に液体が入らないようにしてください。リモコンに水が入った場合は、乾いた布で直ちに拭いてください。
- 熱や蒸気を発生するものの近くに、リモコンを置かないでください。
- リモコンの乾電池を交換する以外の場合、リモコンを分解しようとししないでください。

3.5. リモコンの動作範囲

ボタンを押すときに、リモコンの前面上部をディスプレイのリモートセンサーに向けてください。

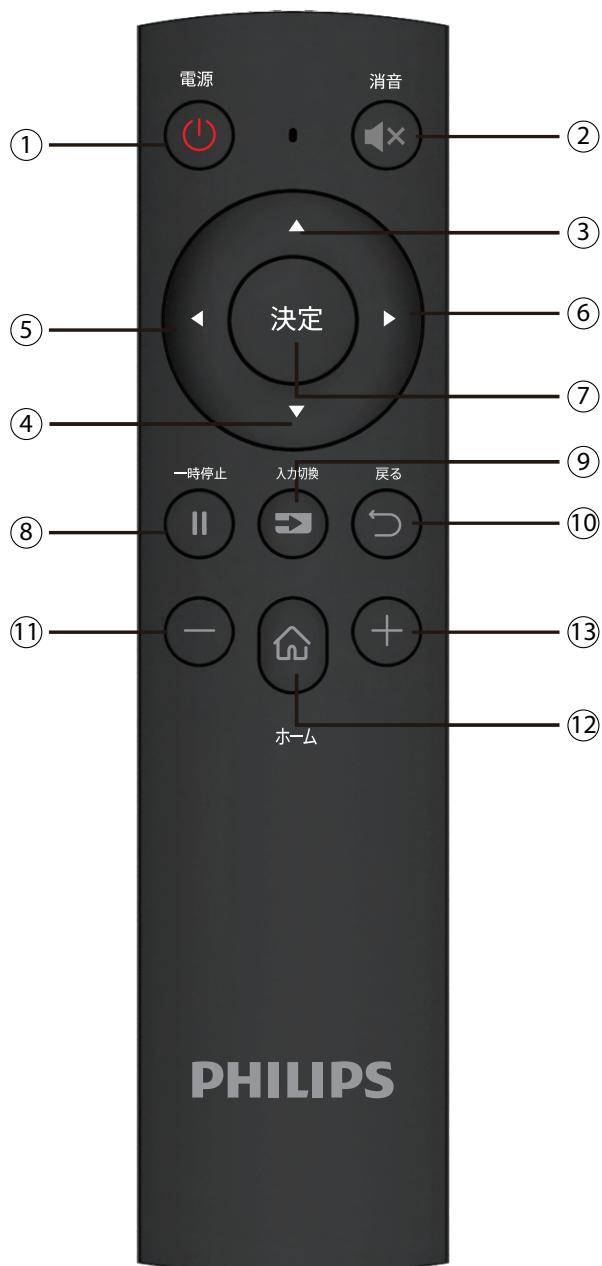
ディスプレイのセンサーから 4 メートル (16 フィート) 以内の距離で、水平方向と垂直方向に 20 度未満の範囲内でリモコンを使用してください。

注記：ディスプレイのリモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たっていたり、またはリモコンとディスプレイのリモートセンサーの間に障害物がある場合は、リモコンが適切に作動しないことがあります。



3.6. リモコン

3.6.1. 一般の機能

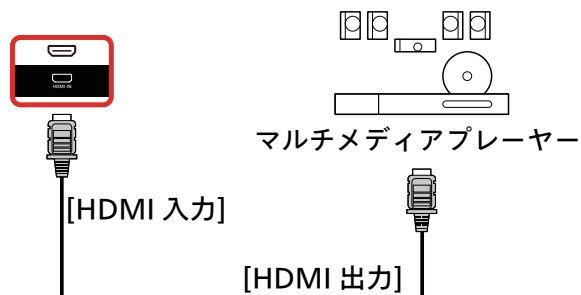


- ① 電源ボタン
電源をオン / オフします。
- ② [静音] 消音ボタン
音声を消音したり、消音解除したりします。
- ③ 上ボタン
上方向の選択の場合に押します。
- ④ 下ボタン
下方向の選択の場合に押します。
- ⑤ 左ボタン
左方向の選択の場合に押します。
- ⑥ 右ボタン
右方向の選択の場合に押します。
- ⑦ 決定ボタン
選択を確定します。
- ⑧ [II] 一時停止ボタン
画面を一時停止します。
- ⑨ [入力切替] 入力切替ボタン
入力切替メニューを開きます。
- ⑩ [戻る] 戻るボタン
前のページに戻るか、現在のアプリを終了します。
- ⑪ [－] マイナスボタン
音量を小さくします。
- ⑫ [ホーム] ホームボタン
Android ホームページに戻ります。
- ⑬ [＋] プラスボタン
音量を大きくします。

4. 外部機器を接続する

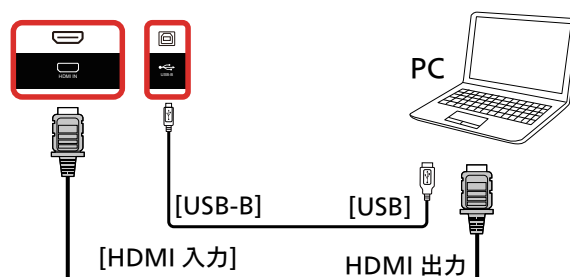
4.1. 外部機器の接続(マルチメディアプレーヤー)

4.1.1. HDMI ビデオ入力の使用

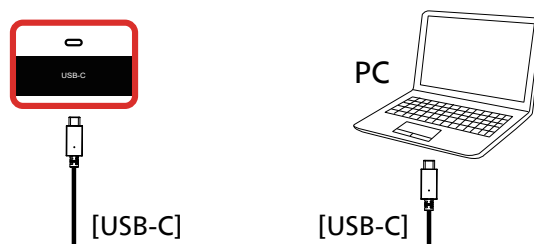


4.2. PC の接続

4.2.1. USB-B で HDMI 入力を使用する(PC へのタッチコネクター)

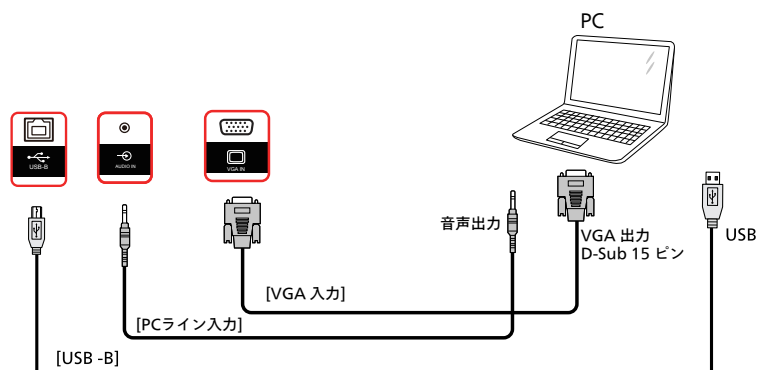


4.2.2. VGA を使用する



4.3. オーディオ機器の接続

4.3.1. 外部オーディオ装置の接続



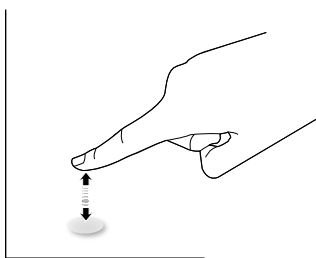
4.4. タッチ操作

このディスプレイはタッチ画面を備えており、シングルタッチまたはマルチタッチ操作による Windows タッチ機能をサポートします。ディスプレイ上の映像やテキストを指で優しくタッチすると、システムが反応します。

このセクションは、ディスプレイのタッチ操作について説明します。タッチ操作の実行方法の詳細については、Windows の操作手順を参照してください。

シングルタップ

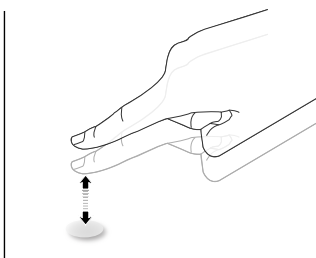
1 本の指先で画面上的のターゲットに 1 回すばやくタッチしてから、離します。



タッチスクリーンをタップすると、タッチスクリーンは指先からの軽いタッチに反応します。

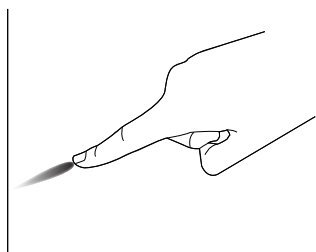
ダブルタップ

1 本の指先で画面上的のターゲットに 2 回すばやくタッチしてから、離します。



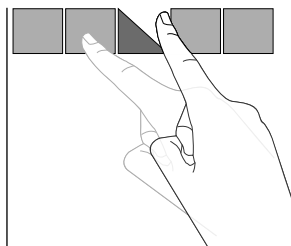
パン

1 本の指先で画面上的のターゲットにタッチし、タッチしたままで、指先を前後左右に動かしてから、離します。



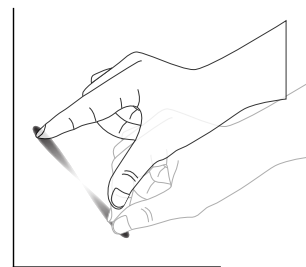
フリック

1 本で指先で画面上的のターゲットにタッチし、すばやく指先を動かします。



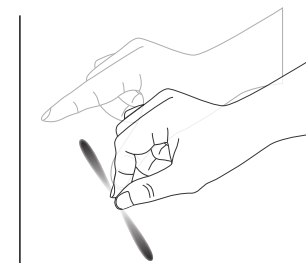
ズームイン

2 本の指先を合わせた状態で画面上的のターゲットにタッチし、指先を離して画面イメージをズームイン（拡大）します。



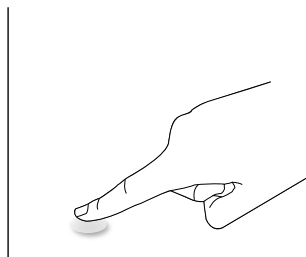
ズームアウト

2 本の指先を離れた状態で画面上的のターゲットにタッチし、指先を近づけて画面イメージをズームアウト（縮小）します。



タッチ&ホールド

1 本で指先で画面上的のターゲットしばらく押し続けると、項目のコンテキストメニューまたはオプションページが表示されます。



禁止事項

- 画面上を鋭利なもので引っかいたりしないでください。タッチ操作は指先のみで行ってください。
- 画面を強い光、スポットライト、または広範囲の光にさらさないでください。
- 直射日光が当たるとタッチコントロール性能に影響を与える恐れがあるため、窓やガラス扉に近い場所に本製品を設置しないでください。
- 画面の干渉を防ぐため、以下に示すように 2 台のタッチスクリーンを並べて配置しないでください。

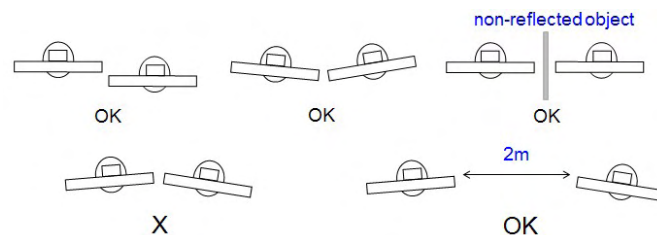


図 タッチスクリーンの干渉

マルチタッチ機能は Mac OS® ではサポートされていません。サポートされる OS をいかに一覧表示します。

項目	説明		
プラグアンドプレイに対応するオペレーティングシステム	Windows 7、8/8.1、10、11		
オペレーティングシステムでサポートされている動作モード	OS	シングルタッチ	マルチタッチ
	Windows 7、8/8.1、10、11	O	O*
	10.15 以前の Mac OSX(10.15 を含みます)	O	X
	10.10 以降の Mac OSX(10.10 を含みます)	O	X
	Chrome 38+	O	O**
	Android 4.0、3.6 以降のカーネル(3.6 を含みます)	O	O***
	Linux	O****	O*****
	* マルチタッチをサポートします。 ** カーネル 3.15 以降。 *** 10 ポイントタッチをサポートします。 **** CentOS、Debian、Fedora、Gentoo、Mandrake(Mandriva)、Meego、Red Hat、Slackware、SuSE(OpenSuSE)、Ubuntu(Xubuntu)、Yellow Dog など。 ***** カーネル 3.15 以降。		

1. すべての Windows 7 OS で最新のサービスパックを使用することを強くお勧めします。
2. Windows へのデジタイザー入力とは、タブレット PC のタッチスタイルラスではなく、タッチデジタイザーを指します。
3. Microsoft によってデフォルトとして設定されています。

5. 取り扱い

注記:この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

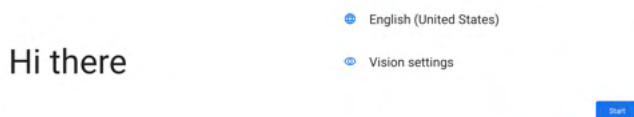
5.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する

1. [] 入力切替ボタンを押します。
2. 矢印ボタンでデバイスを選択してから、[決定] ボタンを押します。

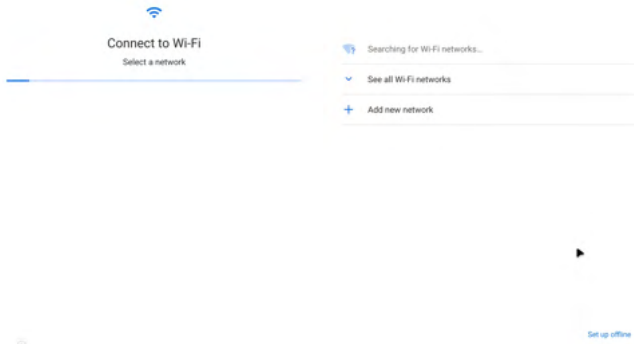
5.2. Google の機能を活用する

新規セットアップウィザードの手順は以下のとおりです。

- **ようこそページ:**このページでは言語設定とビジョン設定を選択できます。[開始] ボタンをクリックするとアプリケーションの使用を開始できます。



- **ネットワーク設定:**ユーザーはネットワークに接続するか、接続を省略するかを選択できます。

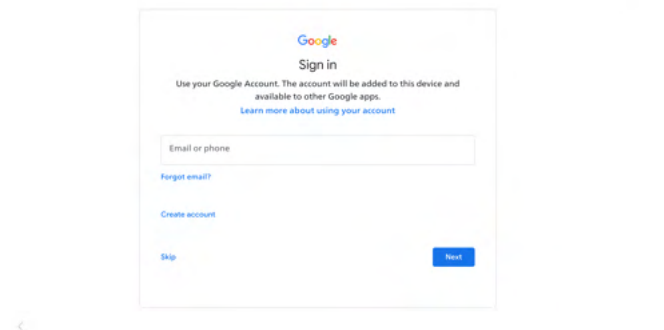


注記:Google のすべての機能 (Gmail、Play ストアなど) を利用するには、インターネットに接続して Google アカウントにサインインする必要があります。ネットワークのセットアップを省略すると、Google サービスの詳細設定に移ります。

- **アプリとデータのコピー:**アプリ、写真、連絡先、Google アカウントなどを移行できます。

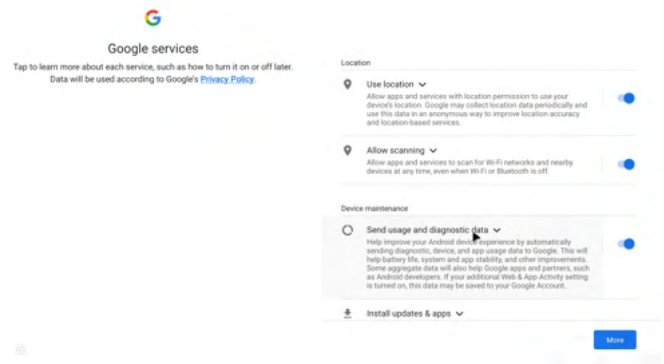


- **Google アカウント:**Google アカウントにサインインします。「スキップ」をタップすると、サインインせずに続行できます。

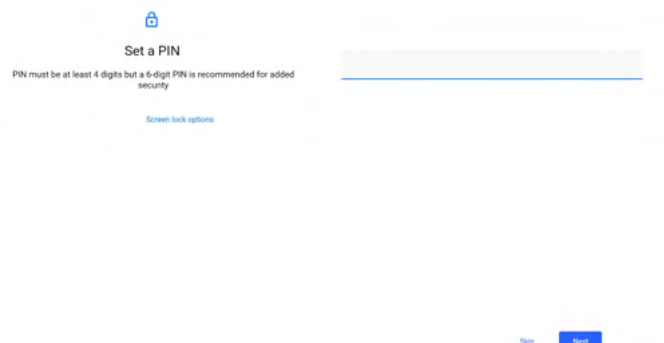


注記:サインインの後、アカウント情報がこのデバイス上のすべての Google アプリと同期されます。

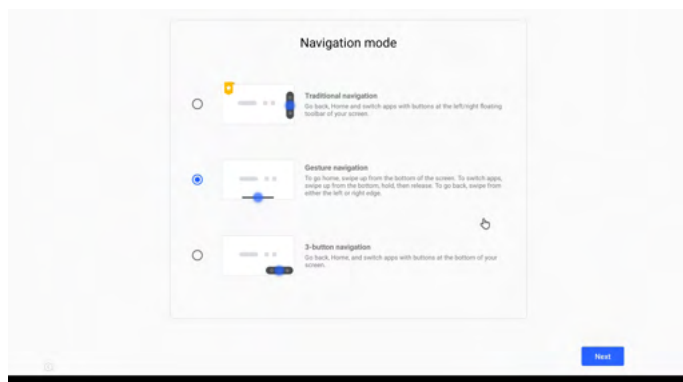
- **Google サービス設定:**ユーザーは必要に応じて以下の Google サービスを有効または無効にできます。



- **PIN コード設定:**ロック画面の PIN を設定するか、設定せずに先へ進むことができます。



- **ナビゲーションモード:**優先するナビゲーションモードを、従来、ジェスチャー、3 ボタンから選択できます。



- **国・地域設定:**国や地域を選択できます。



- **パネルテスト:**パネル上の黒点検出を実行できます。



- **メディアファイルを内部に複製:**マルチメディアファイルを他のマシンからこのデバイスに複製できます。



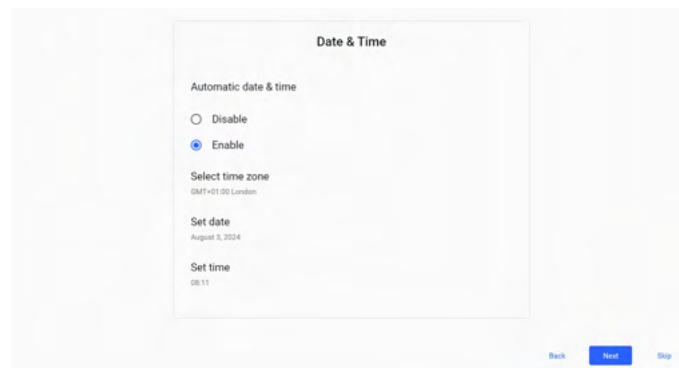
- **サイネージディスプレイ設定:**サイネージディスプレイ設定を他のデバイスからこのマシンにインポートするか、手動で設定します。



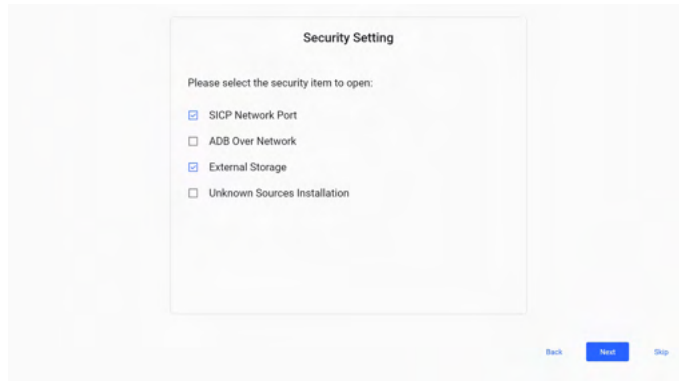
- **サイネージディスプレイ名:**デバイス名を設定します。



- **日付 / 時刻:**タイムゾーンと日時は手動または自動で設定できます。



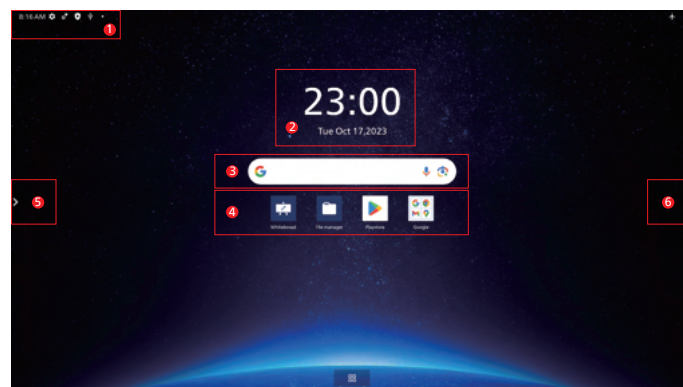
- **セキュリティ設定:**セキュリティオプションを選択して有効にします。



- **FTP:**FTP(ファイル転送プロトコル)を有効または無効にします。

5.3. 起動画面

5.3.1. 起動画面のレイアウト



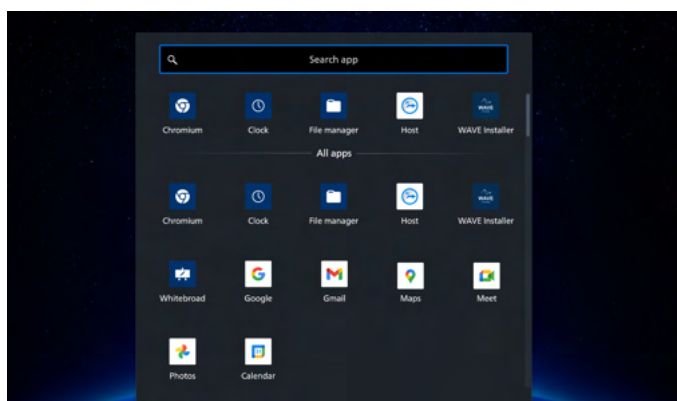
- **ステータスバー**: ネットワークの接続状況と、その他のシステムインジケータが表示されます。
- **時刻 / 日付ウィジェット**: 日付 / 時刻設定を開きます。
- **Google 検索バー**: Google で情報検索するためのキーワードを入力します。
- **アプリアイコンと Google アプリフォルダー**: インストール済みのアプリケーション (ホワイトボード、ファイルマネージャー、Google Play ストアなど) に簡単にアクセスできます。
- **サイドバー**: タップすると、スモールツールとコントロールパネルが開きます。
- **アプリドロワー**: 追加でインストールされたアプリケーションにアクセスできます。

5.3.2. サイドバー

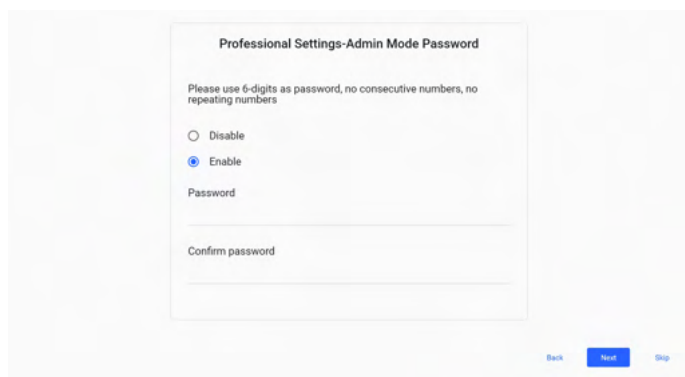
サイドアイコン  をタップしてサイドバーを開きます。サイドバーはナビゲーション、アプリアクセス、ツールの 3 つのセクションで構成されています。

- **Navigation (ナビゲーション)**: ジェスチャーナビゲーションまたは従来のナビゲーションを選択するためのオプションが表示されます。
- **アプリアクセス**: 追加したアプリケーションにアクセスできます。

すべてのアプリ: アイコンをタップすると「すべてのアプリ」メニューが表示されます。



- **プロフェッショナル設定 - 管理者モードのパスワード**: プロフェッショナル設定の管理者モードのパスワードを設定できます。また、設定しないままにすることもできます。



- **設定完了**: 設定を完了します。

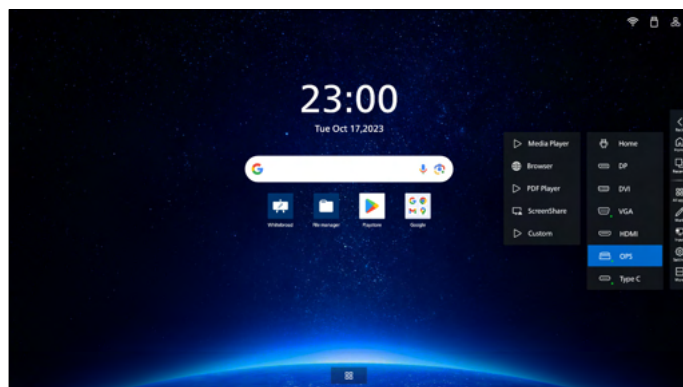


- ツール:マーク、入力、設定、その他などの機能があります。

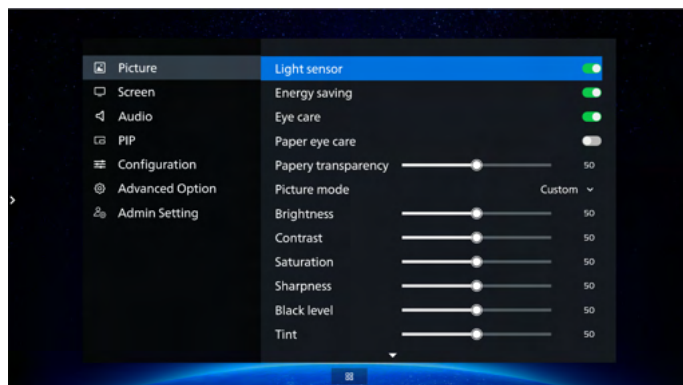
マーク:タップすると注釈モードが開きます。注釈モードはどのインターフェイスからでも起動できます。複数ページでの注釈も可能で、思いついたことを忘れないうちに記録できます。文字の記入や図の描画、スケッチを自由にできます。



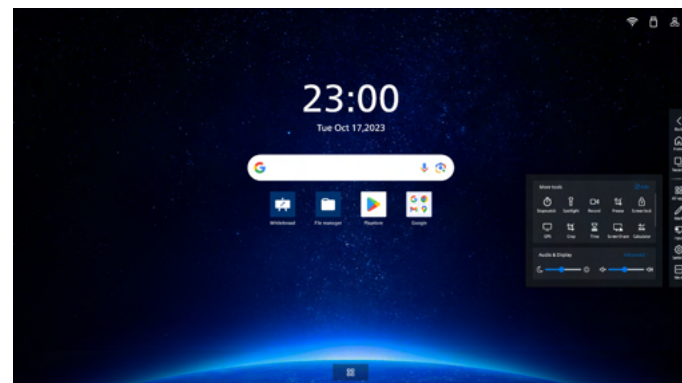
入力:アイコンをタップするとソースリストが開きます。



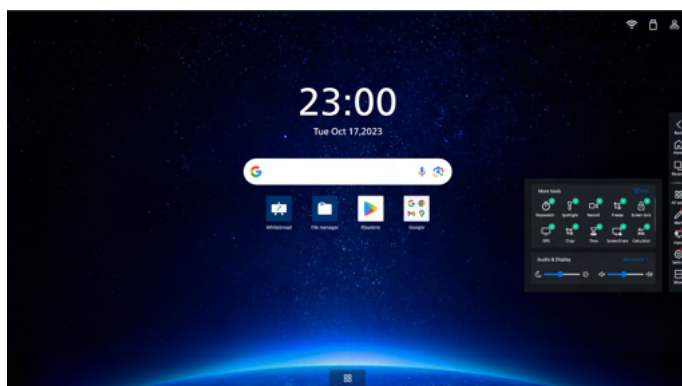
設定:アイコンをタップするとプロフェッショナル設定が開きます。



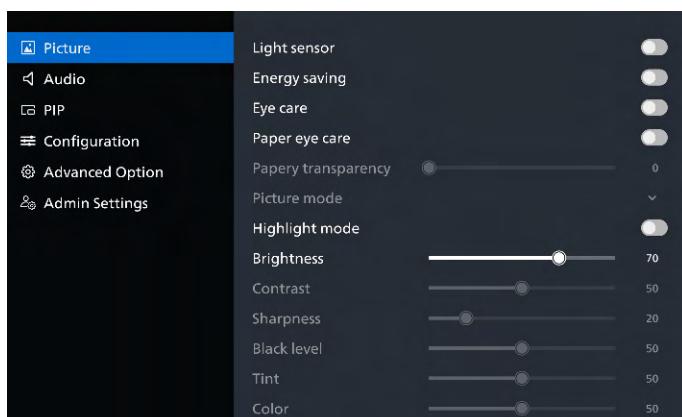
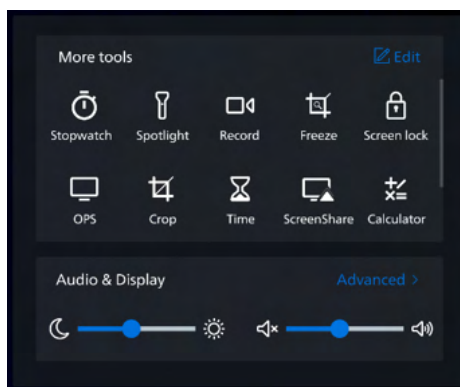
その他:アイコンをタップすると、「オーディオ / ディスプレイ」メニューが開きます。



その他のツール:「その他」メニューで「編集」をタップするか、いずれかのツールのアイコンを長押しすると、編集モードになります。編集モードでは、ツールをドラッグしてツールの順序を変更できます。また、サイドバーに最大 4 個のツールを追加できます。

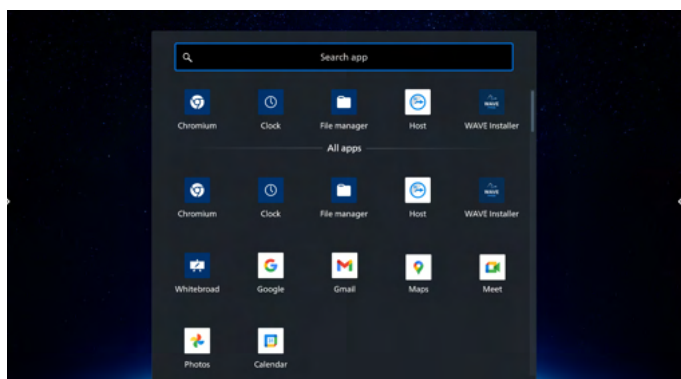


コントロールバー上の点をドラッグするとブライトネスと音量を調節できます。「詳細設定」をタップすると、プロフェッショナル設定が開きます。



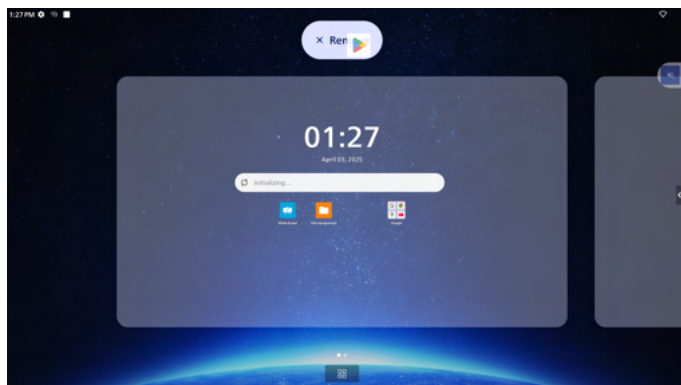
5.3.3. すべてのアプリ

「すべてのアプリ」アイコンをタップするか、起動画面の任意の場所で上にスワイプすると「すべてのアプリ」メニューが開きます。



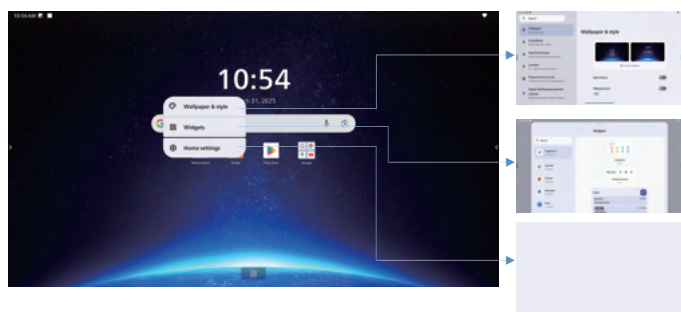
アプリアイコンを起動画面に追加するには、「すべてのアプリ」メニューでアプリアイコンを長押ししてからそのアイコンをドラッグし、起動画面の目的の位置に配置します。

また、追加したアイコンやアプリのフォルダーを長押ししてドラッグし、起動画面の目的の位置に配置することもできます。

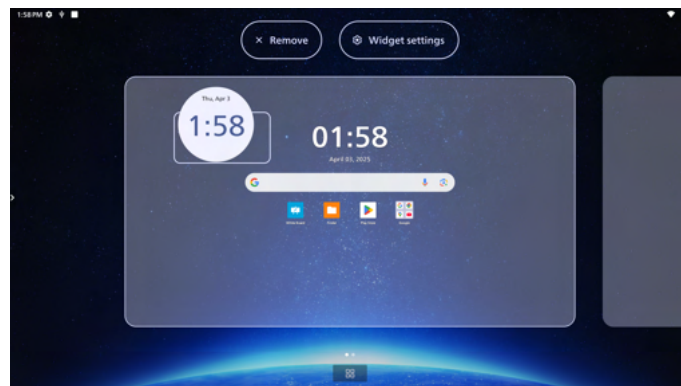


5.3.4. クイック操作

起動画面で空白の場所を長押しすると、起動画面メニューが開きます。起動画面メニューでは壁紙やスタイルを変更、新しいウィジェットを起動画面に追加したり、起動画面の設定を変更することができます。

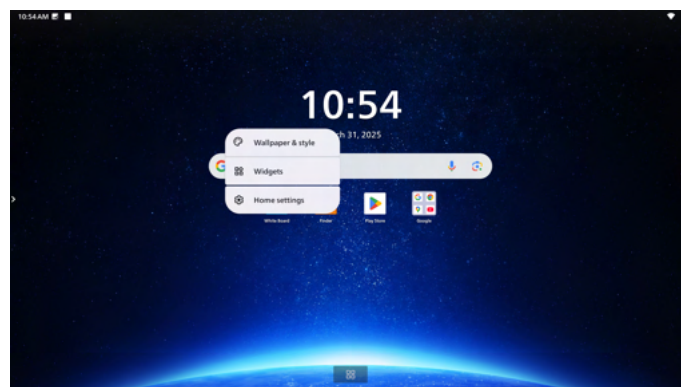


アプリアイコンまたはウィジェットを長押しして「削除」ボタンにドラッグすると、そのアイテムを起動画面から削除できます。



アプリアイコンを長押しするとアプリメニューが表示されます。このメニューには以下のような要素があります。

- アプリ情報の取得
- 画面分割 (左または右)
- ウィジェット

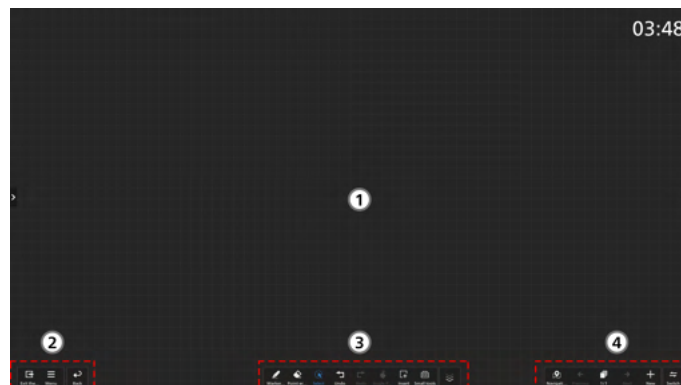


5.4. ホワイトボード

5.4.1. メインページ

ホワイトボードページは大きく 4 つのセクションに分かれています。

- ホワイトボードキャンバスワークスペース
- ホワイトボードメニューバー
- ホワイトボードツールバー
- ページ管理バー



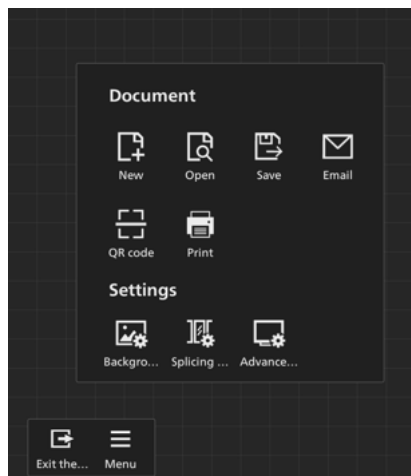
5.4.2. ホワイトボードキャンバスワークスペース

ホワイトボードキャンバスワークスペースは、ブレインストーミングやビジュアルコンテンツ作成に使用する、インタラクティブなデジタルワークスペースです。

無限のキャンバスで、文字の記入、図の描画、メディアの挿入、アイデアの整理ができます。注釈ツールとシームレスなファイル統合により、アイデアを効率的に構成し、デバイス間のワークフローを強化できます。

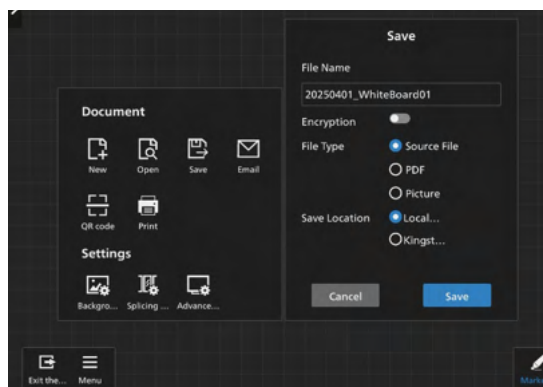
5.4.3. ホワイトボードメニューバー

左下の「Menu(メニュー)」アイコンをクリックすると、メニューが開きます。

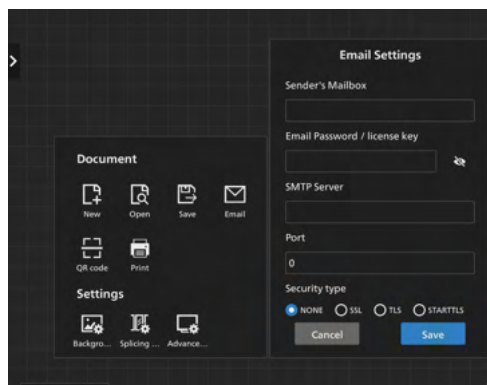


ドキュメント

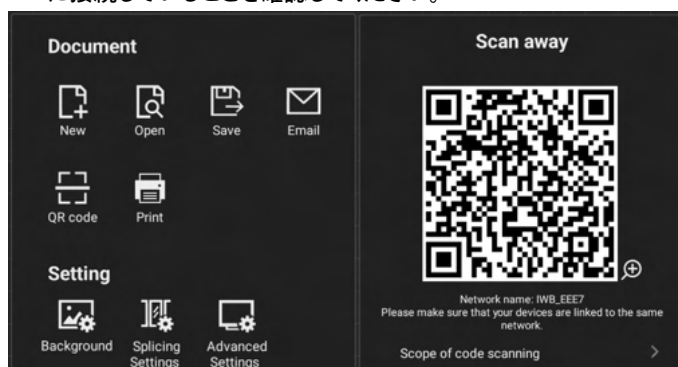
- **新**: アイコンをクリックすると、新しいホワイトボードファイルを作成できます。
- **開く**: アイコンをクリックするとファイルマネージャーが開き、ホワイトボードフォルダーに移動して、開くファイルを選択できます。
- **保存**: アイコンをクリックすると、デフォルトではファイルがローカルで保存されます。また、保存場所を USB ドライブに変更することもできます。



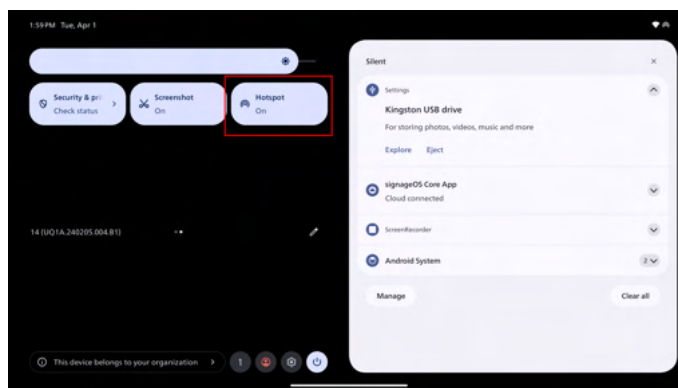
- **メール**: アイコンをクリックすると、ファイルをメールで送信できます。デフォルトでは、公開の送信者メールアドレスが使用されます。カスタムの送信者メールアドレスを使用するには、送信者のメールアドレス、パスワード / 認証コード、SMTP サーバーアドレス、ポート番号、暗号化方法を設定する必要があります。このシステムでは一度に送信できる送信先は最大 10 件です。



- **カスタムメール設定**: 設定する送信者のメールアドレス、パスワード / 認証コード、SMTP サーバーアドレス、ポート、暗号化方法を入力します。
- **QR コード**: アイコンをクリックすると、QR コードが生成されます。この QR コードをスキャンすると、ホワイトボードファイルをダウンロードできます。このファイルは以下のネットワーク条件でダウンロードできます。
ホットスポット: モバイルデバイスが IWB のホットスポットに接続していることを確認してください。
WiFi: モバイルデバイスと IWB の両方が同じ WiFi ネットワークに接続していることを確認してください。



- **ホットスポットの設定方法**: 画面上部からステータスバーを引っ下げ、[ホットスポット] アイコンをタップすると、オンとオフを切り替われます。アイコンを長押しすると、Android システム設定の「Wi-Fi ホットスポット」設定ページに移動し、ホットスポットのパスワードを確認できます。

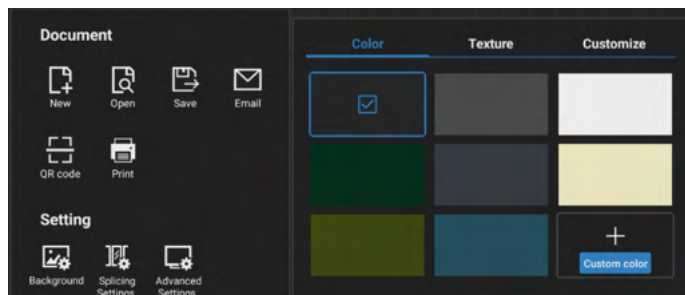


- **印刷**: アイコンをクリックすると、印刷ファイルが生成され、プレビューインターフェイスが開きます。プリンターを選択して、印刷プロセスを開始します。

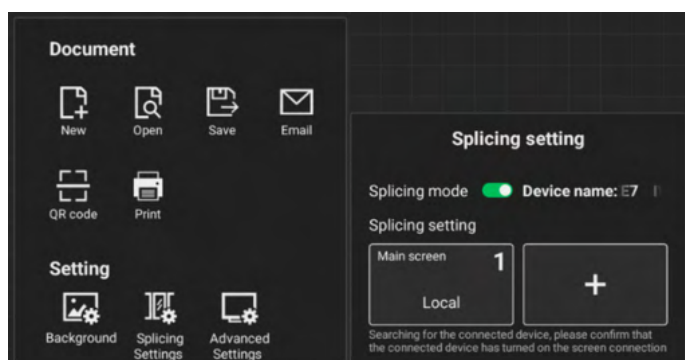
注記: 印刷機能を使用するには、メーカーから提供されている専用の Android プリンターサービスアプリのインストールが必要となる場合があります。

Settings (設定)

- 背景: アイコンをクリックすると、ホワイトボードの色とテクスチャを設定でき、また背景を好きなようにカスタマイズできます。



- スプライシングの設定: アイコンをクリックすると、スプライシングの設定が開きます。



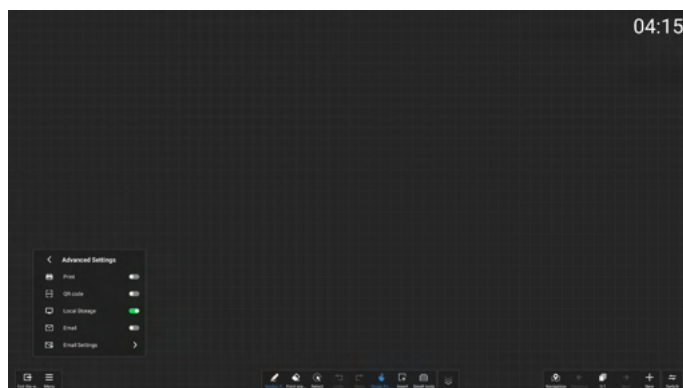
ホワイトボード画面接続を有効にする: スプライシングモードを有効にして「+」アイコンをクリックすると、現在の IP ドメインで実行されているほかの IWB デバイスを自動的に検出します。システムは PD 名を取得し、使用可能なデバイスのリストを表示します。スプライシング用のセカンダリ画面として、最大 2 台のデバイスを選択できます。これらのデバイスはメイン画面に均等に表示されます。デバイスが追加されると、通知がセカンダリ画面に表示され、ユーザーは接続するかどうかを決定できます。また、手動で IP アドレスを入力してデバイスを追加することもできます。

セカンダリ画面を削除する: セカンダリ画面を長押しして選択します。次に、削除ボタンエリアにドラッグすると、セカンダリ画面が削除されます。なお、メイン画面は削除できません。

画面の表示順序を調整する: 画面を長押しして左右にドラッグすると、スプライシングの表示順序を変更できます。たとえば、順序を 123 から 132 に調整できます。

ホワイトボード画面接続を無効にする 画面の接続を解除するには、スプライシングモードを無効にするか、セカンダリ画面を削除するか、ホワイトボードを終了します。セカンダリ画面の接続を解除すると、画面の内容が自動的にメイン画面に戻ります。複数のセカンダリ画面が接続されている場合、片方を終了してももう片方に影響はありません。

- 詳細設定: アイコンをクリックして、詳細設定にアクセスするためのシステムパスワードを入力します。



印刷: 「印刷」モードがオンの場合、印刷機能を使用できます。オフの場合はできません。

QR コード: 「QR コード」モードがオンの場合、QR コード共有を使用できます。オフの場合はできません。

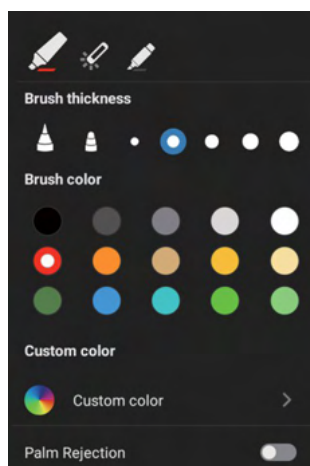
ローカルストレージ: 「ローカルストレージ」モードがオンの場合、ファイルはローカルストレージに保存できます。オフの場合はできません。

メール: 「メール」モードがオンの場合、メール共有を使用できます。オフの場合はできません。

メール設定: アイコンをクリックすると、送信先アドレスや件名などのパラメーターを設定できます。

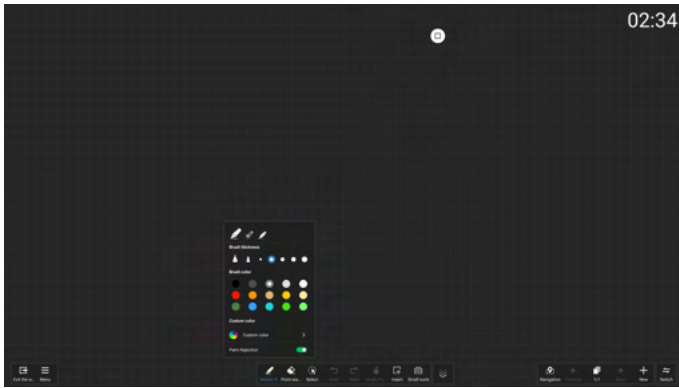
5.4.4. ホワイトボードツールバー

- マーカーペン: アイコンをクリックすると各種の書体、ペンの太さと色を選択でき、またホワイトボードに自由に記入できます。

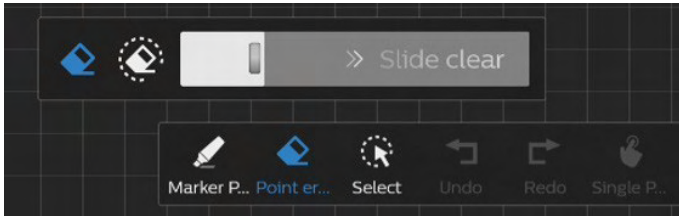


- タイプ:** マーカーペン、レーザーペン、ハイライトペンを使用できます。
- 筆の太さ:** ホワイトボードでの記入に使用する筆の太さを複数のオプションから選べます (全部で 5 通りの太さがあります)。
- 筆の色:** ホワイトボードでの記入に使用する筆の色を複数の中から選べます。色をカスタマイズすることもできます。
- パームリジェクション:** パームリジェクションモードのオン / オフを切り替えます。

注記: パームリジェクションがオンのとき、このアイコンはキャンバスの右上隅に表示され、ヒント選択領域はグレー表示されます。



- **ポイント消去ツール:**アイコンをクリックすると、複数の消去モードの中から選択できます。



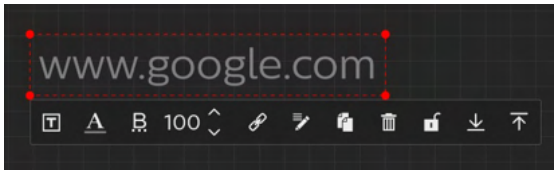
ポイント消去:接触エリアに応じて消去ツールのサイズを指定できます。小さなエリアの消去に適しています。

円消去:円形のエリアにある手書きやグラフィックが消去されます。大きなエリアの消去に適しています。

スライドクリック:右端までスワイプすると、現在のページの内容がすべて消去されます。

ハンドバック消去:手の甲を消去ツールとして使用できます。

- **選択:**アイコンをクリックしてキャンパス内の任意の要素を選択すると、最上位配置、最下位配置、コピー、削除、ズームなどの操作ができます。



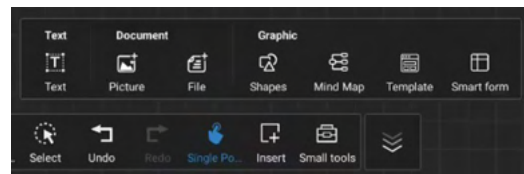
操作手順

- **最上位に配置:**選択したオブジェクトを最上位に配置します。
- **最下位に配置:**選択したオブジェクトを最下位のレイヤーに配置します。
- **コピー:**選択したオブジェクトをコピーして貼り付けます。
- **削除:**選択したオブジェクトを削除します。
- **ズーム:**画像のサイズを調整します。

- **トリミング:**画像のサイズをトリミングします。
- **置き換え:**画像を置き換えます。
- **ダウンロード:**画像をローカルにダウンロードします。
- **ロック:**選択したオブジェクトをロックします。
- **フォント:**フォントの種類、サイズ、色、太さを編集します。
- **リンク:**ハイパーリンク URL を挿入します。

注記:要素をコピーしてから画面を長押しすると貼り付けアイコンが表示されます。これをタップすると貼り付けられます。

- **Undo(元に戻す):**アイコンをクリックすると、最後の操作が取り消されます。最大で 50 回前までの操作を取り消せます。
- **やり直し:**アイコンをクリックすると、直前で元に戻した操作がやり直されます。最大で 50 回後までの操作をやり直せます。
- **シングルポイント / マルチポイント:**アイコンをクリックすると書き込みモードを切り替えられます。シングルポイントモードでは、1 つの書き込みポイントを使用できます。また、キャンパスのズームや移動などの、複数の指を使う操作もできます。マルチポイントモードでは、最大で 20 個の書き込みポイントを同時に使用できます。
- **挿入:**アイコンをクリックするとファイルとグラフィックのパネルが表示されます。ここでは、テキスト、画像、ドキュメント、図形、マインドマップ、テンプレート、スマートテーブルをホワイトボードに挿入できます。



ドキュメントの挿入

操作手順

- 入口ホワイトボードを開く→ホワイトボードツールバー→「挿入」→「ドキュメント」の順に開きます。
- ファイルマネージャーを開き、PDF ドキュメントを選択します。
- ファイルの変換と解析の状況を示す進行状況バーが表示されます。変換が完了すると挿入されます。



ドキュメントの操作

ウィンドウの調整:ウィンドウのサイズを調整します(デフォルトでは 2 番目のレベルです)。

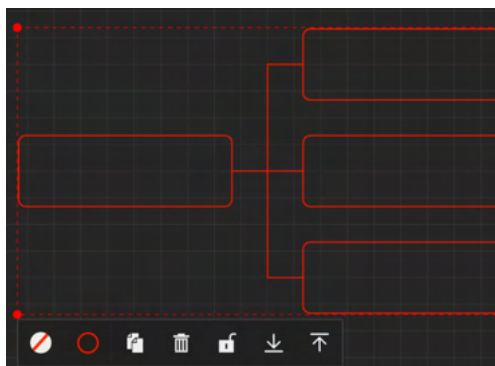
- **スクリーンショット:**ドキュメントの内容を取得し、画像としてホワイトボードに挿入します。
- **ページ番号:**現在のページと総ページ数を表示します。
- **前のページ:**ページを移動します。最初のページではこのアイコンはグレー表示されます。
- **次のページ:**ページを移動します。最後のページではこのアイコンはグレー表示されます。

- 閉じる:「X」アイコンをクリックするとドキュメントウィンドウが閉じます。
- ドキュメントウィンドウを移動する:ツールバーをクリックしてドラッグすると、ドキュメントウィンドウを移動できます。
- 全画面表示:ドキュメントの内容を全画面で表示します。反転、書き込み、消去などの編集操作ができます。

マインドマップ:ホワイトボードではマインドマップを挿入できます。

入力:任意のホワイトボードを開く→ホワイトボードツールバー→「挿入」→「マインドマップ」の順に選択します。

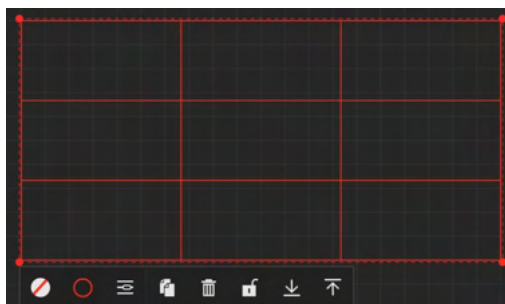
アイコンをクリックするとマップグラフィックを挿入できます。書き込み、追加、削除、コピーなどの操作ができます。選択したセルをクリックして、横にある「追加 / 削除」アイコンをクリックし、行や列を追加または削除します。セルは書き込みやサイズ変更が自由にできます。



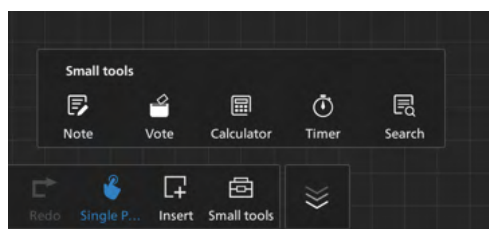
スマートテーブル:ホワイトボードではスマートテーブルの挿入ができます。

入力:任意のホワイトボードを開く→ホワイトボードツールバー→「挿入」→「スマートテーブル」の順に選択します。

このテーブルでは、書き込み、追加、削除、コピーなどの操作ができます。テーブルを選択して左下隅の「その他」アイコンをクリックして、テーブルの横にある「追加 / 削除」アイコンをクリックし、行や列を追加または削除します。また、テーブルの色の変更、コピー、削除などの操作もできます。



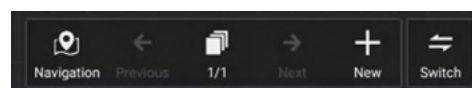
- **小規模なツール:**アイコンをクリックすると、現在のホワイトボードページ内で使用できるメモ、投票、タイマー、検索などのガジェットが表示されます。



- **ツールバーの表示 / 非表示:**クリックすると、ホワイトボードツールバーの表示 / 非表示が切り替わります。

5.4.5. ページ管理バー

ホワイトボードページの管理に使用します。これらのページでは、ページの新規作成、ページの切り替え、ホワイトボードページのプレビューができます。

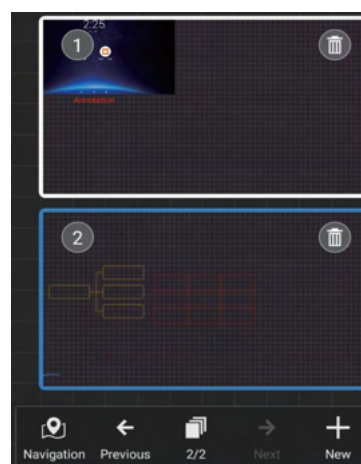


• ナビゲーション

ナビゲーションプレビュー画像表示:ホワイトボードの下にある [ナビゲーション] アイコンをクリックすると、1:1 サムネイル全キャンバスプレビュー画像が表示されます。他のエリアをクリックすると自動的に閉じます。

キャンバス位置ジャンプ:ナビゲーションプレビュー画像のビジュアル移動ボックスをクリックすると、キャンバスの位置が自動的に設定され、該当するエリアにジャンプします。

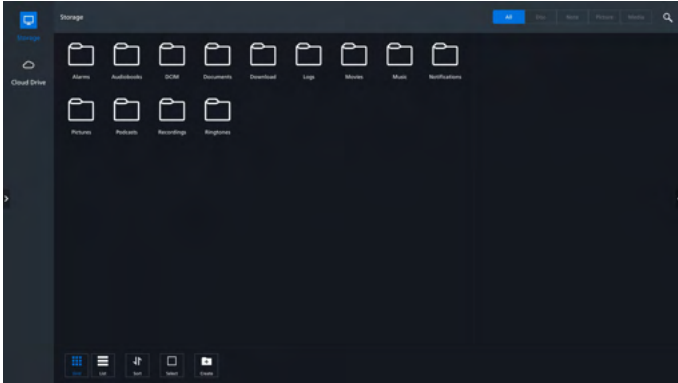
- **ページ番号**現在のページ番号とページの総数が表示されます(ゴミ箱をクリックすると現在のページが削除されます。)このアイコンをクリックすると前のページに移動します。最初のページではこのアイコンはグレー表示されます。



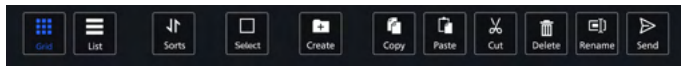
- **次へ:**アイコンをクリックすると次のページに移動します。最後のページではこのアイコンはグレー表示されます。
- **新:**アイコンをクリックすると新しいブラックページが追加されます。
- **切り替え:**アイコンをクリックすると、前または次のページに移動、またはプレビュー内のページを選択できます。

5.5. ファイル管理

ローカルファイルと USB ドライブのファイルを管理します。



ユーザーはローカルストレージに保存されているリソースをカテゴリ単位で参照できます。カテゴリにはドキュメント、ホワイトボードの書き込み（ホワイトボードで保存されたページとクイックスクリーンショット）、ビデオ、写真、音声などがあります。



- **グリッド**: リソースは、デフォルトではアイコン形式で表示されます。
- **リスト**: リソースは詳細情報形式表示されます。
- **並べ替え**: 名前、種類、サイズ、時間を基準にリソースを並べ替えることができます。
- **選択**: 必要に応じてリソースを選択できます。
- **作成**: 現在のディレクトリの下に新しいフォルダーを作成できます。
- **コピー**: 現在選択されているリソースをコピーできます。
- **貼り付け**: 貼り付け操作を実行できます。
- **切り取り**: 現在選択されているリソースを切り取ることができます。
- **削除**: 選択されているリソースを削除できます。
- **名前の変更**: 選択されているリソースの名前を変更できます。
- **送信**: 選択されているファイルを目的のフォルダーに送信できます。

5.6. メディアプレーヤー

5.6.1. OSD メニューでのメディアプレーヤーの操作:

1. Boot on source (ソース起動):

- **入力**:
 - メディアプレーヤーをソースとして選択すると、起動プロセスが完了次第、システムは自動的にメディアプレーヤーに入ります。
- **プレイリスト**:
 - 0: メディアプレーヤーのメインページに移動します。
 - 1 - 7: メディアプレーヤーに移動し、再生一覧のファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。

2. スケジュール:

- **今日**
 - 日付 / 時刻設定を表示します。
- **1 - 7**:
 - 最大 7 つのスケジュールを設定します。
- **オン / オフ**
 - 開始時間と終了時間を設定します。
- **入力**:
 - メディアプレーヤーをソースとして選択すると、PD は終了時にメディアプレーヤーを自動的に起動します。
- **月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、毎週**:
 - ライフサイクルを設定します。
- **プレイリスト**:
 - 0: メディアプレーヤーのメインページに移動します。
 - 1 - 7: メディアプレーヤーに移動し、プレイリストのファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。
- **全部消去**

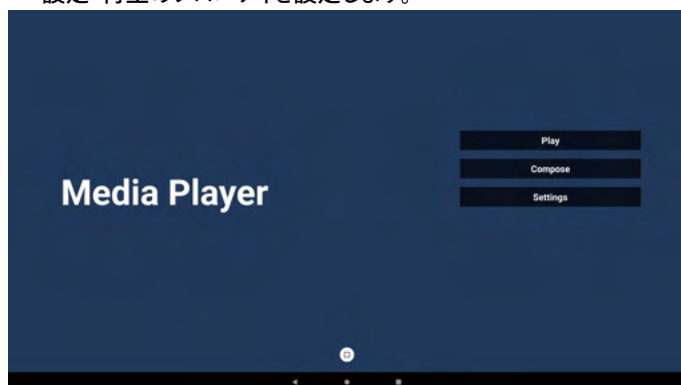
5.6.2. メディアプレーヤーのご紹介:

1. メディアプレーヤーアプリのメインページです。このアプリには 3 つの項目:「再生」、「構成」、「設定」があります。

Play (再生): 再生するプレイリストを選択します。構成: プレイリストを編集します。

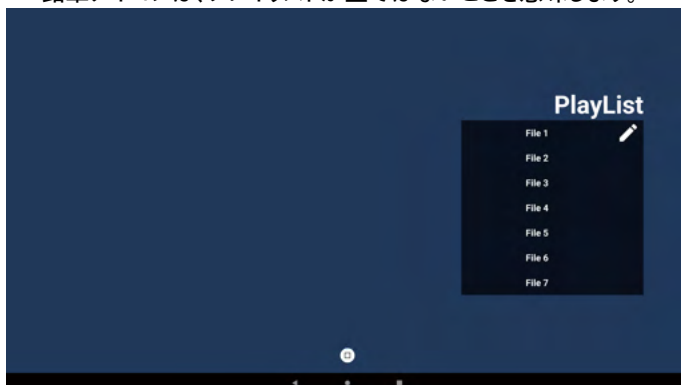
設定: メディアプレーヤーのプロパティを設定します。

設定: 再生のプロパティを設定します。



2. メインページで「Play(再生)」を選択し、最初に、ファイル 1 とファイル 7 の間から再生する 1 つのプレイリストを選択する必要があります。

鉛筆アイコンは、プレイリストが空ではないことを意味します。



3. メインページで「Compose(構成)」を選択します。最初に、ファイル 1 ～ファイル 7 の中から編集するプレイリストを選択します。

鉛筆アイコンは、再生一覧が空ではないことを意味します。



4. 空のプレイリストを選択した場合、アプリはメディアソースを選択するようにガイドします。

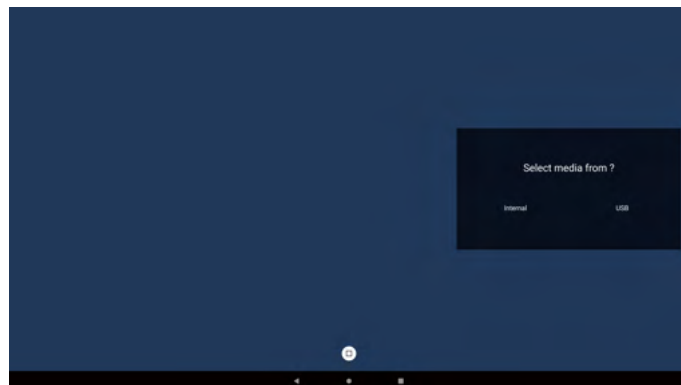
すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリの /philips/ に保存する必要があります。

例えば、

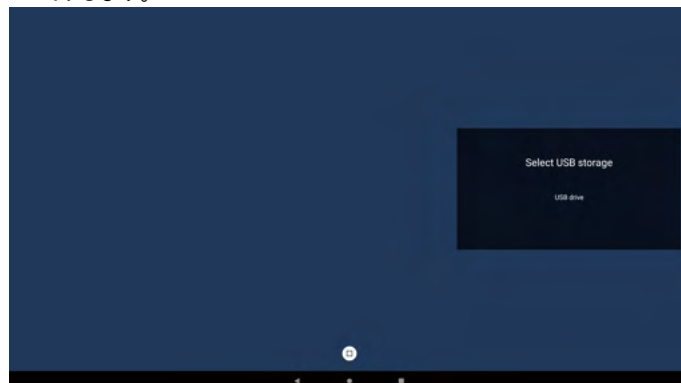
動画: { ストレージのルートディレクトリ } / philips / video /

写真: { ストレージのルートディレクトリ } / philips / photo /

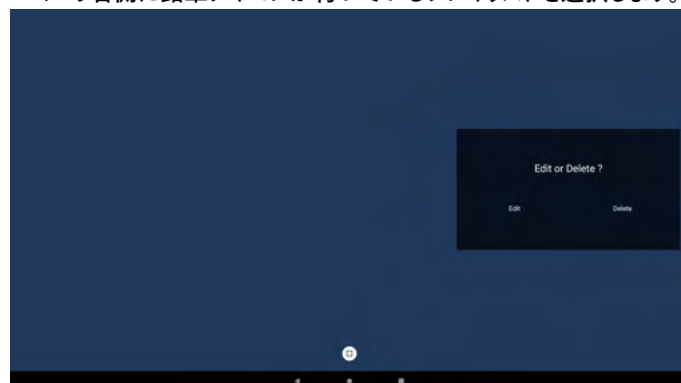
音楽: { ストレージのルートディレクトリ } / philips / music /



5. 「USB」ストレージを選択すると、アプリが USB デバイスの選択をガイドします。



6. 空でないプレイリストを編集または削除するには、選択したファイルの右側に鉛筆アイコンが付いているプレイリストを選択します。



7. 再生一覧を編集し始めると、メニューは次のように表示されます。

Source(ソース) - ストレージ内のファイル。

Playlist(プレイリスト) - プレイリスト内のファイル。

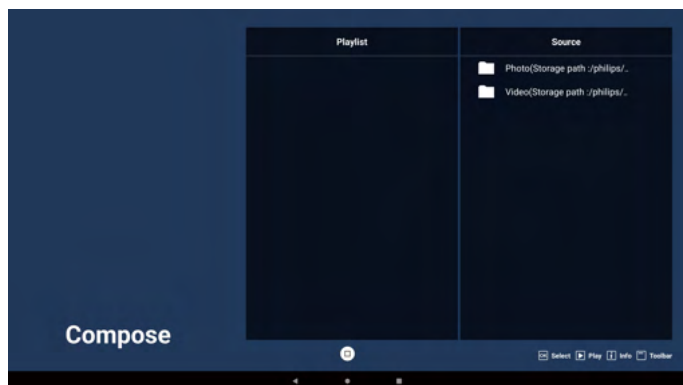
Toolbar(ツールバー) - サイドバーを起動します。

Play(再生) - メディアファイルを再生します。

Info(情報) - メディア情報を表示します。

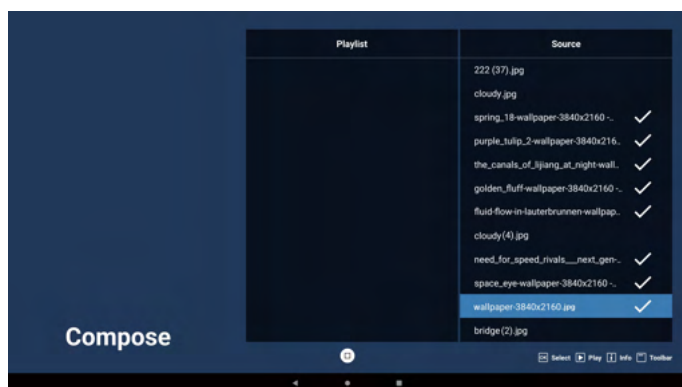
Touch file(タッチファイル) - ファイルを選択 / 選択解除します。

注記: ソース内のディレクトリの 1 つを長押しすると、フルパスが表示されます。



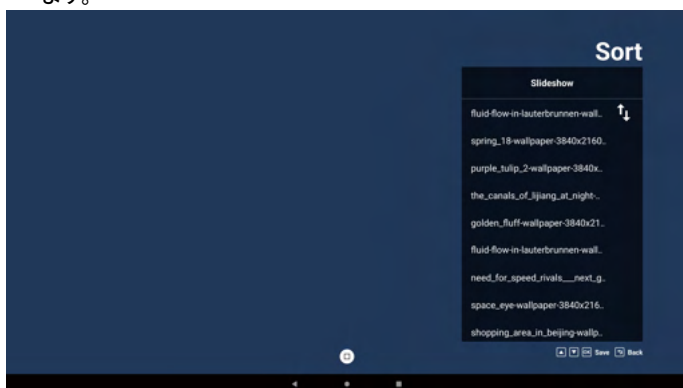
7-1 サイドメニューバーから、次の機能を使用できます:

- Select all (すべて選択): すべてのストレージファイルを選択します。
- Delete all (すべて削除): すべてのプレイリストファイルを削除します。
- Add/remove (追加 / 削除): ソースから再生一覧を更新します。
- Sort (並べ替え): 再生一覧を並べ替えます。
- Save/abort (保存 / 中断): 再生一覧を保存または中断します。
- Back (戻る): 前のメニューに戻ります。

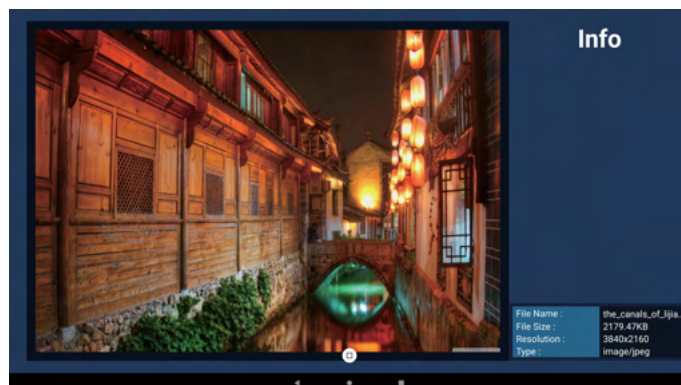


8. 「Sort(並べ替え)」を選択すると、ファイルの順序を個別にカスタマイズできます。

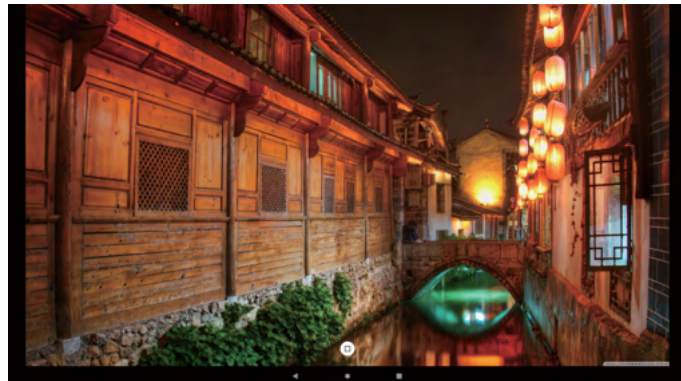
注記: このページを離れると、すべてのデータが自動的に保存されます。



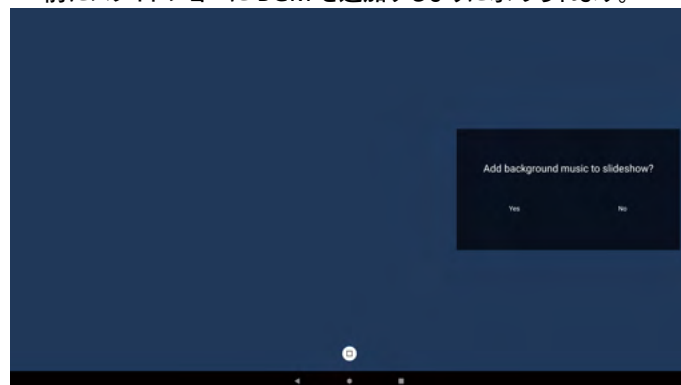
9. 目的のファイルを選択した後、「Info(情報)」キーを押して詳細情報を取得します。



10. 目的のファイルを選択した後、「Play(再生)」キーを押してメディアファイルを直ちに再生します。



11. すべての画像ファイルでプレイリストを作成した場合は、保存する前にスライドショーに BGM を追加するように求められます。



12. メインページで「Settings(設定)」を選択します。5 つのオプション: 「Repeat Mode(繰り返しモード)」、「Slideshow Effect(スライドショー効果)」、「Effect Duration(効果時間)」、「Software Decode(ソフトウェアデコード)」、「USB Autoplay(USB 自動再生)」があります。

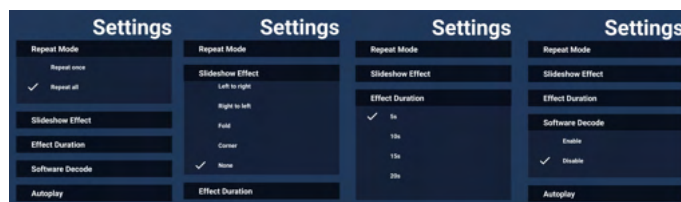
Repeat Mode(繰り返しモード): 繰り返しモードを設定します。

Slideshow Effect(スライドショー効果): 写真のスライドショー効果。

Effect Duration(効果時間): 写真の効果時間。

Software Decode(ソフトウェアデコード): ビデオ再生の間にブラック画面を表示しません。

USB Autoplay(USB自動再生): USB デバイスを接続すると、USB ルートパスからファイルが自動的に再生されます。

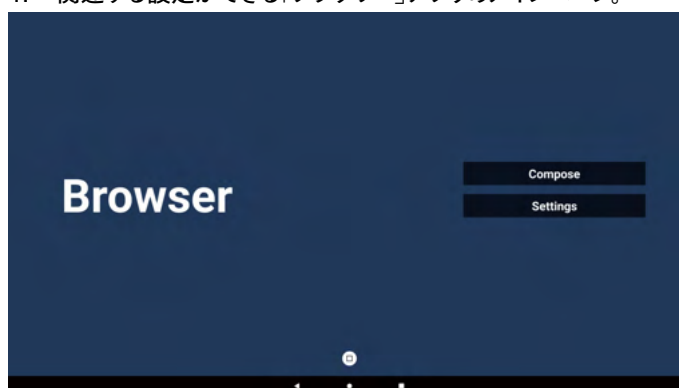


5.7. ブラウザー

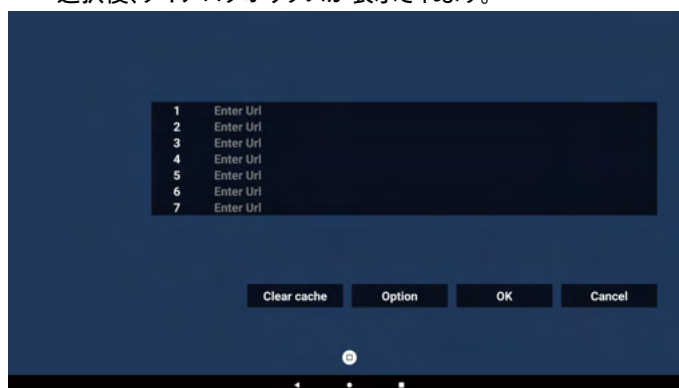
5.7.1. ブラウザー機能について:

この機能を使用する前に、システムがネットワークに正常に接続されていることを確認してください。

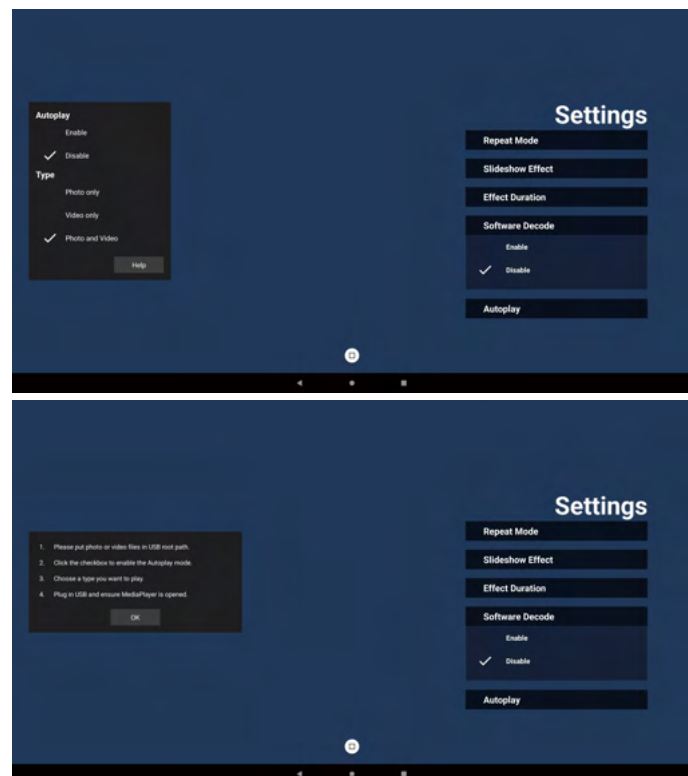
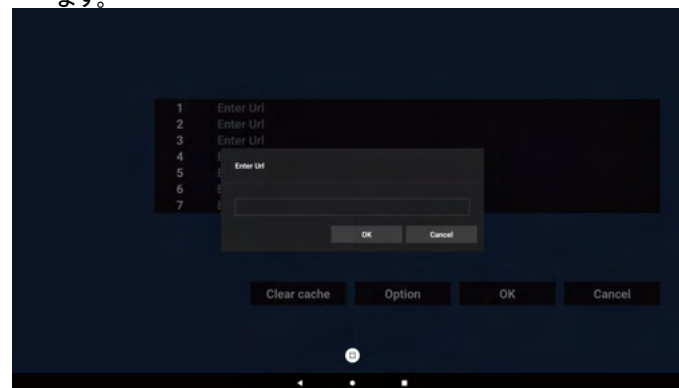
1. 関連する設定ができる「ブラウザー」アプリのメインページ。



2. 「Compose (構成)」を押して、次のページに入ります。ユーザーは、1 ～ 7 を選択することができます。選択後、ダイアログボックスが表示されます。



3. URLを入力し、「OK」ボタンを押すと、データが一覧に保存されます。



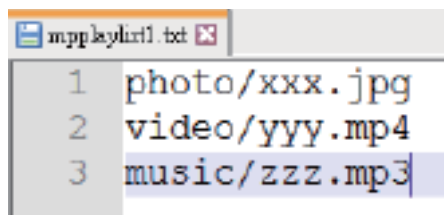
13. メディアプレーヤーによるテキストファイルのインポート

ステップ 1、メディアプレーヤーテキストファイルを作成します。

- ファイル名: mpplaylistX.txt。「X」がプレイリストの番号です(1、2、3、4、5、6、7)。

例: mpplaylist1.txt、mpplaylist2.txt

- 内容:



注記: プレイリストに動画ファイルと音楽ファイルが含まれている場合、音楽ファイルを再生すると画面が真っ暗になります。

ステップ 2、「mpplaylistX.txt」を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、SFTP を利用することができます。

- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips (DL、PL の場合)

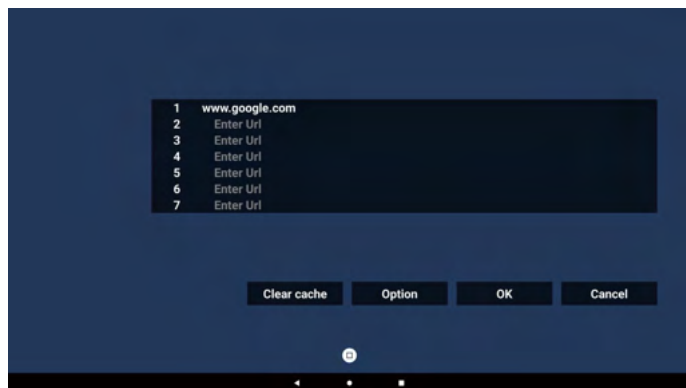
例: /storage/emulated/legacy/philips/mpplaylist1.txt

ステップ 3、「philips」フォルダ内の「photo」、「video」、「music」フォルダにメディアファイルを準備します(内部ストレージのみ)。

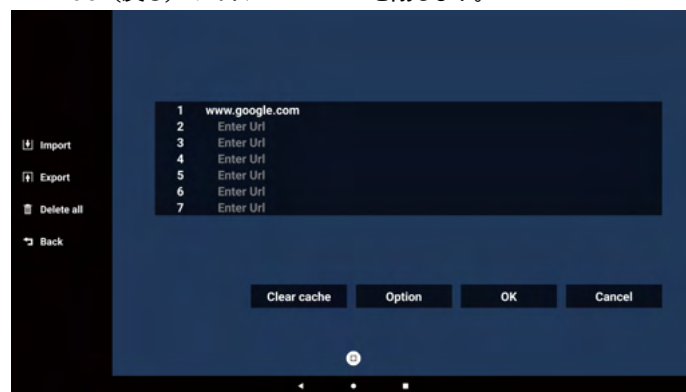
- 例: /storage/emulated/legacy/philips/photo/xxx.jpg
/storage/emulated/legacy/philips/video/yyy.mp4
/storage/emulated/legacy/philips/photo/zzz.mp3

ステップ 4、メディアプレーヤーアプリを開始すると、メディアプレーヤーテキストファイルが自動的にインポートされます。

注記: プレイリストファイル(テキスト)をインポートした後に、リモコンを使ってユーザーがプレイリストを変更した場合、この変更はプレイリストテキストファイルには反映されません。

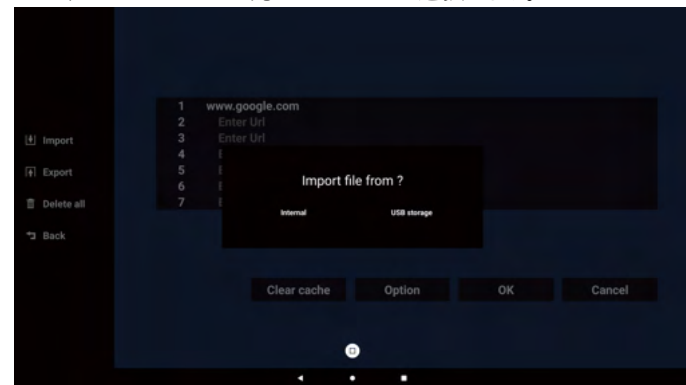


4. 「Option(オプション)」を押すと、左側に一覧が表示されます。
 Import(インポート): URL リストのファイルをインポートします。
 Export(エクスポート): URL リストのファイルをエクスポートします。
 Delete all(すべて削除): メイン画面からすべての URL レコードを削除します。
 Back(戻る): サイドメニューバーを閉じます。

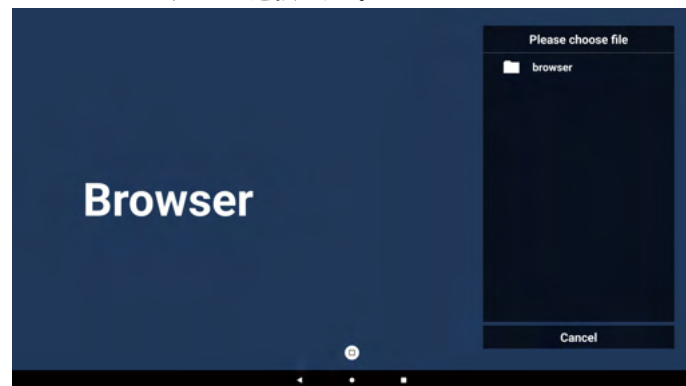


4.1 Import(インポート)

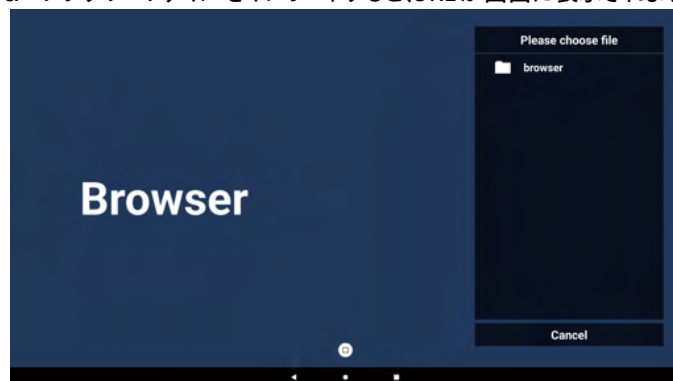
- a. ファイルのインポート元のストレージを選択します。



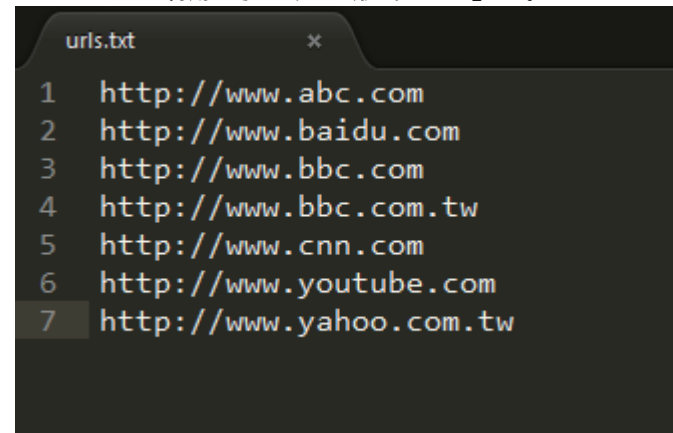
- b. ブラウザーファイルを選択します。



- c. ブラウザーファイルをインポートすると、URL が画面に表示されます。

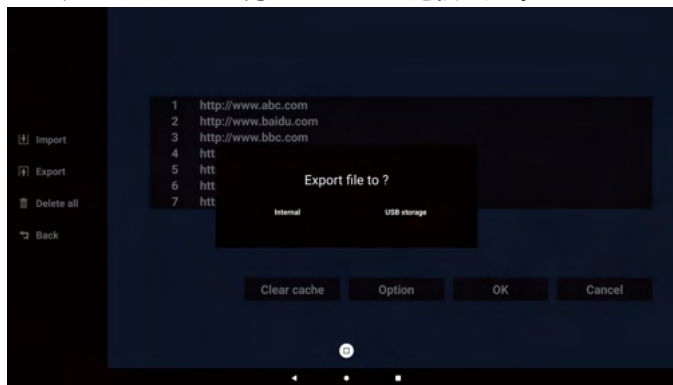


- d. インポートに利用できるファイル形式は「.txt」です。

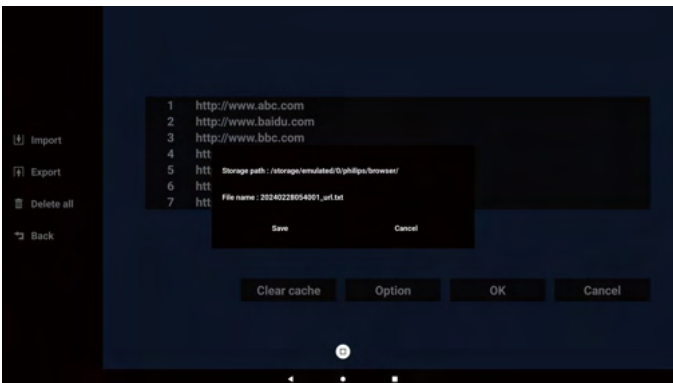


4.2 Export(エクスポート):

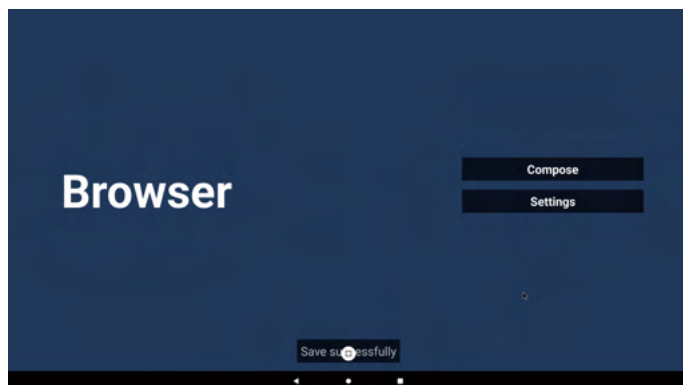
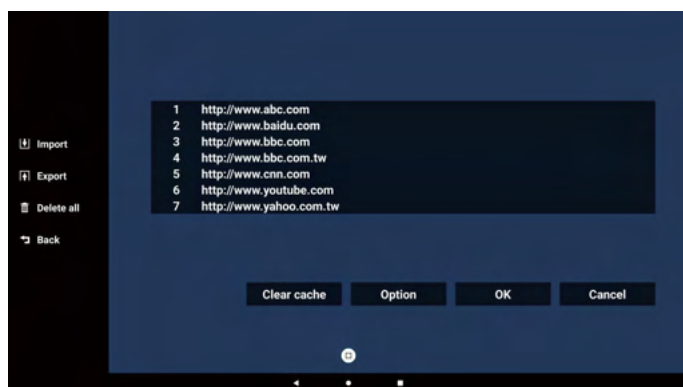
- a. ファイルのインポート先のストレージを選択します。



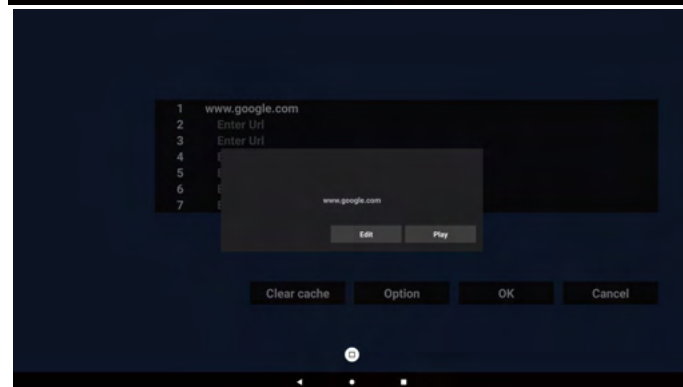
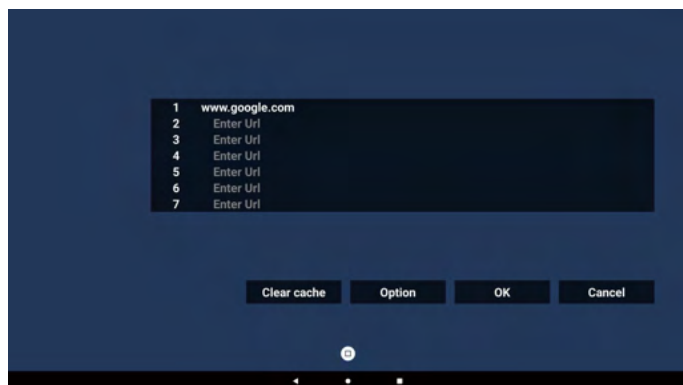
- b. ダイアログボックスに、保存するファイルのパスとファイル名が表示されます。「Save(保存)」ボタンを押して URL を保存します。



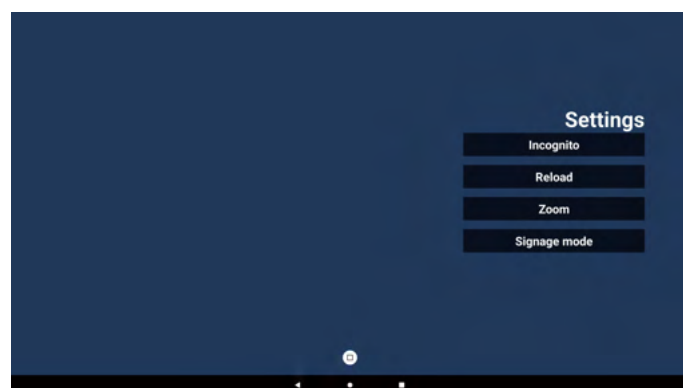
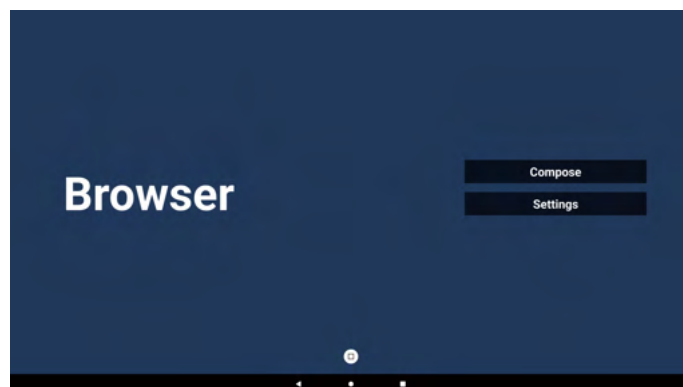
5. 「OK」ボタンを押して URL レコードを保存します。



6. URL 一覧から空でない項目を選択すると、URL を編集するか再生するかを尋ねるメッセージが表示されます。「Edit (編集)」を選択すると、ダイアログボックスで URL を編集できます。「Play (再生)」を選択すると、選択した URL の Web ページが表示されます。

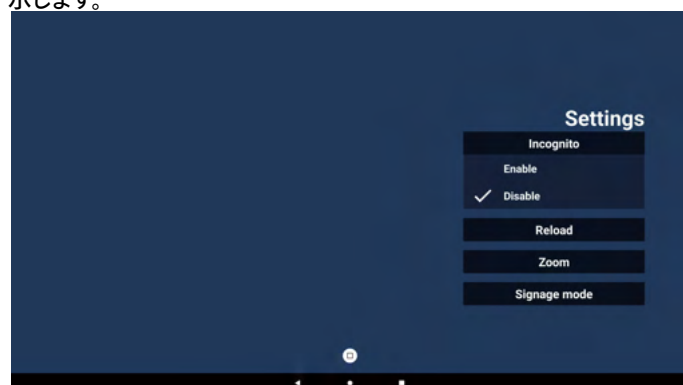


7. 「Settings (設定)」を押して、次のページに入ります。



7.1 Incognito (匿名)

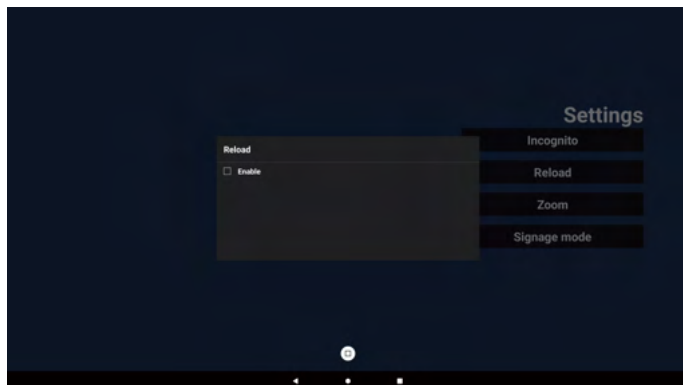
- Enable (有効): Incognito モードを使用してウェブページを表示します。
- Disable (無効): 非 Incognito モードを使用してウェブページを表示します。



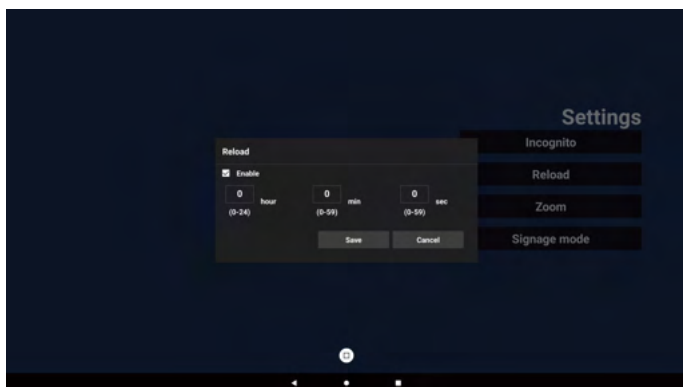
7.2 Reload (リロード)

ユーザーがウェブページのリロード時間を設定できるようにします。

- 「有効」チェックボックスにチェックが入っていない場合、リロードはされません。



- 「有効」チェックボックスにチェックが入っている場合、リロード時間を設定できます。

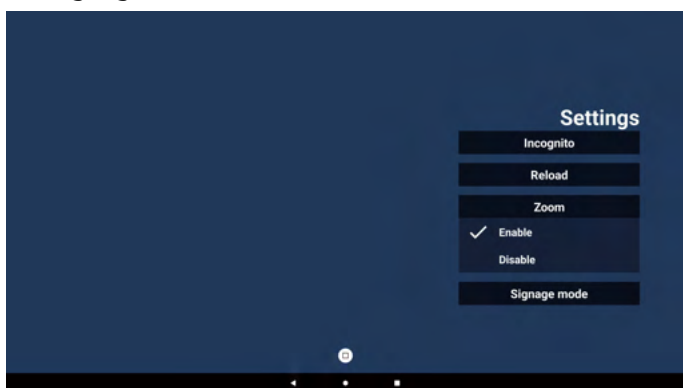


7.3 Zoom(ズーム)

2本の指を使って、Webページの表示を拡大または縮小できます。また、Webページがこのオプションをサポートしている必要があります。オプションはデフォルトで有効になっています。

例えば、

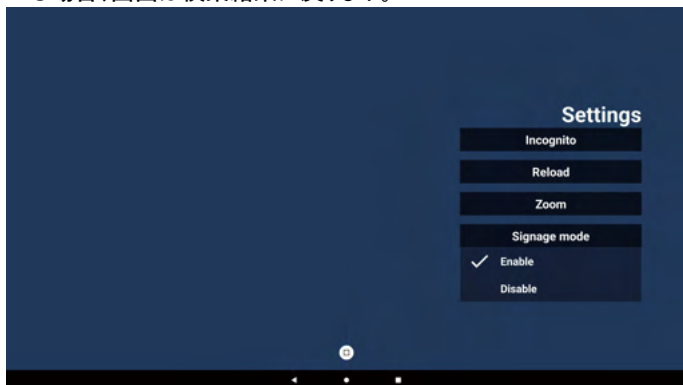
www.google.com のホームページの表示を拡大または縮小します。



7.4 Signage mode(サイネージモード)

ユーザーが別のアプリのアクティビティから戻るとき、ブラウザー構成ページに戻れるようにします。ブラウザー画面を最新のWebページに維持できないようにします。オプションはデフォルトで有効になっています。

www.google.com を開いて、「PDF デモファイル」を検索します。検索結果で1つのPDFファイルをクリックすると、PDFファイルがダウンロードされ、開きます。オプションが有効になっている場合、「Back(戻る)」ボタンを押すと、ブラウザー構成ページに戻ります。無効になっている場合、画面は検索結果に戻ります。



8. ブラウザーでの OSD メニューの操作

8.1 Boot on source(ソース起動)

- 「OSD メニュー」→「Configuration(設定)」→「Boot on source(ソース起動)」→「Input(入力)」に移動し、「BROWSER Play List(ブラウザープレイリスト)」を「0」に設定します。
再起動後の入力ソースが「ブラウザー」になります。

- 「OSD メニュー」→「Configuration(設定)」→「Boot on source(ソース起動)」→「Input(入力)」に移動し、「BROWSER Play List(ブラウザープレイリスト)」を「1」に設定します。

次に、PD はブラウザーアプリの最初の URL を使って Web ページを表示します。

8.2 Schedule(スケジュール)

「OSD メニュー」→「Advanced option(アドバンスドオプションメニュー)」→「Schedule(スケジュール)」に移動し、「On time1(オンタイム1)」、「Off time2(オフタイム2)」、「Browser as input(入力をブラウザー)」、「Any day of the week(任意の曜日)」、「Play List(プレイリスト)」として設定します。

最後に、右側のボックスにチェックを入れます。

次に、PD はブラウザーアプリの URL を使って Web ページを時刻 1 に表示し、時刻 2 に終了します。

9. オフラインブラウジング

URL 1 がアドレスを設定し、OSD スケジュールを使用して URL 1 Web ページを開く場合、ブラウザーアプリは URL 1 のスクリーンショットをローカルストレージに自動的に保存します。スクリーンショットの頻度は 5 秒ごとで、12 回のみ実行されます。

ネットワークが切断されている状態で OSD スケジュールがブラウザーアプリを開くと、ブラウザーアプリはローカルストレージにある URL 1 のスクリーンショットを自動的に開きます。

注記:

- ブラウザーアプリは URL 1 のスクリーンショットのみを保存できます。他の URL 2 ~ URL 7 は保存されません。

- Local storage(ローカルストレージ): /storage/emulated/0/Download

構成ページには「clear cache(キャッシュのクリア)」ボタンが表示されます。このボタンを押すと、ローカルストレージ内の URL 1 アドレスのホームページデータとスクリーンショットを消去できます。

10. テキストファイルのインポート

ステップ 1、メディアプレーヤーのテキストファイルを作成します。

- ファイル名: bookmarklist.txt。
- 内容:



ステップ 2、bookmarklist.txt を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、FTP を利用することができます。

- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips (DL, PL の場合)

例: /storage/emulated/legacy/philips/bookmarklist.txt

ステップ 3、ブラウザーアプリを起動します。ブラウザーのテキストファイルは

自動的にはインポートされません。

注記: プレイリストファイル(テキスト)がインポートされると、リモコンで行った変更はプレイリストテキストファイルに記録されません。

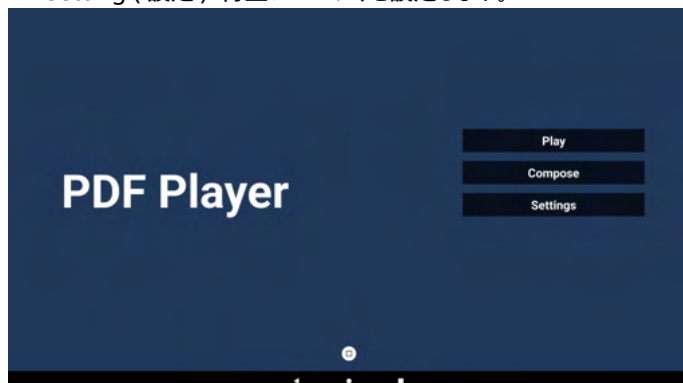
5.8. PDF リーダー

5.8.1. OSD メニューでの PDF リーダーの操作:

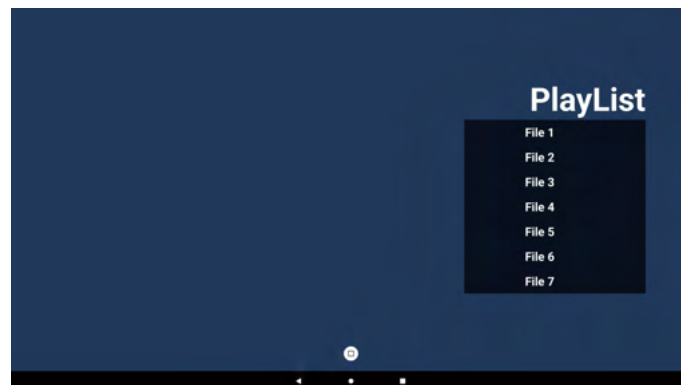
1. Boot on source (ソース起動):
 - 入力:
 - PDF プレーヤーをソースとして選択すると、起動プロセスが完了次第、システムは自動的に PDF プレーヤーを開きます。
 - プレイリスト:
 - PDF プレーヤーのメインページに移動します。
 - プレイリスト 1 ~ 7: PDF リーダーに移動し、プレイリストのファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。
2. スケジュール:
 - Schedule list (スケジュール一覧):
 - 最大 7 つのスケジュールを設定します。
 - Enable (有効):
 - スケジュールを有効 / 無効にします。
 - Start time (開始時間):
 - 開始時間を設定します。
 - End time (終了時間):
 - 終了時間を設定します。
 - プレイリスト:
 - 1 ~ 7 PDF プレーヤーに移動し、プレイリストのファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。
 - Days of the week (曜日):
 - 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日を設定します。
 - Every week (毎週):
 - 毎週のスケジュールを設定します。

5.8.2. PDF リーダーのご紹介:

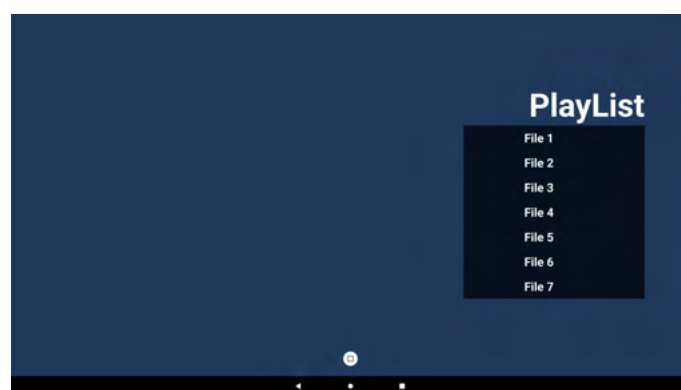
1. PDF プレーヤーアプリのトップページ。このページには「Play(再生)」、「Compose(構成)」、「Settings(設定)」の 3 つの項目があります。
 Play(再生): 再生するプレイリストを選択します。Edit(編集): プレイリストを編集します。
 Setting (設定): 再生プロパティを設定します。



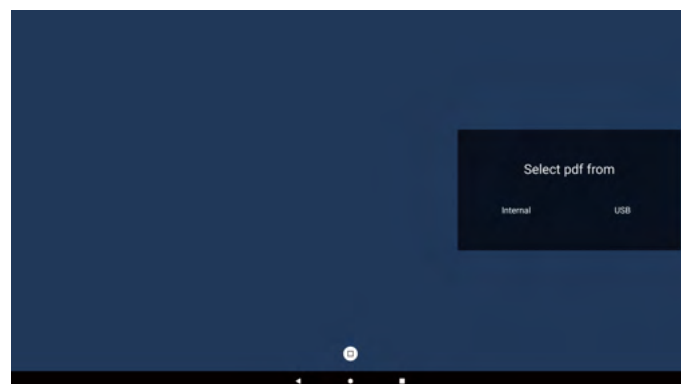
2. ホームページで「Play(再生)」を選択したら、再生するプレイリストを
 ファイル 1 ~ ファイル 7 から選びます。
 鉛筆アイコンは、再生一覧が空ではないことを意味します。



3. ホームページで「Compose(構成)」を選択したら、編集するプレイリストを
 ファイル 1 ~ ファイル 7 から選びます。鉛筆アイコンは、再生一覧が空ではないことを意味します。

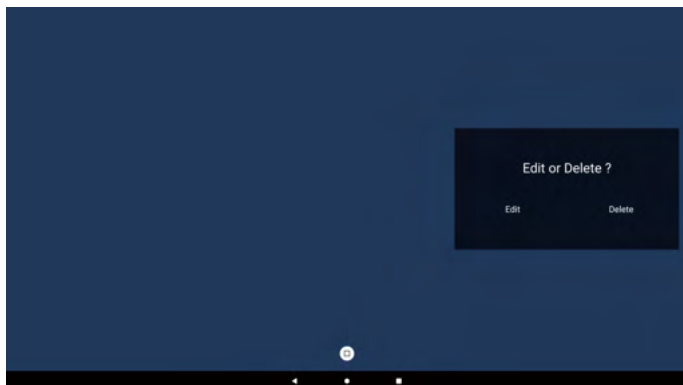


4. 空の再生一覧を選択した場合、アプリは、メディアソースを選択するようにガイドします。
 すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリの /philips/ に配置する必要があります。
 例えば、
 - pdfs in /root/philips/pdf/



注記:

- USB ディスクが見つからない場合、次のメッセージが表示されます。「USB ストレージを差し込んでください。」
 - 内部ストレージが常に利用可能であるので、次のページに移動できます。
5. 空でないプレイリストを編集または削除するには、
 ファイルの右側に鉛筆アイコンがあるプレイリストから選びます。



6. プレイリストを編集し始めると、以下の画面が表示されます。

Source(ソース) - ストレージ内のファイル。

Playlist(プレイリスト) - プレイリスト内のファイル。

Toolbar(ツールバー) - サイドバーを起動します。

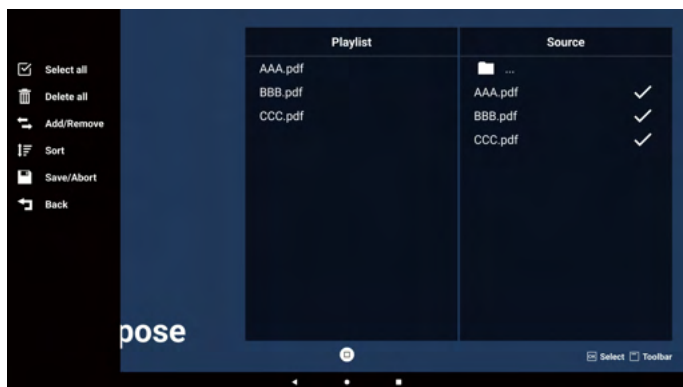
Play(再生)キー - メディアファイルを再生します。

Info(情報)キー - メディア情報を表示します。

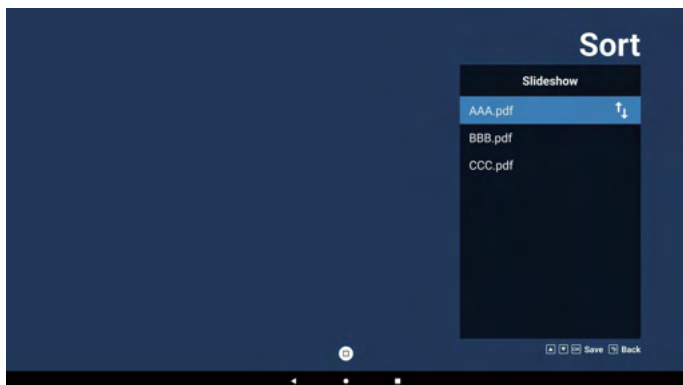
OK キー - ファイルを選択 / 選択解除します。

6-1. サイドメニューバーから、次の機能を使用できます。

- Select all(すべて選択): すべてのストレージファイルを選択します。
- Delete all(すべて削除): すべてのプレイリストファイルを削除します。
- Add/Remove(追加 / 削除): ソースからプレイリストを更新します。
- Sort(並べ替え): プレイリストを並べ替えます。
- Save/Abort(保存 / 中断): プレイリストを保存または中断します。
- Back(戻る): 戻ります。



7. スライドバーで「Sort(並べ替え)」を選択すると、ファイルの順序をひとつずつ変更できます。



8. ホームページで「Settings(設定)」を選択するとこのページには「Repeat Mode(繰り返しモード)」、「Effect Duration(効果時間)」、「View Mode(表示モード)」の3つのオプションがあります。

Repeat Mode(繰り返しモード): 繰り返しモードを設定します。

Effect Duration(効果時間): 写真の効果時間。

View Mode(表示モード): 読み取りまたは全画面モード。



矢印キー

上 / 下 / 左 / 右: ページを調整します。(ページがズームイン / ズームアウトしているとき)

「←」: 前のページに進みます。(ページがズームイン / ズームアウトしていないとき) 右: 次のページに進みます。(ページがズームイン / ズームアウトしていないとき)

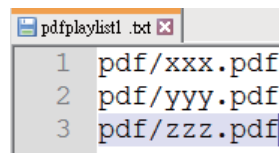
テキストファイルのインポート

ステップ 1、PDF リーダーのテキストファイルを作成します。

- ファイル名: pdfplaylistx.txt。「x」はプレイリストの番号です(1、2、3、4、5、6、7)。

例: pdfplaylist1.txt、pdfplaylist2.txt

- 内容:



ステップ 2、pdfplaylistx.txt を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、FTP を利用することができます。

- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips (DL、PL の場合)

例: /storage/emulated/legacy/philips/pdfplaylist1.txt

ステップ 3、PDF ファイルを「philips」フォルダー内の「pdf」フォルダーに用意します。

これは内部ストレージ専用です。

- 例: /storage/emulated/legacy/philips/pdf/xxx.pdf
/storage/emulated/legacy/philips/pdf/yyy.pdf
/storage/emulated/legacy/philips/pdf/zzz.pdf

ステップ 4、PDF プレーヤーアプリを起動すると、PDF プレーヤーのテキストファイルが自動的にインポートされます。

追記: プレイリストファイル (テキスト) がインポートされると、リモコンで行った変更はプレイリストテキストファイルに記録されません。

注記:

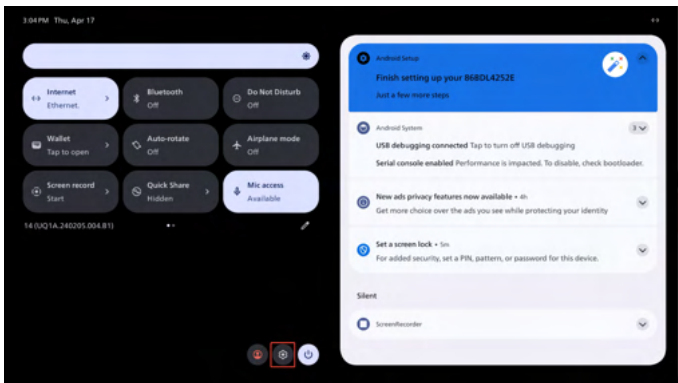
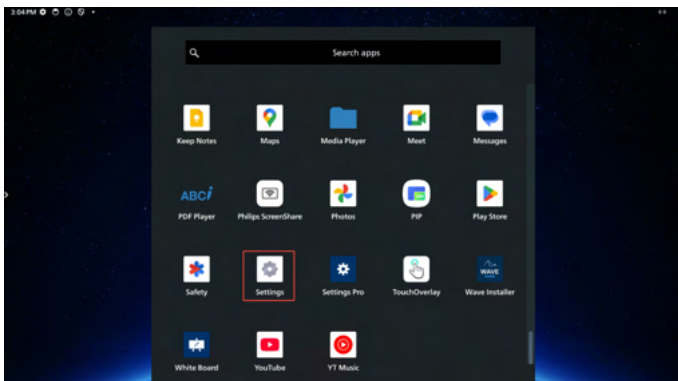
2 つ以上の USB ディスクを接続してプレイリストを編集する場合、USB ストレージバスが変更される可能性があるため、電源のオン / オフ後にプレイリストからの再生は保証されません。プレイリストを編集するときは、USB ディスクを 1 つだけ使用することを強くお勧めします。

5.9. Philips ScreenShare

Philips ScreenShare は、ワイヤレスでの画面共有や共同作業のために設計されたソフトウェアツールです。個別の操作ガイドについては、以下を参照してください。<https://www.philips.co.jp/p-m-pr/signage-solutions>。

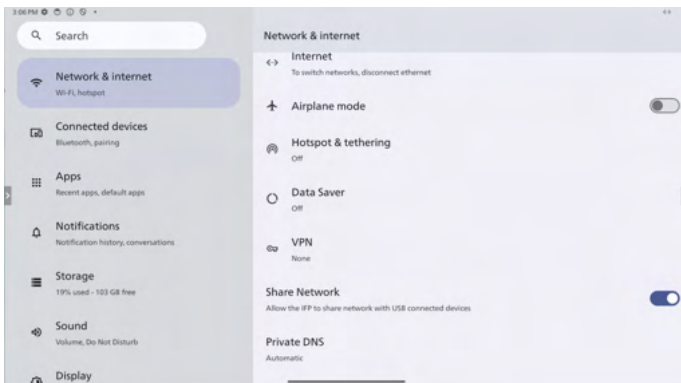
6. Android 設定

アプリドロワーまたはコントロールセンターで「Settings(設定)」をタップすると、Android システム設定が開きます。



6.1. ネットワークとインターネット

すべてのネットワーク設定の確認と管理をネットワークとインターネットでできます。



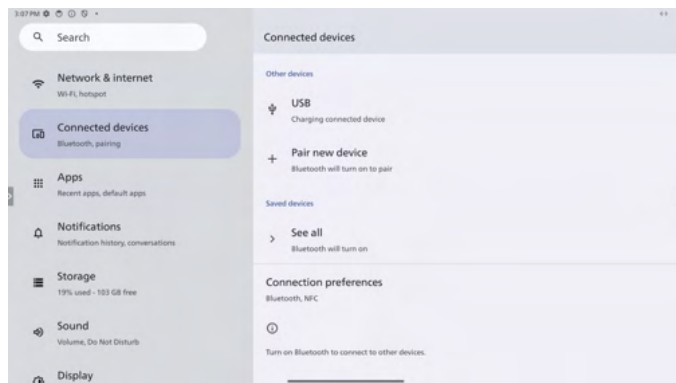
- **Internet(インターネット)**: WLAN 設定を管理します。
- **Ethernet(イーサネット)**: 有線ネットワーク設定を管理します。
- **Airplane mode(機内モード)**: すべてのネットワーク接続を一時的に無効にします。
- **Hotspot & tethering(ホットスポットとテザリング)**: アクセスポイント設定を管理します。
- **Data Saver(データセーバー)**: WLAN またはアクセスポイントを従量課金制で利用している場合、この設定をオンにするとデータ使用量を抑えられます。
- **VPN**: VPN 設定を管理します。

- **Share network(ネットワーク共有)**: IFP がイーサネットに接続されていて、自分の個人用デバイスが HDMI および USB ケーブル経由で IFP と接続している場合、IFP を個人用デバイスのソースに切り替えると、個人用デバイスは IFP と同じイーサネットを使用できます。

- **Private DNS(プライベート DNS)**: プライベート DNS 設定を管理できます。

6.2. 接続デバイス

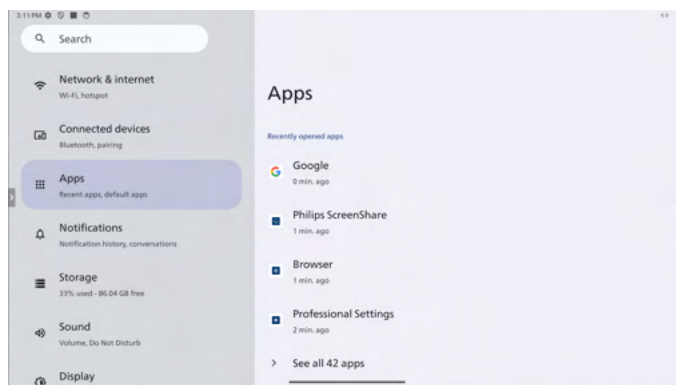
すべてのデバイス接続設定は接続デバイスで確認と管理ができます。



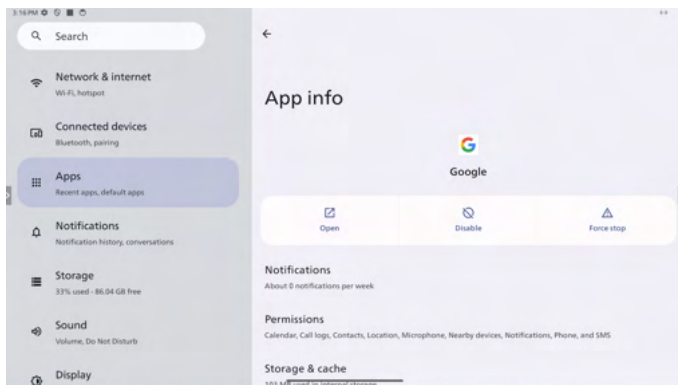
- **USB**: 挿入された USB デバイスをシステムがどのように処理するかを管理します。
- **Pair new device(新しいデバイスをペアリング)**: 新しいデバイスを Bluetooth 経由でペアリングします。ペアリングされたデバイスは、次回自動的に接続されます。
- **Saved devices(保存済みのデバイス)**: ペアリングされたデバイスを確認します。ここからこれらのデバイスに迅速に接続できます。
- **Connection preferences(接続設定)**: その他の接続オプションの確認と管理ができます。

6.3. アプリケーション

すべてのアプリの基本設定の確認と管理をアプリケーションで行うことができます。



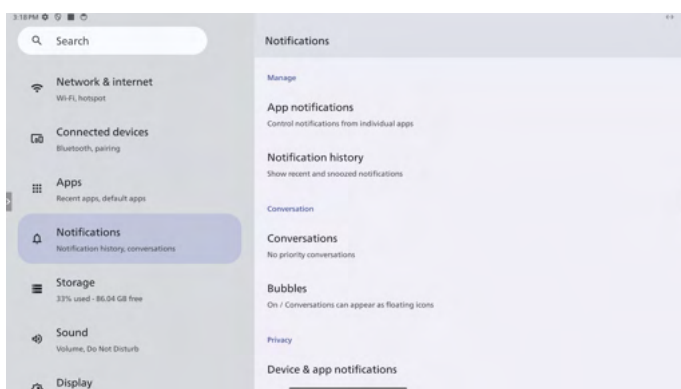
アプリのいずれかをタップすると、詳細オプションが表示されます。アプリごとに、グローバルな制御・管理通知、アクセス許可、ストレージ、その他の設定ができます。



特定のアクティビティに対するデフォルトのアプリを「Default apps(デフォルトのアプリ)」で変更できます。

6.4. 通知

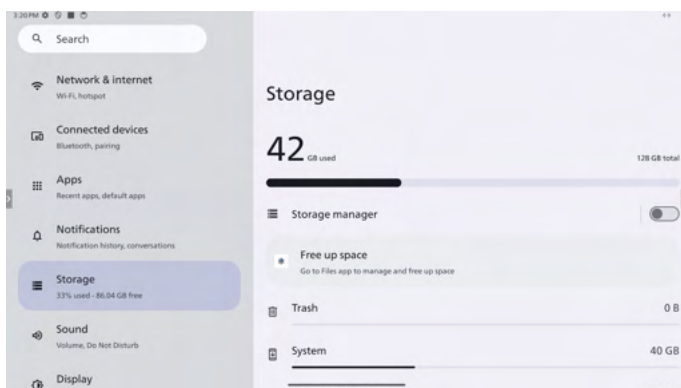
システム通知設定の確認と管理を通知でできます。



アプリごとの通知設定、通知履歴の確認ができます。また、プライバシー、通知停止、アラームなどの詳細設定もできます。

6.5. 保管時

システムストレージの確認と管理を **Storage(ストレージ)** でできます。ストレージマネージャーをオンにすると、システムはメディアファイルを定期的に削除できます。

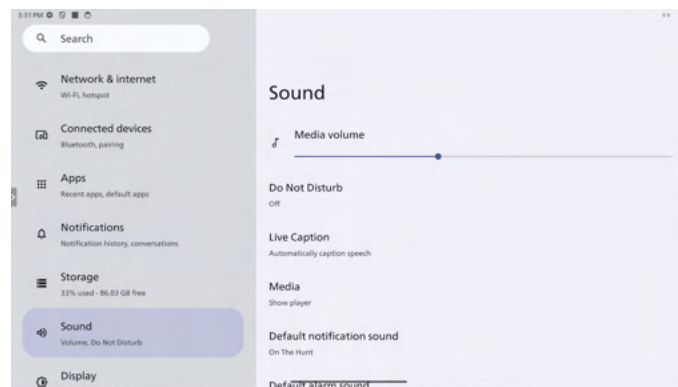


「Free up space(空き領域を増やす)」を使用すると、削除可能なアイテムを検出し、削除するかどうかを決定できます。

各ファイルタイプをタップすると、詳細なストレージ占有量を確認できます。

6.6. 音声

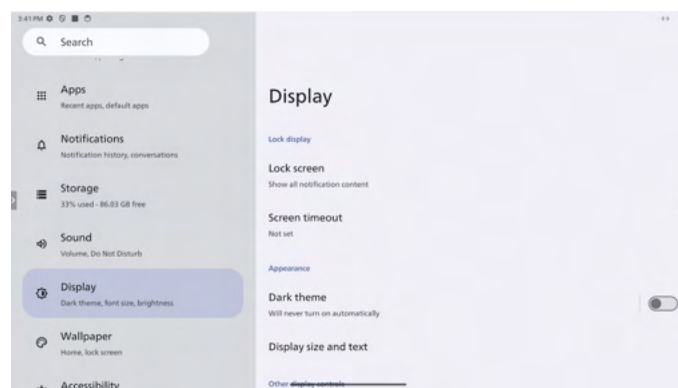
システムの音声設定の確認と管理は **Sound(音声)** でできます。



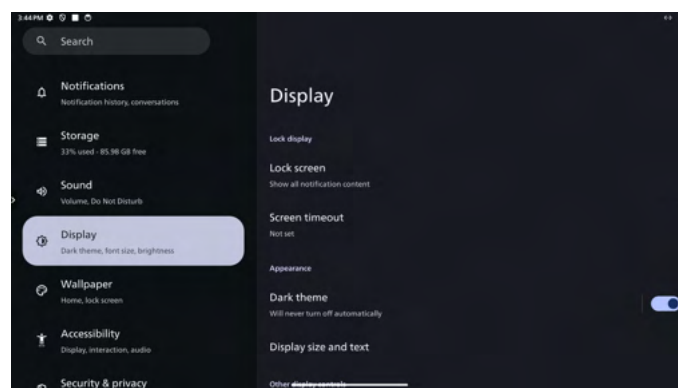
ライブキャプションは Google により導入された実用的な機能です。教師はこれを使用してリアルタイムのキャプションを生成し、高度な授業を進めることができます。

6.7. ディスプレイ

ディスプレイ設定の確認と管理は **ディスプレイ** でできます。

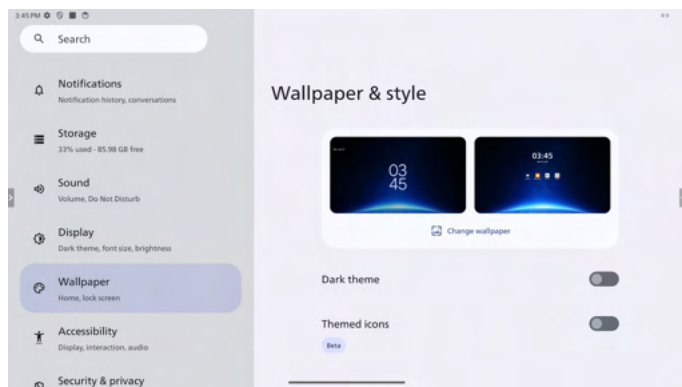


ダークテーマをオンにすると、システム UI はダークモードに変わります。



6.8. 壁紙

優先して使用する壁紙の変更は壁紙でできます。

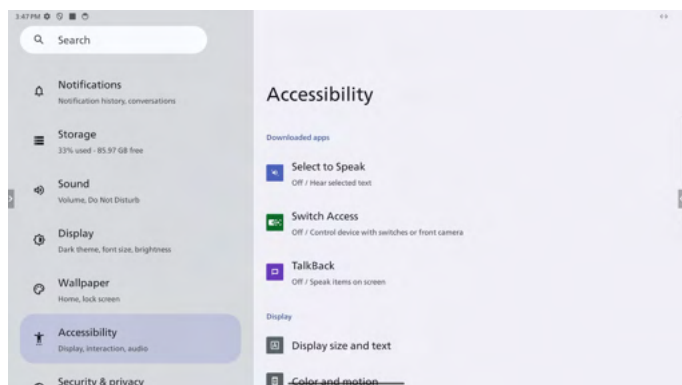


ダークテーマもここから有効にできます。

テーマのアイコンは Google のすべてのアプリアイコンで有効になります。オンにすると、Google アプリは単色テーマに代わります。

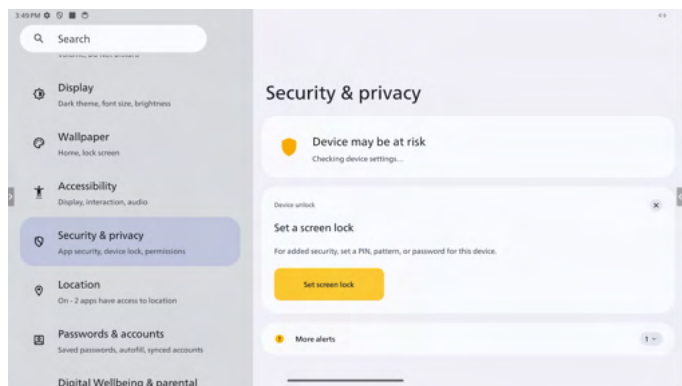
6.9. アクセシビリティ

アクセシビリティ設定の確認と管理はアクセシビリティでできます。インストール済みのアプリにより登録されたアクセシビリティ機能が一番上に表示されます。

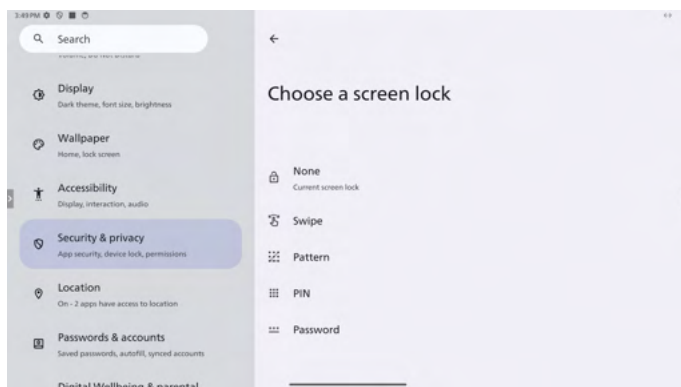


6.10. セキュリティとプライバシー

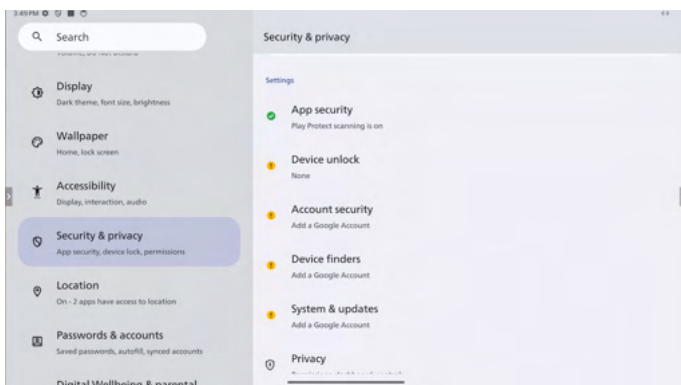
システムのセキュリティ設定の確認と管理は Security(セキュリティ)でできます。「Security Status(セキュリティステータス)」には、Google が提供するすべてのセキュリティオプションがあります。



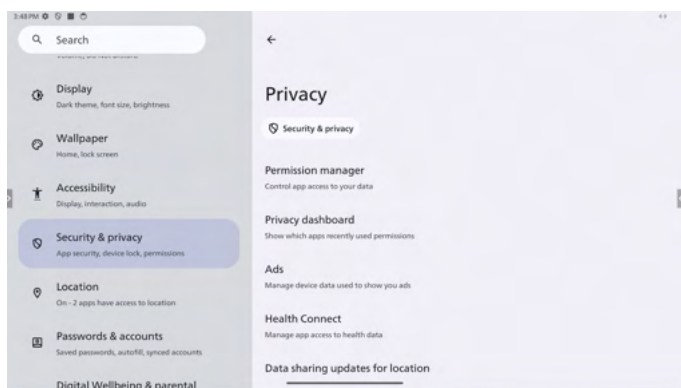
さまざまな種類の画面ロックを設定できます。



「More security settings(その他のセキュリティ設定)」ではスマートロック、システム認証情報、その他の高度なセキュリティ設定を管理できます。

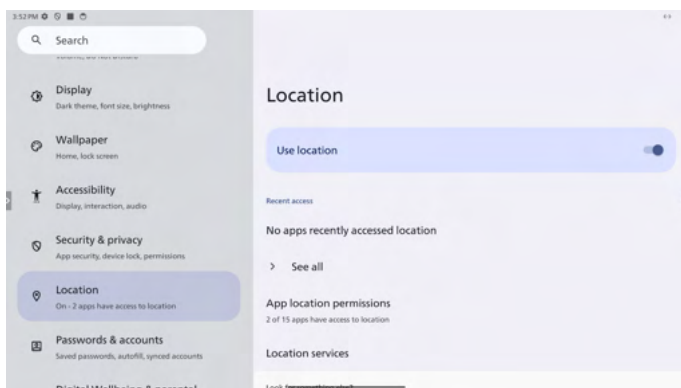


「Privacy(プライバシー)」タブには、アプリの権限使用ダッシュボードや、その他のシステムプライバシー設定があります。「Privacy dashboard(プライバシーダッシュボード)」には、アプリによるシステムプライバシー権限の使用の詳細情報が表示されます。

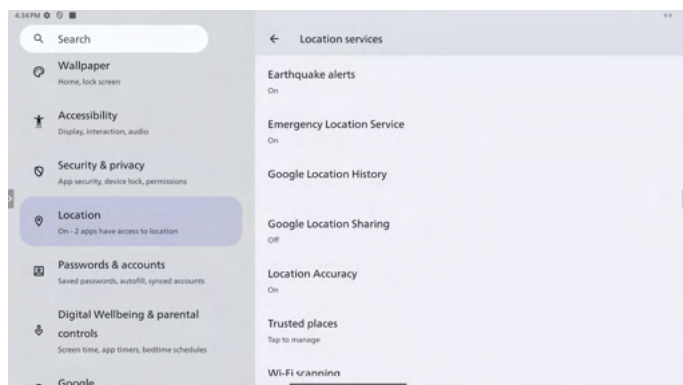


6.11. ロケーション

ロケーションの権限の管理とロケーションの使用状況の確認は Location(場所)でできます。



また、高度な位置サービス設定の変更もできます。



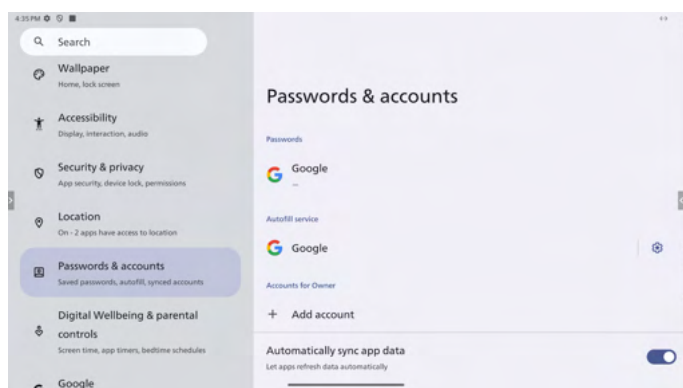
管理者設定を管理するには、まず管理者パスワードの設定が必要です。

6.12. パスワードとアカウント

システムに保存されているすべてのパスワード、自動入力サービス、ログイン済みアカウントの管理は**パスワードとアカウント**でできます。

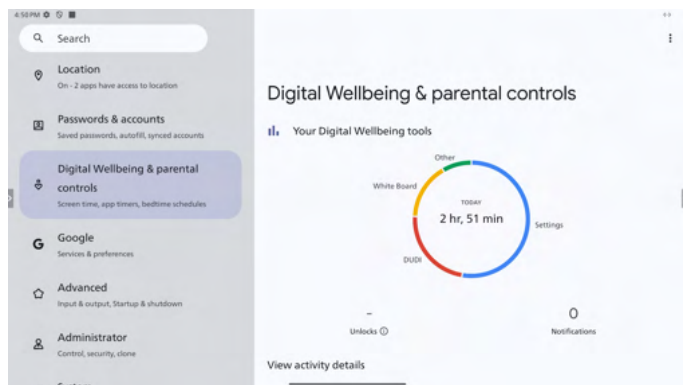
「Add account(アカウントを追加)」をタップすると、システムに登録されていて使用可能なアカウントを確認してログインできます。

Google アカウントについては、アカウントページを開いて「Remove account(アカウントを削除)」をタップするとログアウトします。



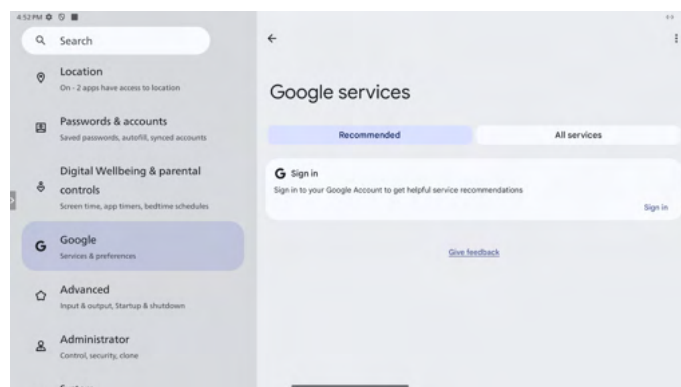
6.13. Digital Wellbeing とペアレンタルコントロール

アプリの使用時間の確認や、アプリのタイマー、就寝スケジュール、その他の Digital Wellbeing の設定は **Digital Wellbeing とペアレンタルコントロール**でできます。



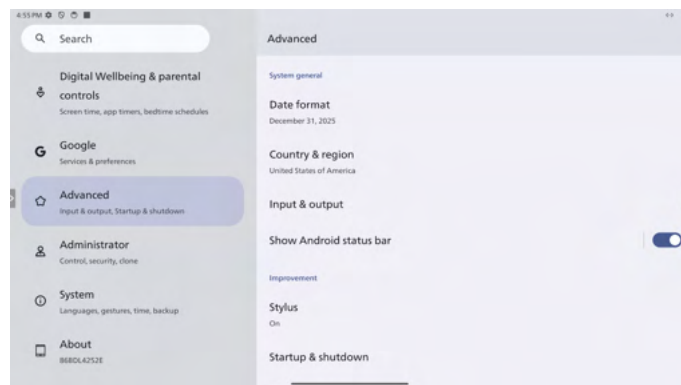
6.14. Google

現在ログインしている Google アカウントの個人設定を管理できます。これらの設定は、同じ Google アカウントにログインしているデバイス間で同期されます。



6.15. 詳細設定

全体的な設定の管理は **Advanced(詳細設定)**でできます。



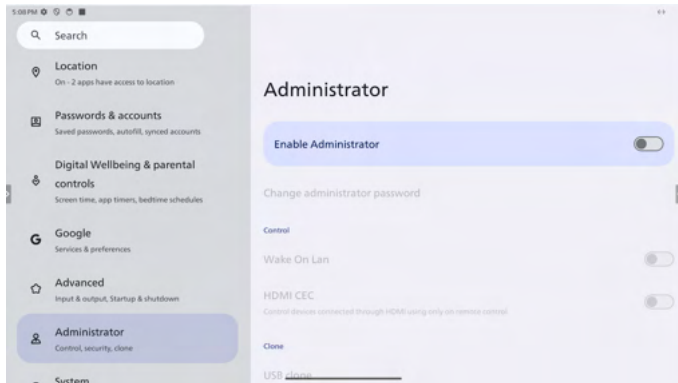
- **Date format(日付形式)**: システムで表示する日付形式を変更します。
- **Country & region(国と地域)**: 実際の所在地に基づいて国と地域を変更します。この設定は、コンプライアンス上の理由から Wi-Fi ネットワークチャンネルに影響します。
- **Input & output(入出力)**: 音声出力チャンネル、入力ソースエイリアス、出力信号形式を管理します。
- **Show Android status bar(Android ステータスバーを表示)**: 必要に応じて Android システムバーを表示するかどうかを変更します。Android ステータスバーを非表示にすると、コントロール・通知センターの起動ができなくなります。
- **Startup & shutdown(スタートアップとシャットダウン)**: システムのスタートアップとシャットダウンの動作を管理し、スタートアップとシャットダウンのタスクを設定し、省エネルギー戦略を管理します。
- **ディスプレイ**: 目の保護、自動バックライト、ピクセルシフトの設定を変更できます。目の保護とピクセルシフトの設定は、サイドバーのメニューと同期されます。
- **Gesture(ジェスチャー)**: 簡単にシステムを制御するためのオプションを有効にします。
- **Five fingers control(5 本指コントロール)**: 5 本指ジェスチャーによるシステム動作を設定します。
- **メール**: メールサービスを登録します。メモ、ファインダー、その他の Bytello アプリでメール共有ができます。

- **User experience plan(ユーザーエクスペリエンスプラン)**:この設定をオンにすると、システムはユーザー動作データを収集して、Bytello が提供するユーザーエクスペリエンスの向上に役立てます。すべてのデータは暗号化され、また機密情報が除外されているため、ユーザー情報の収集やアップロードは行われません。

6.16. 管理者

Bytello 独自の OS 管理者設定はすべて管理者にあります。

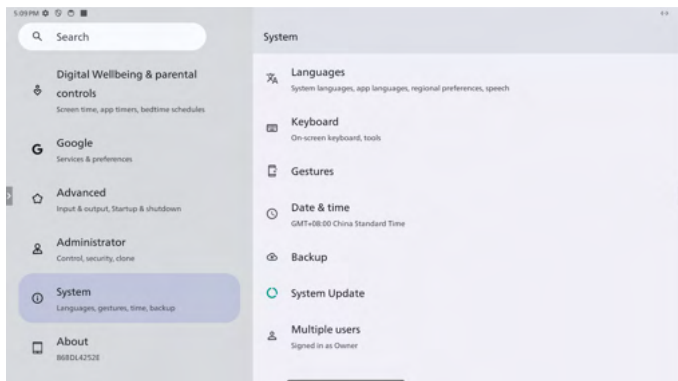
管理者設定を管理するには、まず管理者パスワードの設定が必要です。



- **Wake on LAN(ウェイクオン LAN)**:オンにすると、LAN コマンドで IFP の電源をオンにできるようになります。
- **HDMI CEC**:オンにすると、HDMI 経由で IFP に接続しているデバイスは cEC コマンドで全体をコントロールできます。
- **USB clone(USB クローン)**:エクスポートとインポートにより、IFP 間でシステム設定を複製します。
- **Auto remove files(ファイルの自動削除)**:スケジュール設定によりファイルを自動削除してストレージ領域を節約します。期間とファイルの種類を選択できます。
- **Security lock(セキュリティロック)**:ロック、ネットワークロック、USB ロックの設定を有効にできます。また、不明なソースをここから無効にすることもできます。これによりシステムセキュリティが向上します。

6.17. システム

システムの全般設定はシステムでできます。

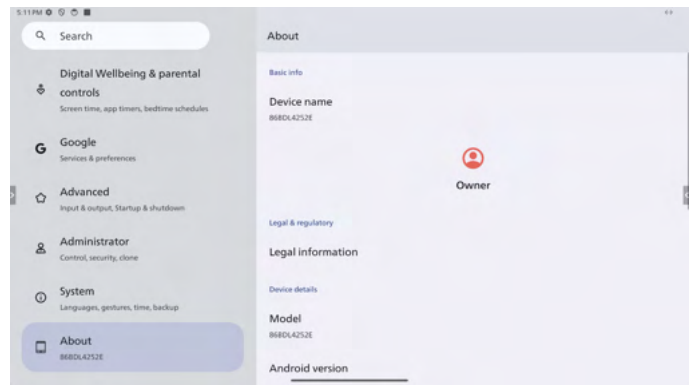


- **Languages & input(言語と入力)**:システムの言語と入力方法およびキーボード設定の確認と管理ができます。
- **Gestures(ジェスチャー)**:システムナビゲーションと、電源ボタンを長押ししたときのシステムの動作を管理します。

- **Date & time(日付 / 時刻)**:システムの日付 / 時刻設定を管理します。
- **Backup(バックアップ)**Google アカウントにログインしている場合、Google のバックアップサービスを利用できます。
- **System update(システムアップデート)**:システムとバッチの更新ステータスの確認と管理ができます。
- **Multiple users(複数ユーザー)**:IFP のローカルユーザーの確認と管理ができます。新しいユーザーを追加すると新しいユーザー領域とすべてのシステムデータが作成されます。
- **Reset options(オプションのリセット)**:解決できないシステムエラーが発生した場合、システムをリセットするための複数のオプションを試すことができます。

6.18. 製品について

デバイス情報の確認やデバイス名の変更は **About(製品について)**でできます。



- **Device name(デバイス名)**:デバイス名の確認と管理ができます。この設定は Bluetooth や Wi-Fi Direct のデバイス名に影響します。
- **Legal information(法的情報)**:システムの法的情報と Google の法的情報を確認できます。
- **Device details(デバイスの詳細)**:現在のデバイスの詳細情報を確認できます。この情報はユーザーによる変更はできません。
- **Device identifiers(デバイス ID)**現在のデバイスのハードウェア情報を確認できます。この情報はデバイスを一意に識別するために使用できます。

7. プロフェッショナル設定

プロフェッショナル設定構造の概要を以下に示します。この全体図は、ディスプレイをさらに調整する場合の参照として使用できます。

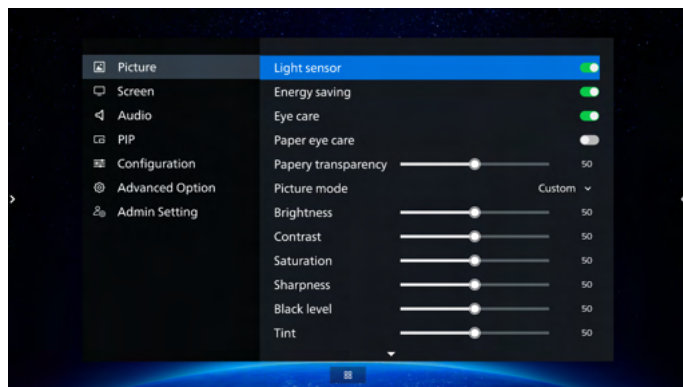
7.1. メニューのナビゲート

7.1.1. ディスプレイのコントロールボタンを使用して、OSD メニューをナビゲートする

サイドバーで [] を選択します。コントロールボタンを押すと、調整するアイテムを選択できます。

7.2. OSD メニューの概要

7.2.1. 映像設定メニュー



ライトセンサー

光センサー機能のオンまたはオフを選択します。

Energy saving(省エネルギー)

省エネルギー機能をオンまたはオフに設定します。

オンに設定した場合、周辺光が 10 ルクスより暗くなると、1 分後に画面がオフになります。

Eye care(アイケア)

アイケア機能をオンまたはオフに設定します。

オンに設定した場合、画面のブルーライトをカットして、目を保護します。

Paper eye care(ペーパーアイケア)

ペーパーアイケア機能をオンまたはオフに設定します。

オンに設定した場合、画面には紙のテクスチャが表示され、紙の視覚効果を再現します。

Papery transparency(ペーパー透過度)

紙のテクスチャの透過度を調整します。

注記: この機能はペーパーアイケアがオンの場合のみ有効です。

Picture mode(映像モード)

映像モードを選択します。{Standard}(標準) / {Bright}(ブライト) / {Soft}(ソフト) / {custom}(カスタム) から選択します。

モードを選択したら、手動で PQ 設定を調整できます。

注記: ビデオソース限定です。

ハイライトモード

ハイライトモードをオンまたはオフに設定します。

オンに設定すると、画面のブライトネスが最大になります。

ブライトネス

本ディスプレイのバックライトの明るさを調整します。

コントラスト

入力信号に対する画像のコントラスト比を調整します。

注記: 動画ソースのみ。

シャープネス

この機能により、常に鮮明な画像をデジタルで保持することができます。

画像モードごとに画像のシャープネスを調整します。注記: 動画ソースのみ。

ブラックレベル

背景用の画像の輝度を調整します。

注記: 動画ソースのみ。sRGB 画像モードは標準であり、変更できません。

色あい

画像の色合いを調整します。

注記: ビデオモードのみ。

色(彩度)

画像の色のこさを調整します。

注記: 動画ソースのみ。

ガンマ選択

ディスプレイガンマを選択します。信号入力の輝度性能曲線を指します。

{Native}(ネイティブ) / {2.2} / {2.4} / {s-gamma} / {D-image} から選択します。注記: 動画ソースのみ。sRGB 画像モードは標準であり、変更できません。

色温度

色温度を調整します。

色温度を下げるとイメージが赤っぽくなり、

色温度を上げるとイメージが青っぽくなります。

注記: 動画ソースのみ。

カラーコントロール

カラーバーを使用して赤、緑、青のカラーレベルを調整できます。

R: 赤ゲイン、G: 緑ゲイン、B: 青ゲイン。

色温度がユーザー 1 モードの場合、R/B/G ゲインの調整範囲は 0 ~ 255 です。

色温度がユーザー 2 モードの場合、色温度の調整範囲は 3000k ~ 10000k です。

HDMI Range(HDMI 範囲)

入力 RGB 信号の表示範囲を設定します。

- {Auto}(自動) - 入力信号に応じて表示範囲を自動調整します。
- {Limited}(限定) - RGB 信号の範囲を 16 ~ 235 に限定します。
- {Full}(フル) - RGB 信号の範囲は 0 ~ 255 です。

ピクセルシフト

ディスプレイがイメージのサイズをわずかに拡大してピクセル位置を 4 方向(上下左右)にシフトするまでの時間間隔を選択します。{Off}(オフ) / {Auto}(自動) / {Custom}(カスタム)。デフォルト: オフ。

Pixel offset time(ピクセルオフセット時間)

ピクセルシフトの周期を設定します。

注記: ピクセルシフトは「Custom(カスタム)」の場合に有効です。それ以外の設定ではグレー表示されます。

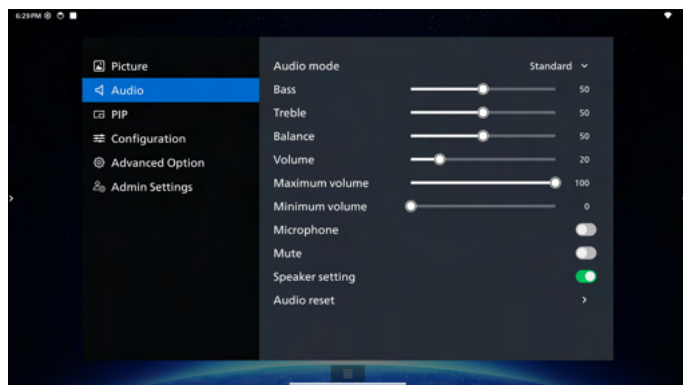
Dynamic contrast(ダイナミックコントラスト、DCR)

ダイナミックコントラスト (DCR) をオンまたはオフに設定します。オンに設定すると、表示されている内容の明暗の変化に応じて画面のブライトネスとコントラストが自動調整されます。

映像リセット

映像設定メニューですべての設定をリセットします。
 「リセット」を選択すると、工場出荷時のプリセットデータが復元されます。
 「キャンセル」ボタンを押してキャンセルし、前のメニューに戻ります。

7.2.2. 音質設定メニュー



音質モード

映像モードを選択します。{Standard}(標準) / {Meeting}(会議) / {Class}(クラス) / {Custom}(カスタム) から選択します。
 モードを選択したら、手動で AQ 設定を調整できます。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

音量を調整します。

最大音量

最大音量設定に独自の制限を付けて調整します。これにより、音量が大きく再生されすぎるのを停止します。

最小音量

最大音量設定に独自の制限を付けて調整します。再生時の音量が大きくなりすぎないように制限されます。

Microphone(マイク)

内蔵マイクの {On}(オン) / {Off}(オフ) を切り替えます。

消音

消音機能のオン／オフを切り替えます。

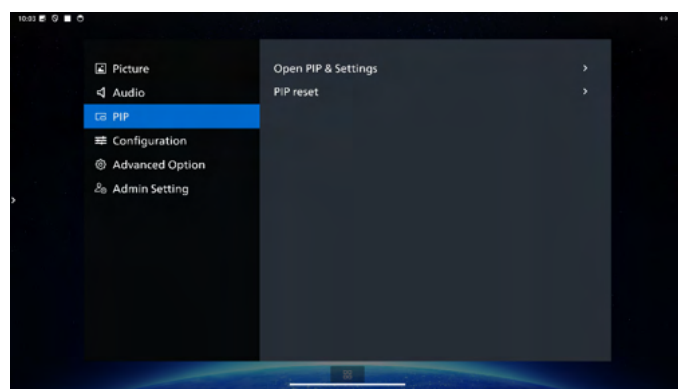
スピーカー設定

内蔵スピーカーを { オン } / { オフ } にします。

音質リセット

音質設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

7.2.3. 子画面設定



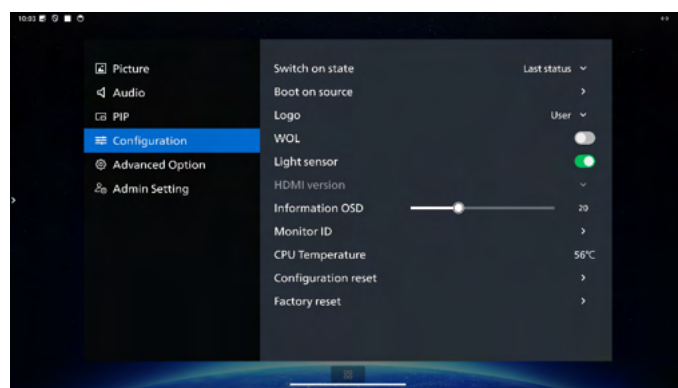
Open PIP & Settings(PIP と設定を開く)

PIP アプリを開きます。

子画面リセット

PIP の設定値をデフォルトに戻します。

7.2.4. 設定1メニュー



スイッチオン状態

次回電源コードを接続するときのディスプレイの状態を選択します。

- { 電源オフ } - 電源コードが接続されても、ディスプレイはオフのままです。
- { 強制オン } - 電源コードが接続されると、ディスプレイはオンになります。
- { 最後のステータス } - 電源コードが接続されると、ディスプレイは前の電源ステータス(オン / オフ / スタンバイモード)に戻ります。

ソース起動

起動した時のソースを選択します。

- { 入力 } - 起動時に入力ソースを選択します。
- { 再生一覧 } - メディアプレーヤー、ブラウザーに対する再生一覧のインデックスを選択します。0 は、再生一覧がないことを示します。

ロゴ

ディスプレイをオンにしたときにロゴの画像を有効または無効にすることを選択します。

- { オフ } - 静かな Philips ロゴと Android ブートアニメーションの両方が表示されません。
- { オン } - デフォルト値。Philips ロゴと Android ブートの両方が表示されます。

- { ユーザー } – 静的な Philips ロゴは表示されません。Android の設定では、ユーザーが選択した起動アニメーションのみが表示されます。

注記: 回転設定がオンでもロゴは回転しません。

WOL(ウェイクオン LAN)

- ネットワークメッセージによってディスプレイをオンにできるようにします。

注記: この機能は、電源モード 1 とモード 2 でのみ機能します。

アップグレード後は、WOL はデフォルトでオフになります。有効にするには、モード 1/2 WOL を手動で再度選択する必要があります。

HDMI バージョン

HDMI バージョンを 1.2、1.4 または 2.0 に設定します。

インフォメーション OSD

インフォメーション OSD が画面の左上に表示される時間を設定します。インフォメーション OSD は、入力ソースと信号が変更されると表示されます。

選択肢は { オフ、1-60 } 秒です。

モニター ID

RS232C 接続経由で本製品を制御するための ID 番号を設定します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てることが必要です。モニター ID の番号範囲は 1 ~ 255 の間です。オプションは次の通りです。

{ モニターグループ }

- { モニターグループ }

オプションは次の通りです: {0-254}。デフォルト設定は 0 です。

注記: 0 はオフを表します。

CPU Temperature(CPU 温度)

現在の CPU 温度。

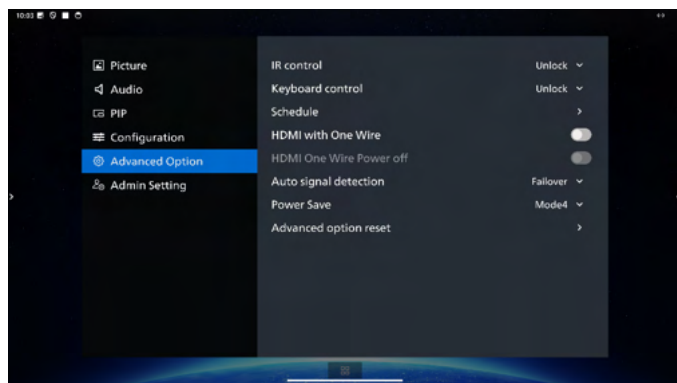
設定リセット

詳細設定 1 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

オールリセット

映像設定、画面設定、音質設定のカスタマイズ設定がすべて工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。

7.2.5. アドバンスドオプションメニュー



リモコンモード

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- {Primary}(プライマリ) - このディスプレイを、リモコン操作の 1 次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。
- {Secondary}(セカンダリ) - このディスプレイを 2 次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンで操作できず、コントロール信号のみを受信します。
- {Lock All}(すべてロック) / {Lock all but Volume}(音量以外すべてロック) / {Lock all but Power}(電源以外すべてロック) / {Lock all except PWR & VOL}(電源と音量以外を全ロック) - このディスプレイのリモコン機能をロックします。

ロック解除するには、リモコンの [] INFO ボタンを 5 秒間長押しします。

キーボード制御

このボタンを選択すると、キーボード (コントロールボタン) 機能が有効または無効になります。

- { ロック解除 } - キーボード機能を有効にします。
- {Lock All}(すべてロック) / {Lock all but Volume}(音量以外すべてロック) / {Lock all but Power}(電源以外すべてロック) / {Lock all except PWR & VOL}(電源と音量以外を全ロック) - キーボード機能を無効にします。

スケジュール

ディスプレイアクティビティの間隔スケジュールとして最大 7 件設定できます。

- { スケジュール一覧 } - 編集するスケジュールを 1 ~ 7 件選択します。
- { 有効 } - 選択したスケジュールを有効 / 無効にします。時間が他のスケジュールまたは開始 / 終了時間と競合する場合、入力ソースは空になり、ユーザーはこのスケジュールを有効にできません。
- { オン時間 } - 開始時間を設定します。
- { オフ時間 } - 終了時間を設定します。
- { 入力 } - 入力ソースを設定すると、システムは開始時に選択したソースに自動的に移動します。
- { プレイリスト } - PDF プレーヤーとブラウザーソースのプレイリスト 1 ~ 7 を設定します。
- { 曜日 } - 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日に設定します。
- { 毎週 } - ライフサイクルを設定します。
- { ブライツネス } - ブライツネスを設定します。
- { 全部消去 } - 現在のページのデフォルトのデータを消去します(保存はされません)。
- { キャンセル } - キャンセルします。スケジュールデータは変更されません。
- { 保存 } - スケジュールデータを保存します。

HDMI with One Wire

HDMI CEC を有効または無効にします。

HDMI One Wire Power off(単線 HDMI 電源オフ)

ユーザーが電源ボタンを押すことで、複数のデバイスをスタンバイモードに設定できるようにします。この機能は、HDMI CEC が有効になっている場合にのみ使用できます。

オートサーチ

オプション:

- { オフ } : 自動信号検出を無効化します
- { すべて } : HDMI1 → HDMI2 → HDMI3* → DP* → VGA* → TYPE-C* → OPS → メディアプレーヤー → ブラウザー → PDF プレーヤー → 画面共有 → カスタム → ホーム

* すべてのモジュールにこの一覧のすべてのソースが含まれているわけではありません。DVI は DVI-I または DVI-D です。

* メディアプレーヤー、ブラウザーはプレイリストのインデックス 1 のみを試行します

{ フェールオーバー }:

フェールオーバー 1: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 2: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 3: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 4: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 5: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 6: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 7: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 8: ホーム(デフォルト)

フェールオーバー 9: ホーム(デフォルト)*

フェールオーバー 10: ホーム(デフォルト)*

フェールオーバー 11: ホーム(デフォルト)*

パワーセーブ

モード 1: [TCP オフ、WOL オン、自動オフ]

モード 2: [TCP オフ、WOL オン、自動オン / オフ]

モード 3: [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフ]

モード 4: [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフなし]

* WOL のステータスは詳細設定の WOL スイッチによって決まります。

注記:

TCP: LAN-RS232 機能をサポートします。WOL: ウェイクオン LAN 機能をサポートします。

Auto off(自動オフ): 20 秒間信号がなかった場合、自動的に DC オフになります。

Auto on/off(自動オン / オフ): 20 秒間信号がなかった場合、PD は自動的に DC オフ状態になります。信号が復帰すると、PD の電源が投入されます。

No auto on/off(自動オン / オフなし): PD は自動的に DC オフ状態にならず、自動電源投入もされません。

Advanced option reset

Advanced option メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

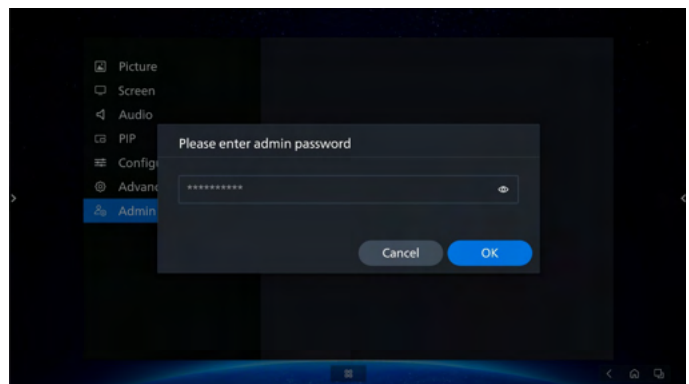
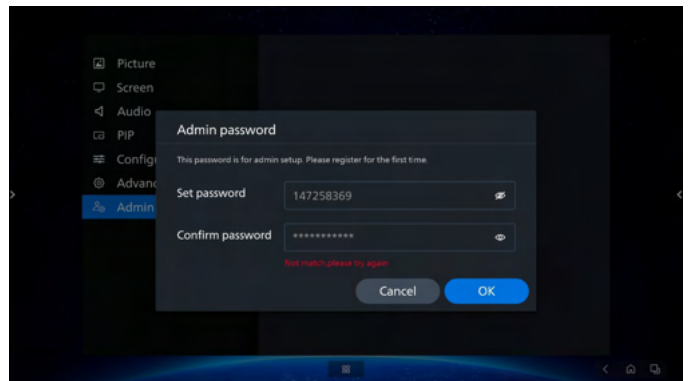
7.3. 管理者設定

管理者設定を開く

管理者パスワードが「プロフェッショナル設定」→

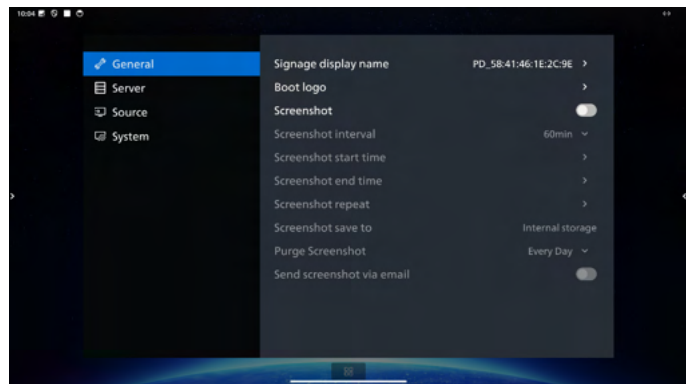
「管理者設定」で有効になっている場合、管理者設定を開く前にパスワードの入力が必要です。

注記: OOBЕ でスキップまたは無効にした場合、管理者設定を最初に開くときにパスワードの設定が必要です。パスワードが設定済みの場合、そのパスワードを入力すると管理者モードになります。



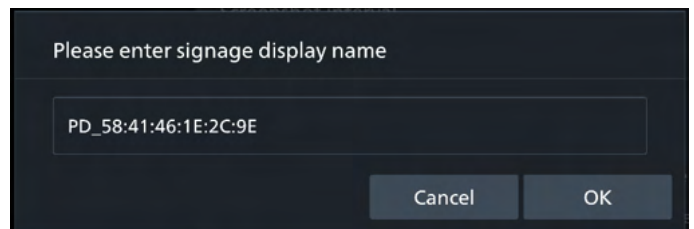
7.3.1. General Settings (一般設定)

サイネージディスプレイの大部分の機能の設定については、以下でサイネージディスプレイ設定の詳細を参照してください。



Signage Display Name(サイネージディスプレイ名)

サイネージ表示名を設定します。デフォルト名は、プレフィックス「PD_」が付いたイーサネット MAC アドレスです。たとえば、「PD_00:0b:12:22:33:98」のようになります。名前の最大長は、UTF8 形式で 36 文字です。クリックして名前を変更します。



Boot Logo(ブートロゴ表示)

プロフェッショナル設定→ Configuration(詳細設定)→ Logo(ロゴ)が「User(ユーザー)」モードに設定されている場合、デバイス起動ロゴ(ブ

ートアニメーション)を設定できます。

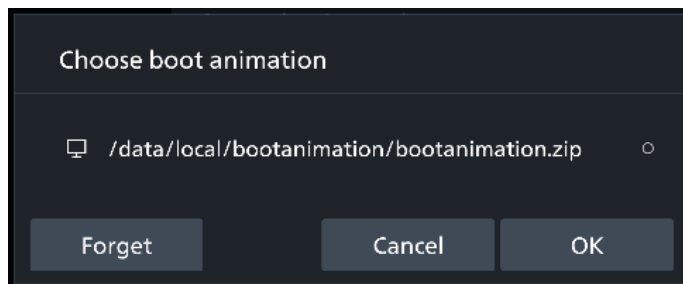
「Logo(ロゴ)」が「User(ユーザー)」モードに設定されていない場合、ユーザーはブートアニメーションをカスタマイズできません。

「User(ユーザー)」モードに設定すると、「Choose Boot Animation(ブートアニメーションの選択)」オプションを利用できるようになります。

「Logo(ロゴ)」が「User(ユーザー)」モードに設定されている場合、デフォルトの Philips ロゴが表示されます。

「Choose Boot Animation(ブートアニメーションの選択)」をクリックすると、ブートアニメーションファイルを選択するためのポップアップメニューが表示されます。USB メモリカードに保存されている内容は自動的にスキャンされます。

ブートアニメーションファイル名は「boot animation.zip」として設定する必要があります。それ以外の形式は無効となります。



使用可能なブートアニメーションファイルはすべて、次のフォルダにあります。

1. /data/local/boot animation/ にあるファイル:USB からコピーされたブートアニメーションファイル
2. {USB_STORAGE_VOLUME_NAME}/ の下のファイル:USB ストレージに保存されているブートアニメーションファイル。

ダイアログオプション:

1. FORGET(削除)

/data/local/boot animation/ にある「bootanimation.zip」を消去します。

カスタマイズされたブートアニメーションは、システムの起動中には使用されません。

2. CANCEL(キャンセル)

ダイアログボックスをキャンセルして閉じます。

3. SAVE(保存)

選択されたファイルを /data/local/boot animation/ にコピーします。これを行った後、ユーザーは外部ストレージ(USB)を取り外すことができます。システムは /data/local/boot animation に保存されているブートアニメーションファイルを使用します。

システムが外部ストレージ(USB)でも /data でも boot animation. zip ファイルを見つけられない場合、ファイルリストは空になります。「SAVE(保存)」ボタンと「FORGET(削除)」ボタンがグレー表示されている場合、USB メモリに保存されているコンテンツを確認する必要があります。

「CANCEL(キャンセル)」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じ、USB メモリを再度接続します。/data/local/bootanimation/ フォルダが空の場合は、「bootanimation. zip」がユーザーによって事前に保存されなかったことを意味します。

システムの起動時には、デフォルトの Philips ロゴが表示されます。

外部ストレージの下に「bootanimation.zip」が見つかった場合

は、ファイルリストのダイアログボックスが表示されます。

ファイル「bootanimation.zip」がフォルダ「/data/local/bootanimation/」にある場合、ポップアップダイアログボックスにそのファイルが最初のオプションとして表示されます。これは単に、ユーザーが以前にファイル「bootanimation.zip」をコピー(保存)しており、システムが

/data/local/bootanimation/bootanimation.zip からのブートアニメーションで起動することを意味します。

ブートアニメーションファイルは、「SAVE(保存)」ボタンを使用して置き換えることができます。

Screenshot(スクリーンショット)

インポートしたコンテンツからスクリーンショットをキャプチャするには、「Enable(有効)」をクリックして自動スクリーンショット機能を有効にします。スクリーンショットオプションがグレー表示されている場合は、スクリーンショット機能がまだ有効になっていないことを意味します。

この機能を有効にした後、各スクリーンショット間の間隔時間、およびキャプチャされた画面が保存される保存先のフォルダを設定できます。「Screenshot save to(スクリーンショットの保存先)」オプションでは、スクリーンショット画像が内部ストレージに保存され、手動では変更できないことが通知されます。

注記:

1. スクリーンショット画像は、次の条件で自動的に削除されます。
 - (1) スクリーンショット機能の開始時間が 0 秒に設定されている場合。
 - (2) スクリーンショットを 40 秒で開始した場合。
 - (3) スクリーンショットの写真を毎週削除することにした場合、写真削除データは、スクリーンショット機能の設定を適用した日に変更されます。たとえば、削除する日を毎週月曜日に設定し、金曜日にスクリーンショット機能で他の設定を変更した場合、削除日は金曜日(システムの現在時刻の曜日)に変更されます。
2. スリープ(システムの一時停止)機能とスクリーンショット機能:

システムがスリープモードに入ると、スクリーンショット機能は一時停止されます。その結果、スクリーンショットをメール送信する機能は停止されます。システムがアクティブモードになると、スクリーンショット関連の機能が再起動します。

Screenshot interval(スクリーンショット間隔)

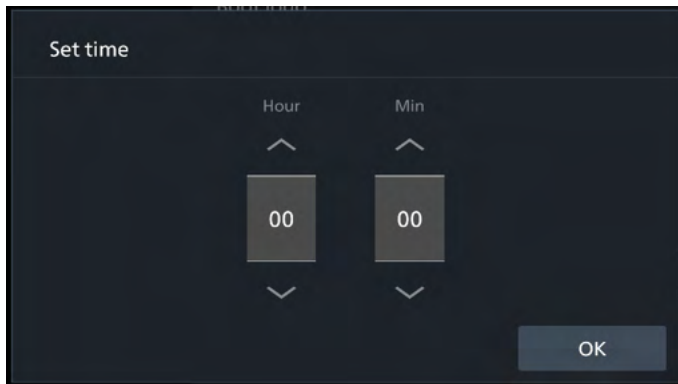
各スクリーンショット間の間隔時間を設定します。利用可能なオプションは 30 分と 60 分です。

Screenshot Start Time(スクリーンショット開始時間)

スクリーンショット機能の開始時刻を設定します。

ダイアログボックスを終了する前に、必ず「Save(保存)」ボタンをクリックしてください。クリックしないと、設定が保存されません。

開始時間は終了時間よりも前にする必要があります。無効な値である場合は、トーストメッセージが表示されます。



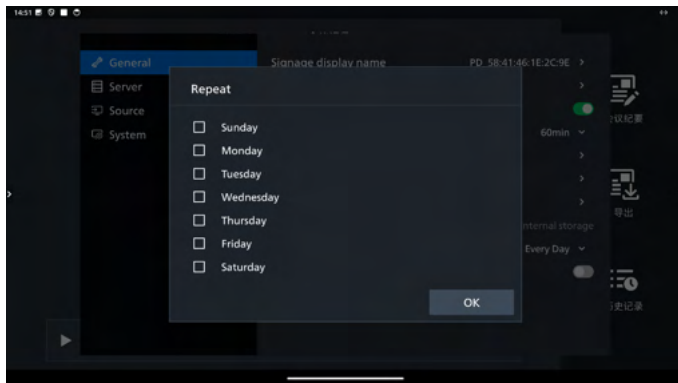
Screenshot End Time(スクリーンショット終了時間)

スクリーンショット機能の終了時刻を設定します。ダイアログボックスを終了する前に、必ず「Save(保存)」ボタンをクリックしてください。クリックしないと、設定が保存されません。

開始時間は終了時間よりも前にする必要があります。無効な値である場合は、トーストメッセージが表示されます。

Screenshot repeat(スクリーンショットの繰り返し)

自動スクリーンショットの繰り返しモードを設定します。



Screenshot Save to(スクリーンショットの保存先)

画面イメージは、内部ストレージの「philips/screenshot」フォルダに保存されます。

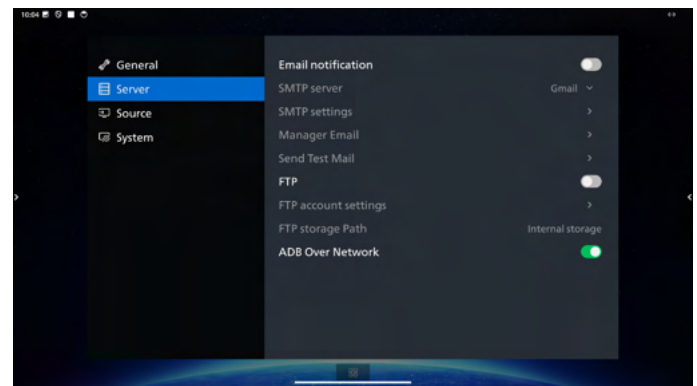
Purge Screenshots(スクリーンショットの消去)

スクリーンショット画像を消去する間隔を設定します。利用可能なオプションは「Every day(毎日)」と「Every week(毎週)」です。

Send screenshots via email(スクリーンショットを電子メールで送信)

すべてのスクリーンショット画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。最初に、「Server Settings(サーバー設定)」→「Email notification(電子メール通知)」で電子メール情報を設定しておく必要があります(「電子メール通知」のセクションを参照)。

7.3.2. Server Settings(サーバー設定)



Email Notification (電子メール通知)

電子メール機能のオン / オフを切り替えます。電子メール通知機能を有効にした後、SMTP および管理者メールアドレスを設定します。

SMTP server(SMTP サーバー)

送信者メールアドレスおよび SMTP サーバー情報を設定します。

設定する次の 2 種類の SMTP サーバーがあります:「Gmail」および「Other(その他)」。「Other(その他)」オプションを使用すると、SMTP サーバー、セキュリティタイプ、サーバーポートを手動で設定できます。

SMTP 設定

1. パスワードは、6 ～ 20 文字の UTF8 形式にしてください。
2. ポート 5000(SICP デフォルトポート)およびポート 2121(FTP サーバーデフォルトポート)を設定できません。

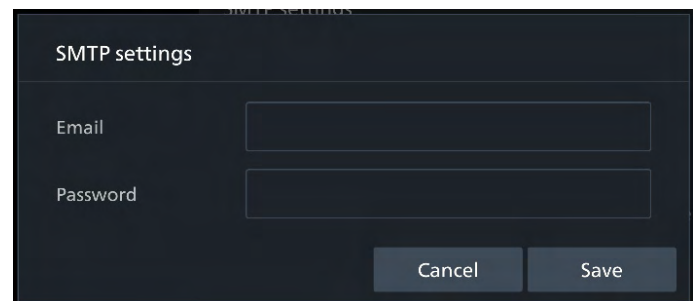
SICP ネットワークポート設定は「Server settings(サーバー設定)」→「SMTP settings(SMTP 設定)」にあります。

FTP ネットワークポート設定は「Server settings(サーバー設定)」→「FTP account settings(FTP アカウント設定)」にあります。

注記: Gmail: (SMTP サーバー、セキュリティタイプ、およびポートはグレー表示されています)

3. セキュリティ設定: Gmail では 2 段階認証が必要です。

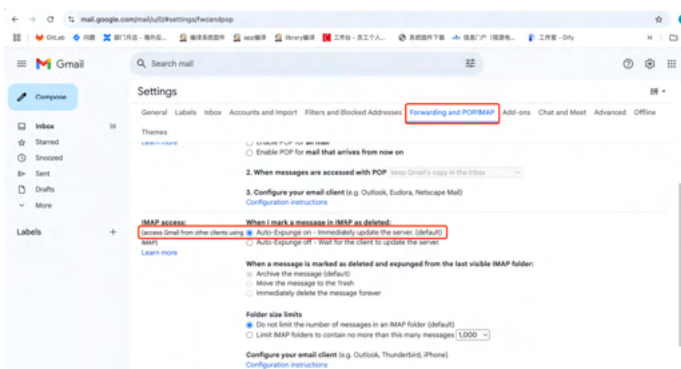
SMTP サーバーが Gmail の場合



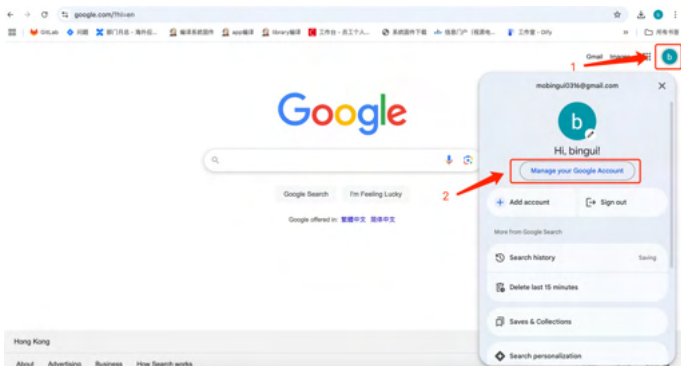
SMTP サーバーがその他の場合

Gmail の認証コード(パスワード)を取得する手順:

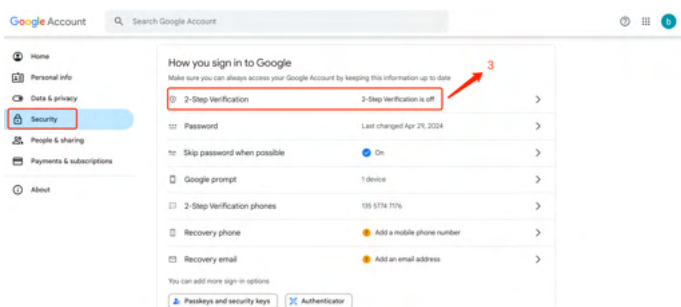
1. Google Chrome を開いて <https://mail.google.com/mail/u/0/#settings/fwdandpop> と入力してから、Gmail アカウントにログインします。



2. Google <https://www.google.com/> を開き、Gmail アカウントにログインしてから、「Google アカウントを管理」を開きます。



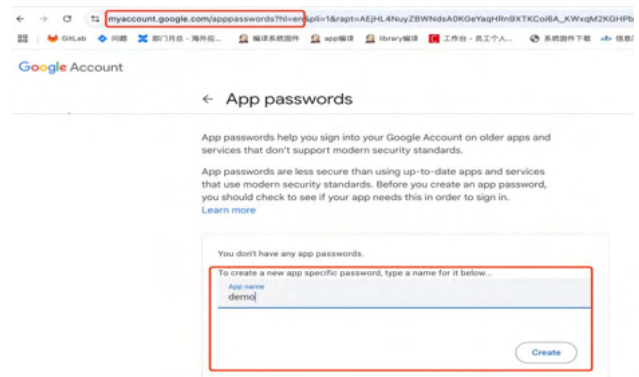
3. 「セキュリティ」、「2 段階認証」の順にクリックします。



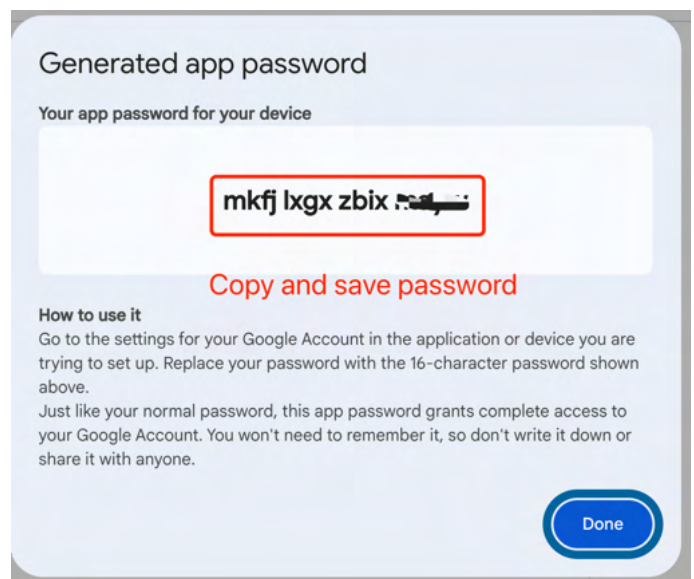
4. 2 段階認証を有効にします。



5. 正常に有効にできたなら、ブラウザのアドレスバーに <https://myaccount.google.com/apppasswords?hl=en> と入力して、専用のパスワードを入力します。任意の名前を入力できます。



6. パスワードをコピーして保存します。コピーしない場合は、ウィンドウを閉じます。後からパスワードを探すことはできません。わからなくなった場合は作成しなおしてください。



Manager Email(マネージャー電子メール)

電子メールを受信する宛先アドレスを指定します。

テストメールを送信します

テストメールを送信します。

FTP

チェックボックスをクリックして、FTP サーバー機能を有効または無効にします。この機能を有効にした後、アカウント、パスワード、ポート番

号を設定できます。

最後に、システムを手動で再起動して FTP 設定を適用します。

FTP account settings(FTP アカウント設定)

- (1) Account(アカウント): FTP サーバーにログインするためのユーザー名。アカウント名の長さは 4 ～ 20 文字で、[a ～ z]、[A ～ Z]、[0 ～ 9] のみを使用できます。
- (2) Password(パスワード): FTP サーバーにログインするためのパスワード。パスワードの長さは 6 ～ 20 文字で、[a ～ z]、[A ～ Z]、[0 ～ 9] のみを使用できます。設定後、パスワードはアスタリスクで非表示になります。
- (3) Port(ポート): FTP サーバーのポート番号。利用可能なポート番号は 1025 ～ 65535 です。デフォルト設定は 2121 です。次のポート番号は使用できません: 8000/9988/15220/28123/28124 および SICIP ネットワークポート(デフォルトは 5000)。

FTP storage Path(FTP ストレージパス)

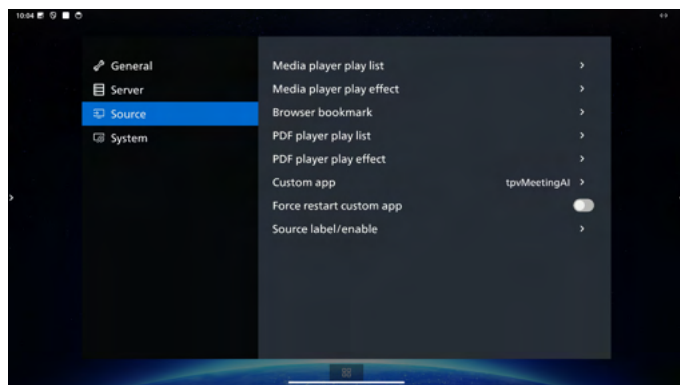
FTP サーバーは、内部ストレージにのみアクセスします。ストレージパスは変更できません。

ADB over Network(ADB オーバーネットワーク)

ポート 5555 のネットワーク接続を介して ADB にアクセスできます。

7.3.3. Source Settings (ソース設定)

ソース APK の詳細オプションを構成できます。



Media player play list(メディアプレーヤーのプレイリスト)

メディアプレーヤー APK のプレイリスト編集アクティビティを開きます。

Media player play effect(メディアプレーヤーの再生効果)

メディアプレーヤー APK の効果設定編集アクティビティを開きます。

Browser bookmark(ブラウザーのブックマーク)

ブラウザー APK のブックマーク編集アクティビティを開きます。

PDF player play list(PDF プレーヤーのプレイリスト)

PDF プレーヤー APK のプレイリスト編集アクティビティを開きます。

PDF player play effect(PDF プレーヤーの再生効果)

PDF プレーヤー APK の効果編集設定を開きます。

Custom app(カスタムアプリ)

カスタマーソース APK を設定できます。カスタム入力ソースに切り替えると、選択された APK が起動します。カスタムソース APK が設定されていない場合、カスタマー入力ソースに切り替えると、システムは黒い画面を表示します。

カスタムソース APK が設定されている場合、APK 名が表示されます。それ以外の場合は、カスタムアプリが設定されていないことを意味します。

Select APP (アプリの選択)

注記:

システムによってプリインストールされている APK はリストに表示されません。手動でインストールされた APK のみが一覧表示されます。

(1) FORGET(削除)ボタン

カスタムソースアプリケーションを消去します。カスタマーソースアプリケーションが設定されていない場合は、グレー表示されます。

(2) CANCEL(取り消し)ボタン

変更を保存せずに終了します。

(3) SAVE(保存)ボタン

「Save(保存)」ボタンをクリックすると、カスタムソースアプリケーションとして APS が選択されます。利用可能なアプリケーションが選択されていない場合、グレー表示されます。

Force restart custom app(カスタムアプリの強制再起動)

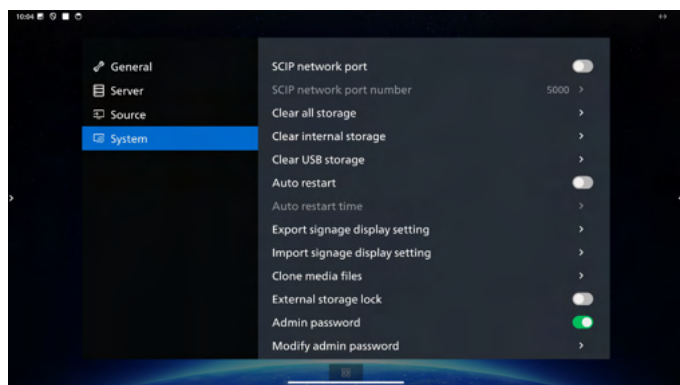
この機能を有効にすると、システムはカスタムアプリのステータスを監視できます。カスタムアプリが存在せず、ソース起動が「Custom app(カスタムアプリ)」に設定されている場合、システムはカスタムアプリの起動を再試行します。

デフォルト設定では無効です。

Source label/enable(ソースラベル / 有効)

ソースリストに表示されるソースラベルを変更し、ソースリストのソースを有効化 / 無効化します。

7.3.4. System Settings(システム設定)



SICP network port(SICP ネットワークポート)

SICP のデフォルトポートを設定し、ネットワーク SICP を有効 / 無効にします。デフォルト SICP は、ポート 5000 で有効になっています。

SICP network port number(SICP ネットワークポート番号)

ポート番号は、1025 ~ 65535 の範囲です。

次のポートはすでに使用されており、割り当てることができません。8000、9988、15220、28123、28124。デフォルトの FTP ポートは 2121 です。

Clear all storage(すべてのストレージを消去)

内部ストレージと外部ストレージの {ストレージ}/philips/folder の下にあるデータを消去します。

内部ストレージと USB から「Philips」フォルダを消去します。

Clear internal storage(内部ストレージを消去)

内部ストレージの「Philips」フォルダのみを消去します。

Clear USB storage(USB ストレージを消去)

USB ストレージの「Philips」フォルダのみを消去します。

ダイアログボックスには、システムがクリアしようとしているすべてのフォルダが一覧表示されます。「RESET(リセット)」を押して、一覧表示されたフォルダの下すべてのデータを消去するか、戻るキーを押して保存せずに終了します。

Auto restart(自動再起動)

自動再起動機能を使用すると、指定した時間にデバイスを自動的に再起動できます。

Auto restart time(自動再起動時間)

タイムピッカーを使用して、自動再起動時間を設定します。

「OK」ボタンをクリックすると、自動再起動に設定した時間が表示されます。

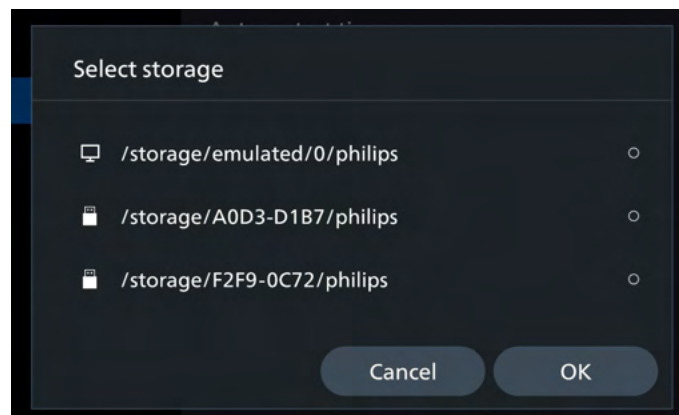
Export Signage Display Settings (サイネージディスプレイ設定のエクスポート)

システムは、データベースのデータと APK を、選択したストレージ (内部ストレージまたは USB ストレージ) の {ストレージ}/Philips/clone/BDL4252E-clone.zip ファイルにエクスポートします。

注記:

選択したストレージ (内部ストレージと USB) に Philips/ フォルダが含まれていない場合、システムはこのフォルダを自動的に作成します。

利用可能なすべてのストレージ (内部ストレージ、USB ストレージ) のリスト:

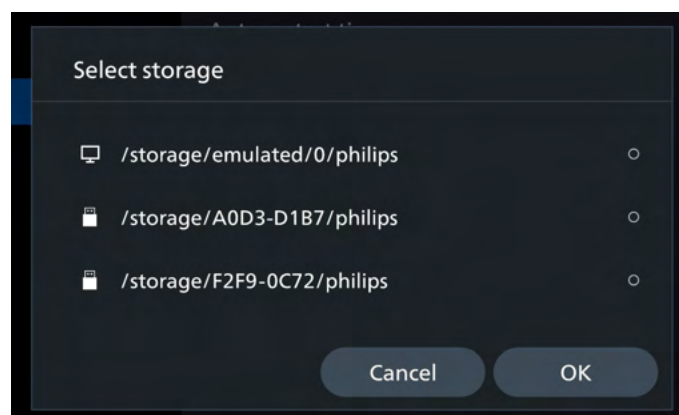


サイネージディスプレイ設定のインポート

選択したストレージ (内部ストレージ、USB) の philips/clone/BDL4252E-clone.zip ファイルからデータベースデータをインポートします。

- (1) BDL4252E-clone.zip のデータベースをインポートする
- (2) BDL4252E.cloine.zip の APK (メディア / ブラウザー / PDF プレーヤー) をインポートする

利用可能なすべてのストレージ (内部ストレージ、USB ストレージ) のリスト:



設定と APK をインポートする前に、確認ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックして、データのインポートを開始します。

Clone media files (メディアファイルの複製)

この機能を使用すると、選択したソースストレージからターゲットストレージにメディアファイルをコピーできます。

システム複製ファイルは、次のフォルダの下にあります。

philips/photo

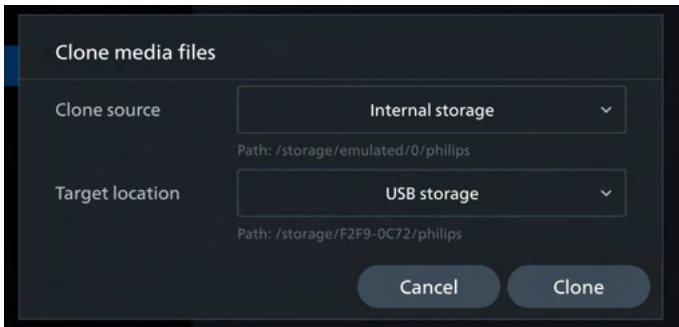
philips/music

philips/video

philips/cms

philips/pdf

philips/browser



External Storage Lock(外部ストレージロック)

外部ストレージ(USB ストレージ)のロックのオンとオフを切り替えます。デフォルトではオフです。

注記: 外部ストレージのロックをオフにしてからオンにするには、外部ストレージを取り外してからもう一度接続してください。その後、システムが外部ストレージをもう一度検出できるようになります。

Admin password(管理者パスワード)

管理者パスワードがオフに設定されている場合、パスワードがなくても管理者モードにすることができます。

注記: 管理者パスワードがオンになっている場合、管理者モードでログインするにはパスワードが必要です。

Modify admin password(管理者パスワードの変更)

管理者モードにログインするためのパスワードを変更できます。

以下の手順に従います。

- (1) まず現在のパスワードを入力します。
現在のパスワードが正しくない場合、「Incorrect password (パスワードが間違っています)」というメッセージが表示されます。
- (2) 新しいパスワードを入力します。
- (3) 新しいパスワードをもう一度入力します。

新しいパスワードが正しくない場合は、再試行してください。

パスワードが正常に変更されると、「成功」という Android のトースト通知が表示されます。

Reset admin Password(管理者パスワードのリセット)

Password(パスワード): 必要に応じてパスワードを変更してください。

Reset Password(パスワードのリセット): パスワードをリセットします。成功すると、「Successful(成功)」というメッセージが表示されます。

Hint touch lock dialog(ヒントタッチロックダイアログ)

タッチロックダイアログを切り替えます。デフォルトではオンです。オフにすると、パスワード入力ダイアログは表示されなくなります。

注記: 再度オンにするには、リモコンを使用して設定画面を開き、この機能をオンにしてパスワードのダイアログを表示します。

Modify touch lock password(タッチロックパスワードの変更)

タッチロックパスワードを変更します。

Reset touch lock password(タッチロックパスワードのリセット)

タッチロックパスワードをリセットします。デフォルトのパスワードは 123。

TeamViewer Support(TeamViewer への対応)

TeamViewer への対応のオン / オフを切り替えます。TeamViewer は、管理モードを開くための仮想ホームキーを送信します。デフォルト

ではオフです。

TeamViewerHost および TeamViewerQSAddOn APK がシステムに自動的にインストールされます。そうでない場合、「TeamViewer のサポート」を無効にすると、システムはそれらを削除します。

ErP Lot 5

ErP Lot5 のオン / オフを切り替えます。

省エネルギーモードです。オンにすると、Android デバイスでは 60 分間操作がないと警告が表示され、さらに 5 分が経過するとスタンバイ(電源オフ)状態になります。Android 以外のチャネルでは、信号が 20 秒途絶えるとスタンバイ状態になります。

* 電源モード 1 でのみ有効です。

ロギングの有効化

ロギングのオン / オフを切り替えます。

有効にすると、PD が Android の logcat ログとカーネルメッセージのログへの記録を開始して、USB ストレージまたは内部ストレージに自動保存します。優先順位が最も高いのは USB ストレージです。PD に接続されている USB デバイスがない場合、データはすべて内部ストレージに保存されます。

保存されたパスは、

```
{USB ストレージのルートディレクトリ}/ philips/Log/BDL4252E-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss} です。
```

または

```
{ 内部ストレージのルートディレクトリ }/ philips/Log/BDL4252E-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss} です。
```

ロギングを無効にすると、

```
{USB ストレージのルートディレクトリ }/philips/Log/BDL4252E-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss}.zip
```

または

```
{ 内部ストレージのルートディレクトリ }/ philips/Log/BDL4252E-Log-{ yyyy-MM-dd-HH-mm-ss }.zip などの ZIP ファイルに保存されます。
```

System local update(システムのローカルアップデート)

システムは、USB ディスクのルートフォルダ内の「update.zip」を自動検索します。外部ストレージで「update.zip」が見つかった場合、ユーザーが更新するファイルを選択するためのリストが表示されます。

リストからファイルを選択すると、システムは再起動と更新を開始します。

以下に注意してください。

- (1) 電源をオフにしたり電源を取り外したりしないでください。
- (2) システムは現在、Android のフル更新のみをサポートします。
- (3) アップデートファイルは、必ず、「update.zip」にしてください。
- (4) 「update.zip」は、必ず、外部ストレージのルートフォルダに入れてください。

メディアプレイヤー APK の効果設定編集アクティビティを開きます。

8. 対応するメディア形式

USB マルチメディアのフォーマット

ビデオ形式		
拡張子	ビデオコーデック	最大伝送解像度とビットレート
.3gp/3GP2	H.263	SQcIF(128x96)、 QcIF(176x144)、 cIF(352x288)、20Mbps
	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
.avi	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
.dat	mpeg1/2	1920*1080@60fps
.flv	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
.mkv	Mpeg-4	1920*1080@60fps
	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
.mov	Mpeg-4	1920*1080@60fps
	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
.mp4	Mpeg-4	1920*1080@60fps
	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps
	H.265	3840x2160@60fps, 80Mbps
.VOB	mpeg1/2	1920*1080@60fps
.mpg/.mpeg	mpeg1/2	1920*1080@60fps
.webm	vp9	7680x4320@30fps, 30Mbps
	vp8	1920*1080@60fps, 20Mbps
.ts	H.265	3840x2160@60fps, 80Mbps
	mpeg1/2	1920*1080@60fps
	H.264	3840x2160@60fps, 100Mbps

オーディオ形式		
拡張子	オーディオコーデック	サンプルレート / ビットレート
.aac/.m4a	AAc-Lc	サンプルレート: 8KHz ~ 44KHz
.mpg	MPEG1/2 Audio Layer2/3	サンプルレート: 16KHz ~ 48KHz ビットレート: 48kbps ~ 320Kbps, cBR および VBR
.flac	FLAc	サンプルレート: 16KHz ~ 44KHz
.ape	/	/
.mp3	MPEG1/2 layer3	サンプルレート: 16K~48KHz ビットレート: 8~320Kbps
.ogg	Vorbis	サンプルレート: 16KHz ~ 44KHz
.mid	MIDI	
.wav	PcM	サンプルレート: 8KHz ~ 48KHz

画像形式	
画像	解像度
JPEG	3840 x 2160
PNG	3840 x 2160
BMP	3840 x 2160

メモ:

- コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
- コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になる可能性があります。

9. 入力モード

タイミングサポート:

番号	解像度	リファレンス	クロック [MHz]	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640*480 @60Hz	VESA	25.175	31.469	59.94
2	800*600 @56Hz	VESA	36.000	35.156	56.25
3	800*600 @60Hz	VESA	40.000	37.879	60.32
4	1024*768 @60Hz	VESA	65.000	48.363	60.00
5	1280*800 @60Hz	VESA	83.500	49.702	59.81
6	1280*1024 @60Hz	VESA	108.000	63.981	60.02
7	1360*768 @60Hz	VESA	85.500	47.712	60.02
8	1680*1050 @60Hz	VESA	146.250	65.290	59.95
9	1920*1080 @60Hz	VESA	148.500	67.500	60.00
10	2560*1440 @60Hz	VESA	241.5	88.787	59.95
11	480p @60Hz	CEA-861	27.027	31.500	60.00
12	576p @50Hz	CEA-861	27.000	31.250	50.00
13	720p @50Hz	CEA-861	74.250	37.500	50.00
14	720p @60Hz	CEA-861	45.000	60.00	60.00
15	1080p @23Hz	CEA-861	74.175	26.973	23.98
16	1080p @24Hz	CEA-861	74.250	27.000	24.00
17	1080p @25Hz	CEA-861	74.250	28.125	25.00
18	1080p @29Hz	CEA-861	74.175	33.716	29.97
19	1080p @30Hz	CEA-861	74.250	33.750	35.00
20	1080p @50Hz	CEA-861	148.500	56.250	50.00
21	1080p @60Hz	CEA-861	148.500	67.500	60.00
22	3840*2160 @24Hz	CTA	297.000	54.000	23.98
23	3840*2160 @25Hz	CTA	297.000	56.250	25.00
24	3840*2160 @30Hz	CTA	297.000	67.500	29.97
25	3840*2160 @50Hz	CTA	594.000	112.500	50.00
26	3840*2160 @60Hz	CTA	594.000	135.000	59.94

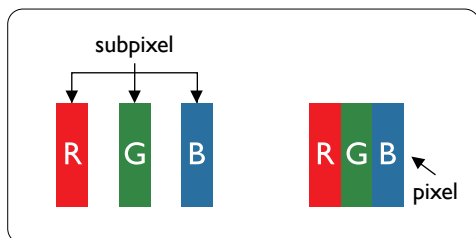
- PC のテキスト品質は、UHD モード(3840 x 2160、60Hz)で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz(垂直)と 31.5kHz(水平)を選択します。場合によって、PC の電源がオフの場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本ディスプレイの設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。
- UHD モード(3840x2160、60Hz)、ピクセルレート HDMI:594、TYPE-C:533.25。

10. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用する PDP/TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

10.1. 画素とサブ画素



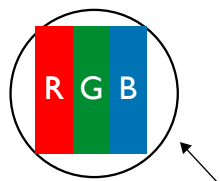
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

10.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？：

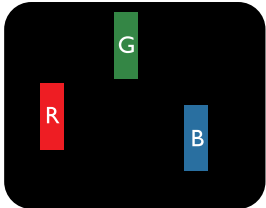
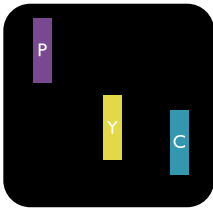
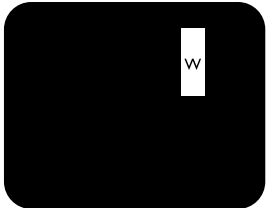
1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

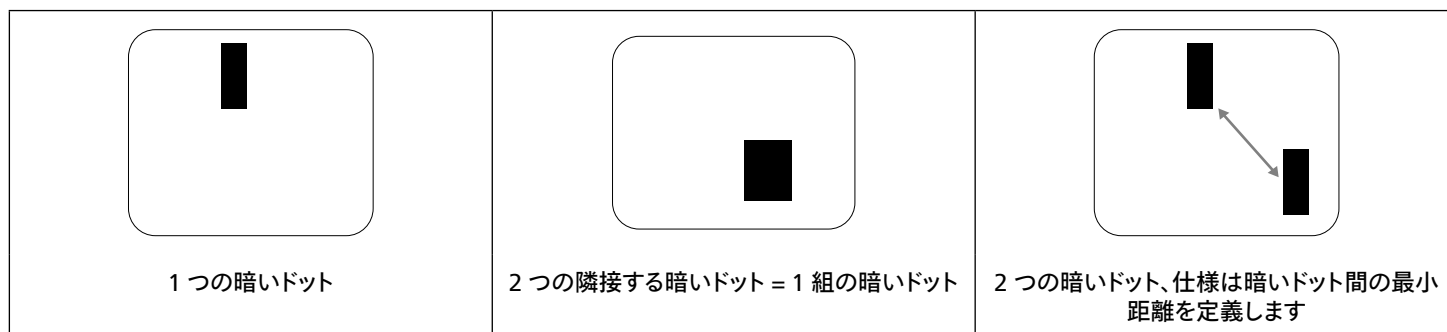
10.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

 1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。	 2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)	 3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)
--	--	--

10.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



10.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- 暗いドット間の最小距離
- すべての欠陥ドットの総数

10.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ /LCD ディスプレイの PDP/TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記: * 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

10.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の様なパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり 1 日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからずっとつきまとっています。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

Mura を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- 結晶マトリックスの混入物または異物
- 製造中の液晶マトリックスの不均衡な分布
- バックライトの付近位置な輝度分布
- パネル部品誘発ストレス
- LCD セル内部の傷
- 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

Mura を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- バックライトの明るさを下げる
- スクリーンセーバーを使用する
- 装置周囲の空気温度を下げる

11. 清掃とトラブルシューティング

11.1. 清掃

本ディスプレイを使用する際の注意

- 手や顔、物を本ディスプレイの通気口に近づけないでください。本ディスプレイの上部は、通気口から放出される高温の排気のため、通常は高温となっています。身体の一部を近づけすぎると、火傷や怪我をすることがあります。本ディスプレイの上部近くになんらかの物を置くと、この物およびディスプレイ自体に熱関連の損傷が起こることがあります。
- モニターを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままモニターを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- あらゆる種類の清掃や保守作業を行う前に、安全対策として電源プラグをコンセントから抜いてください。

前面パネル清掃手順

- 本ディスプレイの前面には特別な処理が施されています。表面は布巾または柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いてください。
- 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、布を強く絞り、余分な水分を除きます。本ディスプレイの表面を拭き、埃を除いてください。その後、同じ種類の乾いた布で拭いてください。
- 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- キャビネットがひどく汚れている場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を絞り、できるだけ水分を除きます。キャビネットを拭き取ります。表面が乾くまで、別の乾いた布で拭きます。
- プラスチック部品の洗浄に油を含む溶液を使用しないでください。このような製品はプラスチック部品を損傷し、保証を無効にします。
- 本ディスプレイの表面には、水や洗剤が触れないようにしてください。水や水分が本ディスプレイ内部に入り込むと動作上の問題、電氣的障害、および感電事故が起こる恐れがあります。
- 爪やあらゆる種類の堅い物でキャビネットを引っ掻いたり、ぶつけたりしないでください。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。
- 長期間ゴムまたはポリ塩化ビニル製の物をキャビネット近くに置かないでください。

マシンを清掃する：

使用中にガラス面に汚れを見つけた場合は、濡れたペーパータオル(水が垂れないように)で一度拭いてから、乾いたタオル(乾いたペーパータオル)で拭いてください。

11.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
画像が表示されない	1. 電源コードが抜けています。 2. 本ディスプレイの背面にある主電源スイッチが ON になっていません。 3. 選択された入力が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。	1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本ディスプレイに信号接続を接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本ディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本ディスプレイの背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
画像が異常なパターンで歪んでいる	1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本ディスプレイの能力を超えています。	1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本ディスプレイの範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本ディスプレイの仕様のセクションで、仕様を確認してください。
イメージディスプレイが全画面サイズで表示されない	1. ズームモードが正しく設定されていません。 2. スキャンモードが間違っていてアンダースキャンに設定されています。 3. 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。	ズームモードを使用するか、カスタムズームディスプレイジオメトリと時間周波数パラメーターを使用します。
音声は聞こえるが、画像が表示されない	ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
画像は表示されるが、音声が聞こえない	1. ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. {ミュート} がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。	1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調整します。
一部の画素が光らない	ディスプレイの一部のピクセルがオフになっています。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画像、4:3 のノーマルモードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されていました。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本ディスプレイ上に永続的な残像が残る原因となるためです。

12. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様	
	65BDL4252E/11	75BDL4252E/11
画面サイズ (アクティブ領域)	163.9 cm/65 インチ	189.3 cm/75 インチ
縦横比	16:9	16:9
解像度	0.372 (水平) x 0.372 (垂直) [mm]	0.42975 (水平) x 0.42975 (垂直) [mm]
画素ピッチ	3840 (水平) x 2160 (垂直)	3840 (水平) x 2160 (垂直)
表示可能色	1.07B (10 ビット)	1.07B (10 ビット)
ブライトネス (標準)	400 cd/m2	400 cd/m2
コントラスト比 (標準)	1200:1	1200:1
表示角度	178° (水平 / 垂直)	178° (水平 / 垂直)

入 / 出力端子:

項目		仕様
スピーカー出力	内部スピーカー	15W(L)+15W(R)[RMS]/60 78dB/W/M/260Hz ~ 20KHz
音声出力	3.5mm フォンジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2channel (L+R)
音声入力	3.5mm フォンジャック x 1	0.5V [rms] (ノーマル) / 2channel (L+R)
RS232	DB9	RS232
RJ-45	RJ-45 ジャック x2	10M/100M/1000Mbps LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x3 (タイプ A) (19 ピン)	デジタル RGB:TMD5 (ビデオ + 音声) 最大: ビデオ - 720p, 1080p, 3840 x 2160/60 Hz
VGA 入力	DB15	デジタル RGB:TMD5 (ビデオ + 音声) 最大: ビデオ - 3840x2160/60Hz
USB-B	USB-B x 2	タッチ機能を外部 PC に接続する
USB 入力	USB3.0 TypeA x 4 USB2.0 TypeA x 1	USB3.0/2.0、マルチメディア再生とサービスポート USB2.0: 5V  0.5A、USB3.0: 5V  0.9A
USB 3.1 C	Type C x 2	前面 Type-C (OPS 端子の負荷が 18Vdc 3.5A の場合): 5Vdc/3.0A 前面 Type-C (OPS 端子に負荷がない場合): 5V/9V/15Vdc 3A, 20Vdc 3.25A メイン Type-C: 5Vdc/3.0A

一般:

項目	仕様	
	65BDL4252E/11	75BDL4252E/11
電源入力	100 ～ 240V～、50/60Hz	100 ～ 240V～、50/60Hz
消費電力 (最大)	135 W	170 W
消費電力 (標準)	310 W	340 W
消費電力 (スタンバイモード & オフモード)	0.5 W 以下	0.5 W 以下
AC スイッチオフモード (W)	0 W	0 W
寸法 (スタンドなし) [幅 x 高さ x 奥行]	1488.4 X 907.5 X 97.3mm	1709.4 X 1031 X 97.3mm
重量 (スタンドなし)	28.44 kg	39.52 kg
総重量 (スタンドなし)	39 kg	55 kg

環境条件:

項目		仕様
温度	操作時	0 ～ 40° C
	保管時	-20 ～ 60° C
湿度	操作時	10 ～ 90% RH
	保管時	10 ～ 90% RH
高度	操作時	5000 メートル未満

注記:この IWB デバイスは回転機能をサポートしていません。

Philips プロフェッショナルディスプレイソリューションの保証ポリシー

本 Philips 製品をご購入いただき、ありがとうございます。Philips は、高い基準に従い設計および製造されており、高品質な性能、使いやすさ、設置しやすさを実現します。製品の使用中に問題が発生した場合は、最初にユーザーマニュアル、Web サイトのサポートセクションの情報を確認することをお勧めします。ここで、(製品の種別に応じて)、ダウンロード可能なユーザー間による、よくある質問 (FAQ)、手順ビデオ、サポートフォーラムを利用することができます。

限定保証

万が一、製品の修理が必要になった場合、Philips 製品がユーザーマニュアルに従って (意図された環境などで) 使用された場合、保証期間内に無料で修理されるよう手配します。

これらの製品カテゴリーでは、Philips のパートナー企業が製品の保証人となります。製品に付属のドキュメントを確認してください。

保証対象者

保証期間は、製品の最初の購入日から始まります。保証サービスを受けるには、購入証明書を提出する必要があります。製品を購入したことを示す有効な領収書またはその他の有効な文書は、購入の証明と見なされます。

保証の対象

保証期間内に不良な材料および / または工作による不具合が発生した場合は、無料サービスの手配をさせていただきます。修理が不可能または商業的に実行可能でない場合、当社は製品を同様の機能を備えた新品または同等の再生品と交換する場合があります。交換は当社の裁量で提供するものとします。また、保証は製品の最初の購入日の最初の購入日から継続されるものとします。修理および交換された部品を含むすべての部品は、元の保証期間中のみ保証の対象となることに注意してください。

保証の対象外 以下は保証の対象外となります。

- 結果的な損害 (データの損失または収入の損失を含むがこれらに限定されません)。定期的なメンテナンス、ファームウェアアップデートのインストール、データの保存または復元など、お客様自身で行ったアクティビティに対する補償 (一部の州では、偶発的または結果的な損害の除外が許可されていないため、上記の除外がお客様に適用されない場合があります。これには、著作権で保護されているかどうかにかかわらず、事前に録音された素材が含まれますが、これらに限定されません)。
- 製品の設置またはセットアップ、製品の顧客管理の調整、および製品外のさまざまなタイプの外部デバイス (Wi-Fi、アンテナ、USB ドングル、OPS タイプのデバイスなど) およびその他のシステムの設置または修理にかかる人件費。
- 信号状態またはユニット外のケーブルまたはアンテナシステムによって引き起こされる受信の問題。
- 設計、製造、承認、および / または認可された国以外の国で動作できるようにするために変更または適合が必要な製品、またはこれらの変更によって損傷した製品の修理。
- 製品のモデルまたは製造番号が変更、削除された場合、または判読不能になった場合。

保証は、製品が意図された使用のために適切に取り扱われ、操作手順に従っていることを条件として適用されます。

保証サービスと保証に関する情報を取得する場合

詳細な保証範囲情報および追加のサポート要件とヘルプラインについては、製品を購入した販売者および / またはシステムインテグレーターにお問い合わせください。米国内において、この限定保証は、米国大陸、アラスカ、ハワイにおいて購入された製品に対してのみ有効であることに注意してください。

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、ユーザズマニュアルを確認してください。そこで説明されているコントロールを調整すると、サービスコールを節約できる場合があります。

保証期間

PHILIPS サイネージ表示の保証期間は以下のとおりです。この表に記載されていない地域については、保証書に従ってください。

PHILIPS サイネージディスプレイの標準保証期間は以下のとおりです。この表に記載されていない領域については、保証書に従ってください。

地域	標準保証期間
米国、カナダ	3 年
中国	3 年
日本	3 年
その他の地域	3 年
メキシコ	3 年
ブラジル	3 年
チリ	3 年
ペルー	3 年

プロフェッショナル製品の場合、販売契約または購入契約の特定の保証条件が適用される場合があることに注意してください。



2025 © TOP Victory Investments Ltd. 無断複製および転載を禁じます。

本製品は、Top Victory Investments Ltd.,によって製造され、
その責任の下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.,が
本製品に関する保証人
です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、
Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて
使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。
バージョン: V1.00 2025-07-18